

みんなくりポジトリ

国立民族学博物館学術情報リポジトリ National Museum of Ethnology

The Diary of Hisakatsu Hijikata (V)

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2015-02-27 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 土方, 久功 メールアドレス: 所属:
URL	https://doi.org/10.15021/00000853

土方久功日記 第29冊

1941年5月22日～1942年2月15日（昭和16年～昭和17年）

解説

この第29冊には、昭和16年（1941）5月22日から昭和17年（1942）2月15日までが収められている。

この第29冊で最も大きな出来事は、中島敦との出会であろう。

中島敦がパラオへ来たのは、昭和16年（1941）7月6日であったが、敦の名が初めて『日記』に見えるのは、その12日後の7月18日である。この日の『日記』には、次のように書かれている。

絵画同好会ヲ作ルコトニナツタノデ、今晚南賢デ集ルカラ来テクレトノ事。今日ハ、中島君〔文化協会〕が編輯書記ノ中島君〔敦〕ヲツレテクルコトニナツテ居ルノデ断ル。夜、中島君〔敦〕ハ来ズ。

しかし、この日、中島敦は、喘息のため来ることができなかった。次に敦の名が『日記』に見えるのは、ひと月後の8月18日であった。『日記』には、

夜、中島君（敦）来ル、Maria来ル。

恐らくは、久功と敦は同じ南洋庁の地方課に勤めていたので職場で会うことはあったのであろうが、久功のところを訪れたのは、これが初めてと考えられる。この夜は、たまたま Maria（マリヤ）も久功を訪れた。この頃、マリヤはパラオ語、パラオの歌を教えるため、週に数日、久功のところを訪れていた。

中島敦の名が『日記』に頻繁に現れるようになるのは、9月になってからである。9月9日には、夕食後、敦は久功の家に行き、消燈時間まで居た。その翌日には、久功と敦は、東京帝大教授の渡辺信一、パラオ放送局の久保田公平らとともに、コロールの町から近いガルミツの村落を訪れた。

その後、敦は、公学校視察のため、9月15日からトラック（チューク）諸島を中心に、南洋群島を一周する2か月近い長期にわたる出張の旅に出た。パラオへ戻ったのは、11月5日の午後であった。早速その夜、久功のところを訪れた。

翌々日の7日も、敦は久功のもとを訪れたが、その翌日から11日まで、久功はパラオ本島に出張へ行く。13日の夜に、敦は本島から戻ってきた久功のもとを訪れた。

この日の『日記』には、

夜、市川君ガ来テ話シコンデル所へ中島（敦）君ガ来テ、パラオノ話ヲ求メル。
後、Maria、Kodep ヲツレテ九時頃ニナツテ来ル。

と書かれている。

敦は、南洋群島一周の旅から戻って間もない11月17日、再び、ヤップ島、ロタ島、サイパン島、テニアン島を巡り、12月14日、パラオへ帰還した。その日の夜、早速、久功のところを訪れた。二人がパラオのコロールにいるときには、敦は、毎晩のように久功を訪れたのである。

『日記』には記されていないが、帰還した19日の夜、敦は久功を訪れた。敦の「日記」には、次のように書かれている。

夜、土方氏方に到り、南方離島記の草稿を読む、面白し。「プール島（人口二十に足らず）に、パラオより流刑に会ひし無頼の少年あり、奸譎、傲岸、プール島民を頗使す、已に半ばパラオ語を忘る。この少年の名をナポレオンといふと」「無人島へレン礁に海鳥群れ集へること。島に上れば、たちどころに数十羽を手掴みにすべしと。卵も又、とり放題。捕りし鳥共の毛をむしり、直ちに焼きて食するなり」

この時には、久功が敦に、草稿を読ませる関係にまでなっていたことがわかる。なお、これら二つの話は、「南方離島記」と題され、『著作集』第6巻におさめられている（ナポレオンの話は、既に1956年に刊行された『土方久功詩集 青蜥蜴の夢』に収められている）。

翌20日夜も敦は、久功宅を訪れたが、21日の日曜日に久功の家で熱帯生物研究所の所員、放送局の久保田等が集った「饗宴」にも加わった。この賑やかな「饗宴」は、阿刀田研二が間もなく内地へ帰ると、松田の懇請があったため開かれたものだが、これにはマリヤ等が作った島民料理が出された。人々は手づかみで食べ、合成酒を飲み、島民の唄を皆で歌った（中島敦、前掲、「日記」）。

翌日の夜も、敦は久功のところを訪れた。敦の12月22日の「日記」には、敦がきいた興味ある話が記されている。

夜、又土方氏宅。阿刀田氏、高松氏、

マルキョク・ガラルド辺のボラ捕りの話頗る面白し。数多のカヌーを連れ、リーフの程良き所に数10人下り立ちて円陣を作りボラの群を追ひつめる。各人手に鳥を捕ふるが如き網を持ち、（水中を掬ふにあらで）空中にかざして待構ふ。数人、円陣内に入り銚を手にボラを追ひまくる。ボラは逃れんとして、水上より二米余も高く跳躍す。そのボラを各、網をもって空中に捕ふるなり。竿につけし網を以てもなほ捕へ得ずして、頭上を越さるゝことあり。かくして、二尺に余る大ボラ数百尾を忽ちに捕獲す。漁終れば、各、舟に帰り、直ちに齒もて大ボラを噛み裂き、海水にて一寸洗ひては、ムシャー〜と食するなり。

又、リーフの縁辺にて、大シヤコ貝（アキム）の鹽程のものを捕るも愉快なりと。リーフの縁あたりのは大シヤコ貝いづれも口をあけて待居るが、その口の中に、丸太をつゝこめば、直ちに貝殻を閉じて棒を挟む。その隙間より、用意せる大竹ペラ〔に

て、]を差入れて、貝柱を切断すれば、瞬間、巨大なる貝殻が忽ち力を失うて、ガタリと離るゝ由。かくして、見る間に、舟も沈むばかりにアキムを積込むなり。

土方氏によれば、天下の珍味は、海亀の脂に極まる由。パンの実をむしり、之にこの脂をつけて食すれば、飽くるを知らずと。マングロープ貝も味よし。亀の卵はいくら熱すると白味固まらず。卵は一ヶ所に二三百箇あり。土民、棒を以て泥地をつきさし、その突端に黄味のつくを見て其処を掘り卵を取るといふ。島民の雛のしめ方の乱暴なる話。先づ生きながら毛をむしりつくせば、歩くにもヒョロ／＼して歩けぬと。

ここにある、「マルキョク・ガラルド辺のボラ捕りの話」とは、昭和14年(1939)10月17日から26日まで、杉浦健一と本島へ調査旅行へ行ったださい、マルキョクで体験したことである。『日記』22日の記(第26冊)には、次のように書かれている。

村ノ者等総ガカリデ(ボラ)漁ニ出タノデ、十時前頃、波止場ニ出テ参加シ、昼頃サキニ帰ッテクル。

このように、久功は南洋群島で見聞きした興味深い出来事を敦に聞かせたのだった。その後も、敦は、毎晩のように久功のところへ行っていたが、大晦日を久功等と過ごした。そこでも、敦は、久功の蛸捕りの話を頗る面白くきいた。

元日には、役所の式へ出、食堂で雑煮を食べた後、久功、高松と三人で、アラカベサンの佐伯清の家へ行き、夕食を御馳走になった。

二日は、皆で久功のところで鍋三杯のお汁粉を作り、餅も充分あって、腹一杯食べた。敦は、久功のところに集まる熱帯生物研究所の独身者や放送局の職員等と一緒に、楽しい時を過ごした。

久功と敦は、昭和17年(1942)1月17日から、パラオ本島周りの出張旅行に出た。敦は前年の8月30日、久功等とともにパラオ本島を一周するつもりだったが、 Dengue熱を患い、この出張をあきらめなければならなかった(岡谷公二氏『南海漂蕩』、145・156頁)。それだけに、敦は久功とのこの旅を楽しみにしていた。しかし、出発の前夜、敦は発熱し、眠ることができず、疲労し、リュックサックの重荷は肩に痛く、出発を止めようと思ったが、無理して行くことにした(中島敦、前掲、「日記」)。

なお、この17日から31日までの旅行については、久功「トンちゃんとの旅」(『著作集』第6巻、334～381頁)、中島敦、前掲、「日記」に記されている。

敦は、その後も、2月5日～7日、ペリリュー島へ出張で訪れた(中島敦、前掲、「日記」)。

この頃、敦はすでにパラオを去る心積もりでいて、内地へ戻る前に、まだ訪れていないところを全部見るため、この両島を訪れたのであろう。

11月12日の『日記』には、次のようなことが書かれている。久功は出張手続きのため

秘書課へ行ったら、出張命令が出ていず、商工課では知らぬという。事務の関にきいたら、地方課長が旧慣調査費から出すことを承知したと言うので、地方課から出張命令を出させることにして来ると、後で藤本から電話で、旧慣調査費はそっくり年末賞与にまわってしまって予算がないので、結局商工課で出張旅費を出したとのこと。調査費が職員の年末の賞与にまわされるという信じられないことが行われたのである。久功は「不愉快ナルコトナリ」と『日記』に書いている。

11月14日、物産陳列所で、次に様なことが起こった。少し長いが、『日記』を引用してみたい。

午後、警務課長ガ拓務省ノ事務官ト云フノヲツレテ来ル。須藤巡查モ共ニ。

拓務省ノ事務官ト云フハ説明モロクロク求メズシテ、土産物ヲクレト云フ。参考品ヲ出シテ、後デ似タモノヲ買ッテオケバイイダロウト云フ。イヤラシキ限りナリ。断ル。コンナノガ居ルカラ、宇野君ノ時ニ参考品ガ沢山入カハッテシマッテ、台帖ニノッテ居ルモノトハ似テモツカナイ品ガ入ッテ居ルノダ。^{〔案〕}吉本君ナドモヤッタニチガヒナイ。

夜、家人君ガヒョッコリヤッテ来ル。二人デ合成酒ヲ酎シテ飲ム。

「イヤラシキ限りナリ」とあるように、ひどい話である。物産陳列所は、博物館と考えてよいだろう。その所蔵資料を土産物にするから寄越せ。後で似たものを買って補充すればよいだろう、という。久功は断ったが、このようなことは、これまでしばしば行われた。そのため、所蔵資料台帳と所蔵資料とが一致しないものがあった。久功は、専門職員であり、事務職員とは違う。また、断ることができたのは、有力者が後ろ盾になっていたからであろう。一般の役人であれば、上からの圧力に屈して、言いなりに所蔵資料を渡してしまったに違いない。久功の腹立ちはかなりなもので、夜、家人と二人でヤケ酒を飲んだ。

久功は、商工課長に何度も面会を求めたが、なかなか会うことができなかった。2月4日の朝早く訪ね、やっと会うことができた。その時のことが、『日記』に書かれている。

朝早く商工課長ノ所ヲ訪ネル。玄関デ要件ヲ□話シタガ、役所デ相談シヤウトノ事デ、役所ニ行ク。課長ト吉本君ト阿久津君ト集ッテ話シタガ、話ハトンデモナクテ、物陳ノ二千元タラズサへ、此ノ船舶モナクテ内地ヘノ注文物ガ出来ズ、バラオデハ材〔料〕量、労力ノ不足デ□何モ出来ナイ時ニ、マダソノ上ニ博覧会経費トヤラガ三千元トカ四千元トカアルサウデ、三月イッパイ迄ニ六千元ヲ有要ニ使ッテクレダト。

吉本君ハ涼シイ顔シテ、農林、水産ノ人々ニ依頼シテ、資料蒐集ニ出張シテ貰ッテヨイト云フ。例年方々ニ見受ケル慰勞出張、ムリヤリ事業ノ悪習ダ。何故ソナ金ノアルコトヲ早く云ハナイノカ、シミッタレテ大事ニ握リコンデ居テ、期間ガナクナル

ト無理ヤリニ使ハセヤウトスル。セメテ九月カ十月マデノウチニ六千円ヲホッポリ出シテクレタラ、ドンナニ意味ノアル金ダツタラウ。地方課カラ出シタ研究機構ノ新規予算ハ、小役人ドモニイザクリマハサレテ、機構ヲ作ラズニ、調査費ダケガ提出サレテ居ル。調査費ナラ、旧慣其他調査費ガ毎年消化シキレナイデ、変ナ所ヘバカリ融通サレテ居ルノダ。機構ノナイ調査費ナンテ、ソナナ幽霊ノヤウナ金バカリ役所ノ中ニハ、アッチニモコッチニモ、カキ集□メラレテ居ルノデ、正当ナ目的ニ使ヘル人物ガ何処ニモ取ツテナイノダ。ケチケチトシマヒコンデ居テ、シマヒニ腐ラセテシマフ事務屋バカリ居テ守ツテバカリ居テ、——活カシテ使フコトノ出来ル人間ト役トヲ、ドウシテモ置カウトシナイノダ。モウ三年目ノ三度目ノ予算ノ見透シガ見エタ。オエラ所ガドンナニ理解ガアツテモ、小役人ドモガ、ハキチガヘタ忠義顔デ、何モカモ骨抜きニシテシマフノダ。

久功の腹立たしさがよくわかる。これまで2千円足らずの金さえ、予算がないと断ってきたのに、今になって、6千円の金があるから、3月いっぱい使ってくれ、というところでもない話である。せめて、9月か10月までのうちに言ってくれば意味のある金になったのに、2月になってしまった今となつては、有益に使うこともできない。役所では、例年、「慰勞出張」、「ムリヤリ出張ノ悪習」で、金の無駄遣いをしている。これを読むと、当時の役所の体質は、今も残っているのがわかる。

この件で、久功は、南洋庁を辞める決心をして、その日の夜、山口武官の所に行った。

夜、水曜会、安武君ノマレー半島ノ林業ニ就イテ。後、武官ノ所ニ行キ、一日ノ不平ヲサラケ出シ、ヤメテ帰ルコトヲ宣言スル。

さらに、14日には、部長に辞意を告げ、内諾を得た（『日記』2月14日）。

このほか、第29冊で注目すべきことを挙げたい。

榊原弘という日本画家が、パラオに住んでいた。南洋群島へは多くの美術家が渡航したが、ほとんどは短期の滞在であった（滝沢恭司氏「美術家と『南洋群島』と日本近代美術と」、『美術家たちの「南洋群島」展図録、2008年、町田市立国際版画美術館他）。久功が榊原弘に初めて会ったのは、昭和16年（1941）5月22日の夜、武官の家であった。そこで久功は、榊原の描いた日本画を見ている。昭和17年（1942）1月17日に、久功が本島のマルキョクを訪れたとき、その日の『日記』に、「ココニ榊原君ガ——、モウ半歳以上モココニガンバリコンデ絵ヲカイテ居ルノデアル。」と書いているので、榊原は、その前年には本島のマルキョクを拠点にして制作活動をしていたのがわかる。榊原の経歴はよくわからないが、京都出身で、榊原紫峰、苔山、始更等の弟で、『京都市美術展覧会陳列目録』によれば、第1回（昭和10年）に「犬」、第2回（昭和12年）に「田舎の祭り」、第3回（昭和13年）に、「烏骨鶏」を出品している（京都市総合資料館提供、レファレンス協会同ベース）。パラオ滞在中、久功と交流があり、南洋画壇にも出品していたが、久

功が内地へ引き揚げた後もパラオに留まっていた。久功の疎開先、岐阜県土田村へ、昭和22年（1947）4月19日に榊原弘から手紙が届いた。それによれば、敗戦後セレベスに渡って、間もなく肺を病み、内地へ戻って京都病院に入院した。手紙は病院で書かれたものであった。しかし、昭和23年（1948）5月21日に4通目の手紙を受取って間もないとき、6月4日付で榊原雨村から、弘が死去したとの知らせが届いた。

10月28日、久功がパラオ本島アイライのガツキップ村落を訪れたときのことである。その日の『日記』に

Sebalノ所ニ行ク。Sebalハ土産板彫を作ッテ居ル。

と書かれている。久功は、島民が「土産板彫」（後の「ストーリーボード」）を彫っているのを見た。『日記』には書かれていないが、自分が教えた板彫りを、島民が制作している姿をみて、久功は喜びを感じたことであろう。

昭和16年（1941）11月9日、久功等がアルコロンからガラルヅへ行く途中のことである。『日記』には、次のような記述が見られる。

Sokól 翁サンノ所デ Anaニ逢フ。Rüemaガ死ンデシマツテ、Anaハ父ノモトニカヘッテ居ル由。昨日 Bad r Urūhaūノ道デ逢ツタ男ニ、Moros a Bodolニ言伝ヲタノダラ、Morosモ五月ニ死ンデシマツタ由、RüemaモMorosモ肺病ナリ。島民勞力ガ極度ニ□強制的ニ要求サレル此ノ頃デハ、弱イ人間ハ皆參ッテシマフラシイ。二人トモヨイ人間デアリ、若カッタノニカワイソウナコトラシタ思フ。

当時、戦時体制で、若い男の島民等は、みな軍事施設建設や道路造りなどの人夫に駆り出されていた。高温多湿のパラオ島での肉体労働は、身体に大きな負担をかけることになり、このような犠牲者を出すことになったのであろう。

なお、久功と敦は、二人で1月17日から31日まで、パラオ本島へ出張旅行に行ったが、この旅行記は、『日記』第30冊に書かれている。

〔表紙〕

〔29〕 千九百四十一年五月二十二日ヨリ 四十二年二月十五日迄

昭和十六年 ㊦

HISAKATSU. H.]

(五木小唄)

おどんが打っ死んだちゆて ^{タイ ニヤ} 誰が泣てくゆきや 山の鳥と蝉ばかり
 おどんが死んだ時 ^{ミチバチヤ} 路端いかる ^ゴ 通る□人每ち花あげろ
 花は何の花 つらつら椿 水は天から もらひ水

〔1頁白紙〕

五月

二十二日 木 晴,

昨日秘書課長カラ、岩倉具栄公ノ一行中、清野医博ガ面会シタイト云ッテ居ルカラ、今日□午前中南洋ホテルニ尋ネテ行クヤウ言伝ガアッタノデ、十時前ニホテルニ行ク。丁度岩倉公ハ街ニ買物□ニ出ラレタ所デ、清野医博ト、一昨年既ニ面識アル平野義太郎氏、西方秀男氏ト面談、昼ニ岩倉公モ帰ラレテ皆デ中食。一時ヨリ関君ガ車ニ台デ迎ヘニ来タノデ、皆デ公学校ニ行キ、学芸会ヲ見、アバイニ行キ、水産試験場ニ行キ、三時半物陳ニ行ク。

一行ト別レテ一寸家ニカヘリ、夜再ビホテルニ行ク。南方研究会ノ全員ガ呼バレテ座談会ガアッタノデア。大平君トブラブラ歩イテ行ッたら、晴サンニ逢ヒ、本日サンノ自動車ニ拾ッテ貰フ約束ダカラト云フノデ、南貿デオ茶ヲ飲ンデ時間ヲスゴシ、五島ノ前デ車ヲ待ッテ皆デホテルニ行ク。大変ナ出席者デ、座談会トハ打チトケナイ感ガアッタガ、九時半頃迄種々話ガアリテ、散会、清サント一緒ニ武官ノ車ニ便乗シ、清サンガ渡船ノ時間ヲ待ツ間、武官ノ宅デ話ス。武官ノ所ニ、□□□□□ [島民文化財] ヲ写シニ来テ居ル日本画家ノ某氏 [榊原弘]²⁹¹⁾ モ居テ、マルキョクデ画イテ来タト云フ日本画ヲ見セテ貰フ。十一時ニ帰ッテクル。

二十三日 金 晴, 昼小雨アリテ後曇ッテシマフ。

午後、財務カラ榊田君ガ来テ、備品調べ、五時迄カカッテ終ラズ、明日ニスル。

午後カラ、近來ニナク背腹痛ミテ、殆ド不快ナル程苦シ。帰ッテ床ニ就イテシマフ。

二十四日 土 晴,

殆ド昼前ニナッテ榊田君ガ来タノデ、四時半ニヤット一通リ終ル。但シ、オカシナ所幾ツカアリ。

昼前、□放送局ノ山口君、熱生ノ和田君訪ネテクル。

陳列所ノカヘリ、五時ノ渡船デアラカベサンニ行ク。スグ後カラ本日サント野村君ト
来ル。宿ル。

受信 木村潔（京大医博），コレハヅット前ニバラオ水産ニ来テ居タモノ。

二十五日 日曜日 晴，夜十時過ギテ雨，

朝食後，九時ノ渡船テ帰ッテクル。

夕方，家入君ト散歩ガテラパンヲ買ヒニ出ル。オデンヤデビール一本，帰ッテコーン
ドビーフデパン，紅茶ヲ入レテ居タラ，和田サンガ来ル。

（欄外に記す）
【手紙】

◎綾チャン。三月二十七日ト四月十四ニ書イテ下サッタオ手紙ト，新ラシイ本ヲ三冊ト
頂キマシタ。ホントニ有リガタウ。ソレカラ百合チャン達ノ写真ト。百合チャンカラモ，
カヒガヒシイ楽シサウナオ便リヲ貰ッテ，蔭ナガラ喜ンデ居マス。ソレニヒキカヘテ，
綾チャンハ又病氣ヲシタンダッテネ，カワイソウニ。綾子ハホントニ弱インダネ，カワ
イソウニ。

ウント氣ヲツケテ，モウ決シテ病氣ヲシナイヨウニネ，今度病氣ヲシタラモウダメダ
ヨ。

御手紙ノ度ニ内地ノ季節ガ変ッテ居ルノガ目ニミエルヨウデス。南洋ハ少シバカリ雨
ガ多イカ少ナイカ，ソレダケダケド。

花ヲ造ルヨウニナツタンダッテネ。花ヲ造ルノハホントニイイ。モーツ花ノ歌日記ヲ
ツケルト，モットイイト思ヒマス。テニヤンニ居タ時ラヂオヲ聞イテ居タラ，内地ノ人
達ニ日マハリノ花ヲ植エサセテ種ヲ集メサセテ，揚ゲ物油ト交換サセルンダッテ，放送
シテタネ。ソレデモ花ヲ造ルノハイイ。放送ッテ云ヘバ，七月一日カラバラオ放送局ガ
出来ルヨ。内地ニキコエルカシラ。ソレヨリモ，コノ間カラバラオト内地トノ電話ガ通
ジタノダヨ。カケタ人ノ話ヲキクト，ソリヤヨクキコエ^テルノデ，ホントニ近クニ居ル
ヨウナ氣ガスルソウダヨ。三分間八円ヂヤタカイケド，一度綾子トオ話シシヨウカネ。

ママハトテモ虫ガイインダッテネ。ダカラ僕モ少シバカリ虫ヲヨクシテ，綾チャンニ
手紙ヲカクトキハ，必ズパトママニ宜敷クラ忘レナイヨウニ約束シテ貰フヨ。

ソレカラ，

（サイパン デ）

小サナカレータニ子供マデギッチリ乗セテ²⁹²⁾

（チャモロハ恐ロシク多産ナ人種ダ

十人位ノ子持ちハ珍ラシクナイ）

街中ノ白イ埃リ道ヲ
 蔭一ツナイ埃リ道ヲ
 ノロノロト牛ニヒカレテ
 野仕事ニ出テユクチャモロノ家族
 二人ノ女ガカレータノ上デ
 坐ッタママ黒イ蝙蝠傘ヲ
 サシカケテユク——
 間ノスケタ風景。

(アギーガン)

ウルトラ・マリーノ²⁹³⁾

底知レス海ノ深ミカラ
 切り立ッタ断涯 [崖]
 断涯 [崖] ニ碎ケル怒涛
 其ノ上ニ更ニ断涯 [崖], 又断涯 [崖] ト
 階段ピラミッドノヤウナ無人島
 アグイガン!
 荒ラクレタ野牛ト鹿ノスミカダッタ
 アグイガン!
 ソレハ, タッタ十年前ノコトダッタ
 人間ノ生きヒロガル力ガ
 其ノ断涯^[崖]ノ上ニ
 鋼鉄ノ^ク□□□□□□ [起重機] ヲ据エ
 底知レス海ニ浮ブ小舟カラ
 荷物ノヤウニ, 吊リサゲテハ
 人間ドモヲ断涯^[崖]ノ上^ニ□ヘト運ンデ居ル。

(ポナペ)

ポナペ

ドチラガ, ドチラダッタノカハ知ラナイガ²⁹⁴⁾
 アノ気味ノ悪イジョカーチノ残虐ヲ叛乱²⁹⁵⁾
 ソノジョカーチノ巨大ナ岩山ハ
 ポナペノ表玄関ニ, 今モ
 大空ノ下ニ, アラハニ突キ立ッテ居ル
 古イコトデハナイ

一人ノ女ガ——勿論何カ理由ガアッタラウ
魚ノ頭ヲ貫フコトガ出来ナカッタノヲ
怒ッテ、我ガ子ヲ背ニ負ウテ
此ノ岩山ノ上ニ登リツメタ
大空ニ突キ立ツ絶壁ノ上カラ
子ヲ負ウタ彼女ハ、後向キニ
後ズサリシテ……誰モ聞カナカッタニシテモ
彼女ハ悪シミト呪ヒノ言葉ヲ
口ノ中ニクリカヘシテ居タニチガヒナイ
後ズサリシテ、モンドリウツテ
絶壁カラ落ちタ——
人々ハ彼女ノ屍ヲ隈ナクサガシタガ
遂ニ見出サナカッタト云フ
ソノ氣違ヒジミタ意気地ガ
復讐ヲ顧ミズニ独逸人ヲ鑿ニシタノダ
ソシテ全時ニ只一人ノ医者ヲ
善人トシテ生カシタノダッタ……

ボナペノ黒イ山ノ頂上ニハ
一年中^{低ク}□□雲ガ低クタレコメテ居テ
其ノ頂ヲ見キワメタモノガナイ……

(ヤルート)
海上三尺カ五尺ノ²⁹⁶⁾
土モナイ砂島
只々、椰子ノ木ト、タコノ木ト
ソレカラパンノ木ガ□塩水ヲ吸ッテ
茂ッテ居ル砂島
洋上六百哩ニ、星ノヤウニ
散ラバツタ無数ノ小島
星座ノヤウナ環礁ノ上ニ
細ク細ク長ク、蚯蚓ノヤウニ伸ビタ島々
一寸ノ大波ニモ漂ハレテシマヒサウナ
ア、夢ノヤウナ
今モナホ、小作人リチャルバルノ上ニ

管理人アラップガ

アラップノ上ニイロイジリック小酋長ガ

ソシテ其ノ上ニ、ラータック、ラーリックノ二人ノイロイジラップ大酋長ガ

神ノヤウニ君臨シテ居ル

オ^断□伽話ノ封建国、マーシャル

ヤルト島ニハ

ソレゾレノ酋長達ノ宿舍ガアリ

酋長ノ家族ノ者等ガ三人カ五人

雑多ナモノデ飾リタテタ室ニ

丸々ト肥ッテ椅子ニヨリ

低イ縁ノ下ニ、コンクリートノ柱ノ間ニ

何家族ト云フ彼ノ子分共ガ

七輪ヲモチコンデ

□腐ッタパンノ実ヲ煮テ居ル……

二十六日 月 晴，雲多ク厚シ，夜遅ク豪雨沛然，

昼前，久保田君ガ物陳ニ訪ネテクル。

○休日

稍風ダッテ

青イ青イ空ニ

マブシイ白雲

ユウベニハマダマノアル

モノウイ午後ヲ

蜂ガ飛ブヨ

ケダルサト涼シサトガ相殺スル

「病氣ヲ欠乏ト考ヘテハナラス

ソレドコロカ

病氣トハプラス何物カデアル」

（ジード・パリュウド）

椅子ニヒックリカヘッテ

ソノ青イ空ニ見入ッテ居ルト

南洋メジロガ

鳳□^葉風木ノ□薄イ葉ヲクグッテイッタ

マル二年ニモナル

長イ間ノ、中途ハンバナ私ノ病氣ヲ

プラス何物トセヨト云フノカ

青イ空ノマブシイ白雲ヨ

二十七日 火 朝カラ雨が降ッテ居タガ後ヤミ、午後カラハ日ガ照ル。

海軍紀念日デ、アチコチニ催シ物アリ。午後コロール波止場ニテ、模□擬爆彈投下、島民ノ戦争カヌー競争、帆船競争、公学校デ踊ノ催ナドアリタル由。

物陳ノカヘリ、野元氏ノ処ニヨリ、八時半頃帰ッたら、夕方田沼君ガパントキウリトヲ持ッテ来テクレタ由、高崎君ガマトヲ持ッテ来テクレタ由。家入君ト紅茶ヲ入レテパンヲ食ベル。

○静カナユウベ

私ハ窓ニモタレテ

何ヲスルデモナイ

素馨ノ花ノアマイ匂ヒ

ソノ白イ群花

幸福？

「生活ノ様式ハ無数ニアルケレドモ

各人ハソノ一ツヲシカ知ルコトガデキナイノダ

他人ノ幸福ヲ羨ヤムナンテ馬鹿ナコトダ

何故ト云ッテ

幸福ト云フ奴ハ出来合ヒガ嫌ヒナノダ

注文デナクチャネ

僕ハ明日タツヨ

僕ハ自分ノ体ニ合ハセテ、幸福ヲ裁タウト努メテ来タツモリダ」

ジードハメナルクニ斯ウ云ハセル

□□□此ノ年迄モホントニ独リデ生キテ来タ私

私ハ宣言コソシナカッタガ

其ノ通りヲ生キテ来タノダラウカ

軒ニツルシタ三尺バナナノ
 半バ程マデ色ヅイテキタ
 明日ハ下ノーツニツ食ベラレルカ知レナイ……

○古イ帳面ノ中カラ

三枚ノ紙ノ小切レガ出テ来タ

一枚目ニハ「野牛ノ毛ノ靈験」トアリ
 頁数カ, 389ト書イテアル

二枚目ニハ「印度ノ或ル地方ノ商人ヲホメタ中ニ
 マター人ノ妻デ満足シテ居ル点モ珍ラシイ」ト

ソシテ, 「神ハ黒ク, 悪魔ハ白イ」ト
 三枚目ヲ読ンダガ

何時読ンダ, ドンナ本ダッタノカ
 無益ニモ錆ビツイタ記憶ヲ引ッ搔イテ^{ミル}□□居ル——

二十八日 水 晴, 夜小雨,

物陳ニ, 昼前久保田, 山口君ガ岩田サントカ云フ放送局長ヲツレテ来ル。

午後, 商工課ニ行キ, 新規要求予算ヲツクル。

朝, 背中痛ミ, 午後又痛ミテヤリキレズ, 帰ッテ二時間程休ム。起キテ商工課長ノ所
 ニ行カウト公園マデ出カケルト, 雨ガ降ッテ来タノデ引カヘス。止メテ後, 家入君トブ
 ラブラ街ニ出ル。松沼君ニアヒ, 南賢デオ茶。

〔発信〕 土方久顕, 木村潔, 小倉綾子, 山田剛, 西尾善積, 河崎兵衛, 三沢寛, 戸田百合
 子, 長崎協三 (ポナベ), 菅原宗助 (ポナベ), 森 (ルクノール), 九鬼格 (春島),
 渡辺忠義 (春島), 後藤貞二^(親), 中沢英子

〔送品〕 中沢英子 200

木村潔 「旧俗習慣」 「サテワヌノ神事」 「科学南洋」

今日ハ何ノ準備モナク, 電話デ呼び出サレテ, 一時間ノ間ニ来年度ノ物陳ノ^親□新規要
 求ノ予算ヲ作ラサレタ。作ル方モ作ル方ダガ, 作ラセル方ガ目茶ダ。前二十年計画ノ博

物館予算ト、次ニ地方費ノ土俗参考館ノ予算ヲヤツテ居タノデ、チョコチョコトヤツテノケテハ来タケレド、私ハコンナ事ヲサセラレルト、恐ラク人々トハ反対ニ、ロマンチックナ計画ヲデモ夢ニ見テ居ルヤウナ気ガスル。此ノ間テニヤンデ読ンダ「法王庁ノ抜穴」(ジード)ニ、「アルニカハ公ノ沙汰ニハサツパリ通ジテ居ナカッタ。ド・サンプリ夫人カラ聞カサレタコトニ就イテハ、漠トシタ感銘シカ残ツテ居ナカッタノダ。逮捕トカ、監禁トカ云フ言葉ガ、彼女ノ眼ノ前ニ、暗黒ナ、殆ド浪漫的ナ幻影ヲ髣髴トサセタ」ト云フノガアツタ。

〔欄外に記す〕
〔大人ノ世界〕

私、若イ人達ガ商業組合ダ、信用組合ダ、無尽ダ、利廻リダ、更ニ経費ダ、事務所設立ダ、料理屋デノ準備会合ダ、何ダカンダト云フノヲ聞イテ居ルト、マルデ自分ニハ解ラナイ「大人」ノ世界ガアツテ、遠クノ方カラ、其ノ世界ヲノゾキ見シタ様ナ、快、不快ヲ越エタ、ロ□マンチックナ感覚ヲ覚エルノガ常デアル。

二十九日 木 終日曇、朝八時ニ雨アリ、午後モバラバラ雨アリ。

昼前、久保田君訪ネテ来ル。帰り役所ニヨリ、商工□課長ノ所ニマハリシモ留守。

夕方カラ又背中稍動カリシガ、再ビ商工課長ノ所ニ行ク。又留守、明日ハ必ズ在宅ノ由。

帰ルト、久保田君ト山口君ガ来、消燈前迄。

「人間ノ最モ美シイ所業ハ、アクマデ悲痛ナモノデアル。幸福ノ物語ナド何ニナラウ？幸福ヲ準備スルモノ、次イデ之モ破壊スルモノノミガ語ルニ足リルノダ。」メナルク『生活ノ様式ハ無数ニアルガ、各人一ツシカ知ルコトハ出来ナイノダ。他人ノ幸福ヲ羨ヤムナンテ馬鹿ナコトダ——幸福ツテヤツハ出来合ヒガ嫌ヒナダ、注文デナクチャネ。僕ハ明日発ツ。僕ハ自分ノ体ニ合ハセテ幸福ヲ裁タウト努メテ来タツモリダ。』（ジード——背徳者ミッシェル）ヨリ

「同情ハ真平ダ。感染ハ皆ソコニ潜ンデ居ルノダ。丈夫ナモノニシカ同情スベキデアアルマイ。」

「コノ永遠ノ蒼空ホド思想スルカラ挫クモノハナイ——ソレホド怪樂ガ欲望ニピツタリ寄り添ツテ居ル。」(ジード——背徳者)ヨリ

× × × × ×

○読後……自然ハ自然生活ノウチニノミアルモノデ、経済生活者ニハ其ノ客観面シカ味ハフコトヲ許サレテ居ナイ。シカモ自然ハ生活乃至力ソノモノデアツテ、觀賞、享樂、吟味サレル如キ、善悪、好悪、美醜トハ係ハリナイモノデアル。デアルカラ経済社会ノ

中ニ、機構的ナ経済生活ヲ営ム文明人ハ、結局「自然的」デアル以上ニハ徹底スル筈ガナイノデアル。シカモ亦、自然的ナルコトノヨロシサヨ、経済ヲ忘レタ生活ノ□ノゾマシサヨ、デアル。

三十日 金 晴, 朝八時頃雨アリ。

物陳カラカヘリ, 商工課長ヲ訪ネ, 一緒ニ課長ノ家ニ行ク。西山君ノ件, 授産所ノ件, 今度トル講師達ノ件, 夕方ヲ馳走ニナリ十時ニ帰ル。

ジード「ソヴェト旅行記」ヨリ —

(問題ヲモット遠クハ突キススメヨウトスル人間ハ不幸ナルカナデアル。規準ノ範囲内デノ批評ハドンナニヤツテモ構ハナイ。ダガ規準ノ範囲ヲ一歩デモノリ出シタ批評ハ許サレナイノデアル。

(大多数トイフモノハ — タトヘ最良ノ要素カラナリタツテ居テモ — アル芸術作品ヲ評価スル場合, ソコニ含マレテ居ル所ノ, 新ラシイモノヤ, 人ヲ当惑サセルヤウナモノヲ決シテ欣バナイモノデアル。カツテブルジョワ的ナ通俗 (パナリテ) ガアツタヤウニ, 革命的ナ通俗サモアルコトヲ知ルノガ肝心ダ。

(革命ガ勝利ヲ獲□得シ□, 安定シタ瞬間ニ於テ, 芸術ハ恐ルベキ危険ニ瀕スルモノデアル。ファシズムガモトラセル, アノ最悪ノ危険ト殆ド同ジヤウナ。即チ正□統派 orthodoxie ノソレデアル。orthodoxie ガ最□モ健全ナモノデアツテモ, 失ハレタ芸術デアル。

ドイツ人ノ比喩 — 沐浴ノ水ト一緒クタニ, 子供マデ棄テテシマッタ!

三十一日 土 晴,

今日未明, 山城丸ガ入港ノ予定ダッタノヲ, 十時頃ニナツテ関君カラ電話デ, 午後二時ニ遅レタト云ツテ来タノデ, 四時過ギノバスデホテルニ行クト, 山城丸ハ更ニ遅レテ五時入港ニナリ, 岩倉サンノ一行ハマダ着イテ居ナカッタガ, 四時四十分過ギニ波止場カララシイ電話デ, 今入港シタカラ間モナク行クト云ツテ来タノデ待ツタガ, ナカナカ来ズ, 六時過ギテヤツト着ク。皆デ一緒ニ夕□食シテ, 七時公会堂ノ講演会ニ行ク。常吉サンガ, クダラナクヤキモチヲヤクノデ講演ハ聞カナイデ, 八時ニ帰ツテクル。

清野博士, 西方氏カラ, 原稿ハ二ヶ月程貸シテ貰ヒ度イトノ事ダッタノデ, ソノママアツケテ来ル。

ジード「法王庁ノ抜穴」

1. アンティム・アルマン・デェボア
2. ジュリウス・ド・バラリウル
3. アメデ・フルウリッソアル
4. 百足組
5. ラフカディオ

ラフカディオ（ルーマニア人 19才）

自分ノデキサウモナイコトヲ見クビルノハ、都合ノイイ話ダ。

プロトス（莫迦ノヤウナフリスル）

世ノ中デハ決シテ本当ノ自分ノ相（スガタ）ヲ持タナイコトガ必要ダ。

アア奥サン、オ願ヒデス、彼ヲ引キトメナイデ下サイ。自分ノ使ヒ途ヲ見出シ得ル者ハ地上ニハ極メテ稀ナノデスカラ——（アメデガ十字軍ニ出ヤウトスルトキ）

プロトスノ考

「人生ニ於テハ機宜ニ応ジテ“ドウトモナレ”ト自ラ云フスベヲ知ッテコソ、難局ヲ切り抜ケ□得ルノダ」ト云フコト。ソノ通りノコトヲ僕——ラフカディオ——ハ脱走ノ際ニアタッテ自ラ云ツタノデス。（ギリシャ語塾カラノ脱走）

ジュリウス「オ許シ下サイ、ドウモ私ハ胃ガ丈夫デナイノデス」ダッテサ

[1頁白紙]

六月

一日 日曜日 晴、

〔欄外に記す〕
〔興亜奉公日〕

（興亜奉公日）ナノデ、五時半ニ第四ノ前ニ集合、国旗掲揚、宮城遙拝後、第六デハ直チニ清掃ト云フコトニシ、皆デ草取り、終ッテ直チニ斑常会。アラカベサンニ電話セシモ通ゼズ、郵便局ニ行キ、十時半ノ渡船デアラカベサンニ行ク。□^晴清サンハ居ズ、岩倉サン一行ガ来ル通知ハ、案ノ条来テ居ナイ。ア・ミュンスニ使ヲヤッテ島民料理ヲ注文サセル。三時キッチリニ、一行見エ、四時半頃帰ル。一行ノ車ニ便乗シテ帰ッテクル。朝カラ ヤヤ 背中イタク、午後モ気分スグレズ、帰ッテ来テ一時間程横ニナル。

夜七時半、火曜会ノ集リガアルノデ、武官□府ニ行ク。清野氏、□平野氏既ニ来テ居リ、皆モ殆ト集ッテ居タ。十時散会、消燈前ニナッテ大平君来テ、十一時迄話シテ行ク。

ジード「ソヴェト旅行記」ヨリ

カクシテ芸術作品ハ、若シモ少シモ傾キヲモッテ居ナイ時、^徒□從ッテ何ラノ意義 (sens) ヲモタストキ——コレハ言葉ノ上ノ洒落ダガ——忽チ形式主義ノ作品ト見ナサレル。遠慮ナク云ッテノケルト、ココデ云ハレテ居ルヤウナ「形式」トカ「内容」トカ云フ言葉ヲ、私ハ微笑マズニ口ニスルコトガデキナイ。ソシテマタ、コンナ馬鹿ゲタ分類ガ批評ヲ決定シテ居ルノヲミルト、泣キタクナルノダ。

ジード「パリュウド」

ユベエル——アンジェル——ティティル

リシャル——コンシュル

ジード、「鎖ヲ離レタプロメテ」

ククレス——ダモクレキス

プロメテ——鷺——給仕

金満家——無償ノ行為

○リュウクレス『恐怖ハ神ヲ作ル』

二日 月 晴、実ニヨク晴レテ風ガアッテ暑クテ涼シクテ気持ノヨイ日、

午前中、久保田君ガ訪ネテ来ル。

帰り街ニ出ル。夜ハ前ノ部屋デ酒飲ミガハジマッテ、イツマデデモ喋リツツケラレテ、家入君ガ「南洋群島」²⁹⁷⁾ヲモッテ来テクレタノデ、ソレヲ読ンデブラブラシテシマフ。

〔欄外に記す〕
[[「水ノ上」]]

モーパッサン「水ノ上」ヨリ

或晩彼ガ Doux Repos ノ終曲ニ当ッテ、彼ガナシタ腕ノ激シイ運動デ、一ツノ鈕ガ彼ノキュロットカラ落チデモスルト、ソレガメタルニサレル。金鎖デ胸ニ掛ケル神聖ナメタルニサレル。

女デ自分ノ家ニ文人ヲ置キ度イト云フ狂□癖ヲ持ッテキル者ハ、丁度鸚鵡ヲ飼ッテオイトテ、ソノ饒舌デ隣近所ノ門番等ヲ引着ケルト全ジデアル。

何が面白クナイト云ッテ、共同食卓ノ会話グライ忌々シイモノハナイ。貴族ノコトヲ、
天気ノコトヲ、貴族ノコトヲ、天気ノコトヲ——クダラスコトヲ。

ケレドモハッキリシタ考デ、人間ノ満足ノ出来ル狭イ範囲ヲ見通シテシマッタ他ノ者
共ハ、幸福ノ空シサト、現世ノ悦ビノ単調ナノト、貧弱ナノニ対シテガツカリシテ居ル。
人々ガ若シ三十才モノ年配ニ達スルト、モウ総テガ彼等ニトツテハオシマヒデアル。彼
等^{ガ彼等ニトツテ}□□□□□□ハ何ヲ予期スルコトガ出来ヨウ？——彼等ハ人間ノ貧弱ナ快樂ノ一通
リヲ盡シテシマッタ。イツモ繰り返ス同ジ行為ヲシテ居テ、厭ハシイ倦怠ヲ味ハズニキ
ラレル人ハ幸福デアル。

實際何人モガ、イツモ全ジヤウナ人間ノ顔ニ対シテ嫌悪ヲ、動物ガソノ種族ノ初メカ
ラ終リマデ、彼等ノ精液ノ中ニ伝ヘラレテキル^器□不変ノ本能ニヨッテ、単ニ生キテ居ル
器械タルニ過ギナイヤウニ見エテ居ルノニ対シテ、イマダ少シノ嫌悪ノ情ヲモ起サナカ
ッタカ。

バガニニーノ墓

サエン・フェレオル岩, 1840. May27th

三日 火 晴, 風アリテヨシ,

昼, 家入君, 吉村君, 高崎サン来ル。

午後, 背腹イタム。物陳ニ□拓殖部長ト吉本君ト来ル。夕方和田サンガ来ル。一緒ニ
Maria ノ所ニ行ク。又々背腹痛ミテ堪エズ。ゴザヲ出シテ貫ッテ横ニナリ, 背中ヲオサ
ヘテ貫ッテ, 少シばかり質疑ヲタダシタガ, 稍痛ミノオサマッタノヲシホニ帰ッテ来ル。
九時。ブッタフレテ居たら, 三十分程シテ大平君ガコーヒーヲ持ッテ遊ビニ来, 十一時
前マデ話シテ行ク。

シタイコト, シナケレバナラナイコトばかり多クテ, 一向ハカドラナイデコマル。体
ノ調子が悪イノデ毎日ノヤウニ計画ガソゴシテ, 時間が足りナイヤウナ気ばかりシテ居
ル。何トカセネバイケナイ気がスルガ, 何トカナラナケ□レバナラナイノハ体ダ。

(サイパン, テニヤン, ロタ) ニテ

✓スコールガ過ギテ

照リマサッタ陽ニ タマナノ葉ガキラキラトマブシイ

✓乾燥期ノ午後

カマチリノ林ノ下ニ赤子ト遊ビ 土器ヲ探ス

✓生垣ノ名モ知ラス木ノ

白キ花, 穂ニ穂ニ咲ケリ テニヤンノ昼

✓イガグリノ子, 日中ノコノ庭ニ来テ

レモンリチーナノ紅イ実ヲ取ッテハ食フスバシコサ

四日 水 晴, 雲多ク午前九時頃細雨アリ, 昼一降り。夜ハ八日カ九日ノ月アカルシ。
物陳ニ久保田君来ル。

物陳ノカヘリ, 熱帯生物ニ行ク。宿舎ニ行キ皆ト一緒ニ豚鍋ヲツツク。

夜, Maria ノ所ニ行キ, 例ノ如ク古イ歌ヲシラベル。

九時過ギ帰ル頃カラ, 稍背中痛ム。

五日 木 朝カラドンヨリ雲^[ママ]ッテ居タガ直キニ降り出シ, イヨイヨ雲厚ク, 風ヒヨヒヨト寒シ。昼一寸ヤミシモ午後又降ル。三時ニハ止ミシモ曇リシママ, 夜ニ入りテ雲切レ月明ルシ。

物陳ノカヘリ, 街へ出ヤウトシタラ, ヒサ子チャントヒロミチャンガグツグツシテ居ルノデ, ドウシタノカト尋ネタラ, オ使ヒニ出タノダガ, オ金ヲオトシタノデ帰ッテ来タノダト云フノデ, 街ニツレテ行ク。買物ヲサセテカヘシ, 南賢デ田沼君, 高崎君ニアフ。

七時過ギニ Maria ガ約束通り来テクレ, 九時過ギマデ歌ヲヤツテクレル。併シ矢張り一人ダトワカラナイノガ多イ。

夕方カラ僅カニ背中痛ム。

六日 金 昼前ニナッテ雲出デ, 二時間バカリヒドイ雨ガフル。

降りコメラレテ昼カヘラズ, 弁当ヲ取り, 物陳ノカヘリ野元氏ノ処ニ行キ, 風呂ヲ貰ヒタ食ヲタベテカヘル。合宿ハ四五日前カラ水道ノ故障デ, 水ヲトメラレテ居ルナリ。

七日 土 朝カラ曇ッテ居タガ, 又昼ニ雨ニナリ, ヒドイ降り方ダツタ。四時頃ニハドウニカ止ンデ, 夜ハ月ガ明ルカッタガ, 九時半頃又一雨。

物陳ノカヘリ, 田沼君, 佐藤君ニ逢フ, 田沼君, カーテンヲ縫ッテ来テクレタノデー寸寄ッテ貰ツタガ, スグ帰ッテユク。夜, 高崎君ガ来, 家入君ガ来テ紅茶ヲ入レテ長イコト話シテ居ルト, 八時半頃ニナッテ高松君来テ入カハル。十時過ギ迄話シテ帰ル。

八日 日曜日 晴，昼頃カラ二時間程モ晴レタママニ小サナ雨が降ッテ居ル。夜八月が明ルイ。

アラカベサンニ行カナクッタノデ，久々ニ日曜日ヲ室ニ閉ヂコモッテ——サテ小包ヲコシラヘタリ，写真ヲハタリ，イツノ頃カラカ書キタマツ紙切レノ忘レタヤウナ覺エ書キテ，目ヲ通シテ整理シタリ，寝コロガッテ本ヲ読ンダリ，ソレカラ背中モ少シハ痛ク，昼寝モシタリシテ，タワイモナク過ゴシテシマフ。

夕方カラ，家入君ト街ニ出，一マハリシテ来テ，焼鳥屋デビールヲ一本ツツ飲ンデ，一寸マダモノタリナイデ，出ルト，田沼君，高崎君，佐藤君ガ来ルノニ逢ヒ，皆デ金寿司ニ行ッテ，寿司ヲツマンデ来ル。

【送品】 小倉綾子（ハンドバック） 土方道子（ハンドバック）
土方貞久，允久（玩具，オモチャ犬）

九日 月 快晴，空透キ通ルヤウニ青ク，風吹キツギテ明ルイ陽モ暑クナイ。夜九時ニナッテ明ルイ満月ノママニ小雨降りテ止マズ，十時迄モ降ッテ居ル。

物陳ニ久保田君来ル。明日コロールノ女子青年団ヲタノンダ由。

帰り街ニ出ル。グルグルマハッテ帰ッテクルト，後カラ栗原サンニ呼ビトメラレル。

ビールノ配給券来ル。一人二本ノ処，一人出張中デ二本アマリ，自分ト家入君トガ□年長者ト云フ訳デ一本ツツクレル。

▼十五夜ノ明ルイ月ニサラサ□ラト雨が降り，
寒イヤウナ向ヒノ塗丹屋根□ノ白イ□光ニ
若イ椰子ノ木ノ影絵ガクッキリト動カナイ，
アチコチデ，何種類カノ蟲ガ鳴キシキリ，
家入サンヲ呼ンデ来テ，アツイ紅茶ニヴァニラヲオトス

十日 火 快晴，風涼シ，夜九時頃暫ク雨アリ，後又月明ルシ。

昼前，物陳ニ小楠氏訪ネテクル。

午後三時半頃ニナッテ，久保田君，島民ノ女達ガコレカラ来ルト云ッテ知ラセテクル。スグ□放送局ヘ行ッテ待ツト，間モナク支庁ノ梶島君ト Eraharor ガツイテ，若イ女達が七八人□ト中年ノ女ガ七八人来ル。若イ者達 Helita'kl ヲウタヒ，中年者ハ Heso'kl ヲウタフ。

カヘリ若イ者達六人一緒ニナッテ居タノデ，南貿ニツレテ行ク。

ビールヲ買ヒニ太洋商店ニ行ッたら，番頭ノ曰クガ，

「宅ハキリン^(門)専門デゴザイマスカラ，キリンノ壘ト□王冠ヲ数ダケオ持ち下サイ。エゲツナイデスガ，ソレデナイトオ別ケ出来マ□センデ」

所デ家入君ガ野地カラ、キリン ビールヲ三本サゲテ帰ッテ来ル。テ晩ハ家入君トビールヲ飲ンデ長イコト話シテ、紅茶ヲ入レテ消燈マデノ時間ガ消エテシマフ。

〔欄外に記す〕
〔窓〕

朝、モウスッカリ明ルクナツタ窓ノ外ニ、軽イ雲ガ茜色ニ色ヅイテ居ル。ソノ斜メ下ニ昨夜ノ満月ガ、光ハナクテ、絵具デカイタヤウニ、ポッカリトマンマルク、朝ノ稍色濃イ木ノ葉ノ茂リノ上ニ、□アサギ色ノ空ノ中ニ浮イテ居ルト云フヨリ、澄ミキッタ水ノ底ニデモ沈ンデ居ルト云フ感ジデアル。□□□□□□□□□□□□□□□□朝ノ爽ヤカナ空気が、風モナイノニ スーッと身ニシミ、目ニ見エルヨウ。毎朝オキテ顔ヲ洗ヒニ出ルト、此ノ窓カラ西ノ景色ニ挨拶サレルノダガ、朝毎ノコノ全ジナガメノ、何ト一日モ全ジ挨拶トテハナクテ、朝毎ニ他人ノヤウナ、一々ノ感情ト感覚トヲ受取ルコトダラウ。空ニハ雲ガアツタリナカッタリスルガ、其ノ□^後他ノカキワリニ少シデモ変ルハツガナイ。ソレモ此ノ節ノヤウナ無風季デハ、僅カナ風ガアツタ所デ、コノ道具建テヲユリ動ス程ノ朝ニハアツタコトガナイ。真正面ニ部長官舎ノ庭ノ扇芭蕉ノ大キナ葉ノヒログリガ二本ト、其ノ間ニスコシ左ヨリニ、ホンノ少シバカリ高イ椰子ノ木ガ一本。コレラハ葉ノアタリダケが見エ□ルノデ、下ノ方ハコンモリト茂ツタ雑木デ切りカクサレテ居ル。ソレカラ左手ノ方ニハクラブノ大キナ屋根ガ横タワリ、ソノ向フトコッチニ全ジヤウナ高サノ、ソシテ少シモ曲リノナイ真直グナ椰子ノ木ガ五六本。ソノウチクラブノ屋根ノ切レタ右ノ、中央ノ一本ダケハ、外ノ青々シタ椰子トチガッテ一本ダケ、ドノ葉モ殆ド真黄色ト云ツテヨイ程ニ黄色イガ、ソレデ居テ枯レルヨウ□ニモナク、ヨク茂ッテ居ル。朝毎ノコノ黄色イヤシハ、目ノサメル明ルサデ、特ニ印象的ダ。窓ノスグ前ニハバナナノ葉ガカサナリアヒ、パパイヤノ木ガ二三本、思ヒキリ手ヲヒロゲタヤウニ突立ッテ居ル。ソシテ、ソコカラ向フ側マデノ間ハ谷ニナツテ居リ、谷ノ下カラ陸(ヲカ)ノ雑木トマンダロップトガ入り乱レテ、小サイジヤングルヲナシテ居リ、見ナレタ、ドコニデモアル マンダロップノ葉ノ間ニ、ヲカノ□カブツイノ木ガ重ナリ合ッテ、花ノヤウナ白イ新芽デソレト知レルノデアル。ソシテバナナノ葉ノ下ニハタピオカ芋ノ木ガ、雑木ノヤウニ是ラノ雑木ノ間カラ、高々ト伸ビテ頭ヲ出シテ居ル。月ノ夜ノコノ窓カラノ景色ノスグ□ミヲオビタ陰影、夕暮レノ、過ギテ行ツタスコール雲ノ黒紫ノ、ゴーガンノ絵ノ陰鬱ナ神秘、真昼ノ□ソヨトモ風ノナイ、明ルイケダルサノ中ニ立チ上ル植物ノイキレノ、ホントニ明ルイ物悲シサ、マダマダ、朝照ノ夕照ノアラユル変化、雨ノ朝ノシットリシタ倦怠、— 私ニ朝毎ノ、昼毎ノ、夕ベノ夜ノ、マッチ箱ノ連結ノヤウナ、幼稚園ノ昼休ミノヤウナ、他ニハ何一ツ感情ノ感覚ノ抑揚モナイ、コノ合宿ノ生活ニ、タッターツノ慰メ、心ヲコメテ用意サレタ、ソノ一ツ一ツヲ深く味フコトノ出来ルヨウナ、□無言ノ挨拶ヲ投ゲ込ム此ノ窓。

十一日 水 夜明半^(前)、四時半カラザンザト降ッテ雨が朝ト一緒ニヤミ、ダンダン晴レテ、昼ニハスバラシイ、サッパリシタ暑サニナル。

朝、物陳ニ高松君ガ来、昼前ニ矢島組ノ矢島氏外二人ガ来ル。午後ハ久保田君ガ来テ四時迄、キリンビールハ中島ガハコンデクレル。

十二日 木 ヨイ天気ダッタノガ、——併シ風ハ少シモナクテ稍重々シカッタガ、ソレガ昼ニナルト雨ニナリ、ソレモ一面ノ雲デハナイノデ、明ルイナリニ雨が降ッテ、風ガナイカラ、ソノ僅カナ雲ガイツマデモドカナイ。一時間半モシテソレガ止ムト、今度ハ前ニモマシテ、日ガキラギラト照リ、空気ハソトモ動カナイデ、ムシムシト苦シイヤウナ暑サガ来ル。夜ハ又パラパラト雨。

昼前、海軍ノ先任伍長ガ来テ、昼迄話シコンデユキ、午後ハ航空隊ノ特曹ガ来テ四時迄話シコンデ行き、ソシテ私ハ雨ノアトノ蒸暑サカラ、背中ガ痛ンデ氣持ガ悪クナル。帰ッテ暫クハヒドク苦シカッタガ、ヤット暫クウトウトシタ後ニ軽クナリ、夜一寸街マデ出ルト、又雨ニヌレ、又^痛背腹痛ンデ、書物スル氣モナク、九時ニ床ニ就イタガ、十時半カ十一時、燈ガ消エテカラ苦シクテ目ガサメ、十二時過ギマデ転々トシテ苦シム。葉ヲノンデー寸スルト急ニ樂ニナッテ、ソノママ寝ル。

十三日 金 朝カラドンヨリシテ居タノガ、ドウニカ^持保ッテ居タガ、午後三時ニナッテ遂ニ雨ニナリ、夜ハ風ガ出テ雨モ盛ニナル。

朝カラ背中重ク、山本ニ揉ンデモラフ。昼カヘラズ、三時前ニ帰ッテ来テ暫ク横ニナル。夜、幾分氣分ヨク、消燈マデ仕事ガ出来ル。

朝ノウチ友田君来タガ、分任物品会計官吏トシテ、ハジメカラ足りナイヨウナ品物ヲ、財務ガ後仕末ヲ保証シナイカギリハ受取レナイト云フカラ、コチラトシテハ、ドチラガ仕末ヲシテクレルニシテモ、確カナモノヲ受取りサヘスレバヨイノダカラ、財務ト相談シテ貰フコトニシテ、帰ッテ行ッタガ、早速財務ニ行ツキ、案ノ条、鈴木君ニブツカッタラシクテ、電話デ阿久^持津君ヲ呼び出シテクル。阿久津君行ッタガ、榊^持田君ト三人デ、「妥協」ヲ忘レテガンバリ合ッテシマッテ、エライ議論デ結局話ハツカズジマヒダッタ由。アビニク財務モ商工モ課長ガ居ナイノダカラ、若イ者ガ、感情的ニナリ出シタラ一寸オサマリガツクマイ。

十四日 土 晴レタリ曇ッタリ。午後四時スッカリ雲ガ出、暫ク雨アリ、夜又雨降りミ降ラズミ。

朝、大和君、物陳ニ来テ十一時頃マデ話シテ行ク。其ノ間ニ伊藤支庁長モ来テ三十分話シテ行ク。午後、阿久津君遂ニ休ム。

四時過ギ帰ッテクルト背中重シ、一寸ヤスム。

夕方買物ニ出シモ何モナシ。夜、家入君トビール、後書物ススム、十時近クナッテ大平君来テ消燈迄話シテ行ク。

十五日 日曜日 ドンヨリ曇ッテ居タガ、昼前カラ雲ナクナリ好天トナル。
大掃除デ朝十時過ギマデカカル。掃除最中ニ高松君来ル。
午後ハサッパリシテ書物ガススム。四時、家入君ト蓮香サンノ所ニ風呂ヲ貰ヒニ行ク。
蓮香サンモ庭ニオリテ、パイヤヲ植エテ居タノデ、庭ニ椅子ヲ出シテ話シコミ、風呂ヲ貰ツタ上、夕食マデ馳走ニナッテ、九時半ニ帰ッテクル。

十六日 月 晴、日暮レテヨリ、パラパラ雨降ツタリ止ンダリ。
阿久津君、遂ニ休ム。
午後三時過ぎ、第二国民学校ニ行クツモリデバスヲ待ッタガ、ソノウチニ背中ガ痛ミ出シ、三十分モ待タサレル間ニマスマス痛クナリ、ヤットバスニ乗ルト遂ニ気持ガ悪クナル。パイニツイタ時ハ既ニ四時ニナッテシマッテ居タノデ、学校行キヲアキラメテ、街デ食事ヲシテ帰ッテクル。
夜ハOmūtilōuニ行ク筈ダッタガ、体ガダルイシ、雨ガポツポツ来タノデ止メテ、家デ書物ヲスル。

十七日 火 終日ドンヨリ曇ッテ風モナクテ、降りソウデ降りソウデ降ラナイ、
午後、背中ガ重カッタガ、帰ッテカラ夕方マデ一時間程ヤスンデ、夜Omūtilōuニ行ク。Kisaūlガ出テ来テ居タガ、ヂキニ子供達ヲツレテ活動ヲ見ニ行ッテシマフ。
Mariaト少シ歌ヲヤッテ——大変ナオ客サン達ダッタノデ、早く九時前ニ帰ッテクル。
(新聞社デ、宣伝部々会)

十八日 水 朝ニナッテヒドイ雨が来、後止ミシモ曇リシママ、
午後ヤヤ遅ク行キシガ、平野君ト今一人若イ人ガ、オ土産ヲモッテ来テ居テ、四時迄過ギテシマフ。
夜、家入君トビールヲ飲ンデ後、少シバカリ□書物。

十九日 木 晴、風アリテ涼シ、
朝ノウチ元気ナリシモ、昼地方課ニ行キ、杉浦氏ノ件ニツキウチアハセ、部長ノカヌニ直シ、午後三時近クナッテ物陳ニ行クト、背腹痛ミテ堪ヘザリシニ、温灸ノ宣伝ニ来タモノアリ、ヤッテ貰フ。一時間程シテヤヤオサマリ、五時半マデガンバル。今日ヨリ昼ト夕ト山内ノ食堂ニ行ク。
夜、Maria来テクレ、十時前マデベンキョウ。

二十日 金 朝二時間程雨アリ、後晴ル。

背中痛ミテ仕事ススマズ。

半期ノ臨時手当発令、

夜ハ家入君来——家入君ハ今日吉村君ニ無理ヤリニ引越シサセラレタ由——梶谷君来テ長イコト話シ、久保田君来テ、消燈マデツブシテシマフ。背腹ノ痛ム時間ト、人ニアフ時間トデ、仕事ノ時間ガナイ。

二十一日 土 朝カラ晴レテ居タガ、昨夜ハ大分降ツタラシイ。夜七時頃カラ雨、九時ニヤミ、十時ニハ又流シヤウナ雨。

九時過ギエモリサンガ陸軍ノ憲兵将校ヲツレテ来ル。入レカハッテ十時過ギ和田サンガ、Nghūs カラ今帰ッタト云ツテクル。午後三時頃カラ久保田君ガ来テ、内地ヘ予メ紹介スルパラオノ歌ヲウツシテ行ク。五時半、物陳ノカヘリニ和田サンノ所ニ行ク。今度来タ研究員ノ緒方サン（文理大）ト石川達三氏²⁹⁸ニ紹介サレル。後、和田サントパレスニ行キ、雨ニ降ラレ、十時前ニ帰ル。

二十二日 日曜日 朝カラ雨ガジョボジョボト降ツタリ止ンダリ、夜モマタ雨が降ル、朝、家入君ガ来、一緒ニ九時頃物陳ニ行キ、十時頃役所ニ行キ、昼マデ書キモノ。昼食後□放送局ノ内藤君ノ部屋デビール。三時ニ帰り、一時間程休ンデ水ヲアビルト、久保田君来ル。六時半ニナッテ二人デ食堂ニ行キ、七時半頃公会堂ニ音楽会ヲキキニユク。大変ナ人出デアリ、ツマラナクテ暑イ、九時前ニ久保田君トパレスニ行ク。

午後カラハ只々ノドノトシテ、日曜日カナト云フ様ナ何ニモシナイ半日。

ドイツ、対ソ聯宣戦。

二十三日 月 梅雨ノヤウナ、降ルトモ止ムトモナイヤウナ、

午後二時半頃和田サンガ来ル。石川氏兄弟ト一緒ニカヤンガル、本島ヘ旅行スル由デ、コンレイニー泊シタイカラ手紙ヲ書イテ貰ヒタイト。

三時半役所ニマハル。杉浦君、ポナベ、ヤルート調査依頼ノ件ニツキ、高里氏ヘ費用ノ注意。

夜ハマリヤガ来ル筈ノ所、来ナイ。

二十四日 火 朝三十分ヒドイ雨降りシモ後ヨク晴ル。午後一時頃ヨリ又雨ニナリ、後ハ氣違ヒノ様ニ何回トナク西風ニ吹カレテハ雨が降ッテハヤム、

暗クテジメジメシテ不愉快ナ日。昼前常吉サンガ貯金局長トカノ一行ヲ連レテ来ル。

午後、熱生ノ加藤サンカラ電話デ、明日石川達三サン達ト一緒ニ、武官ノ招待ヲ受ケタ由。

夜、和田サン来ル。orsahar ト手紙ヲトリニ。

二十五日 水 氣違ヒノ様ナ、ヒドイ風ト一緒ニ馬鹿ノヤウナ雨が降ッテハ止ム。
夕方カラ緒方武官ノ所ニ行ク。条原中佐ト、島田少佐、某中尉、ソシテ、田山氏、石川氏、加藤氏、消燈過ギマデ。

二十六日 木 朝迄馬鹿雨が降ッタガ、後天氣ヨクナリ東風涼シク吹ク、
昨日午後、天城入港、

受信 陣内治男、三沢露子、柴山昌道、土方愛子（二通）、日本民族会、
「野鳥」雑誌、「民族学研究」雑誌、

二十七日 金 晴、
陳列ケース五台来ル、正面大ガラス、二枚コワレテ来ル。
午後四時、熱生ノ緒方サン来ル。鳥ダケ見テユク。
帰り野元サンノ所ニヨリ入浴、夕食後八時半ニカヘル。

発信 湊菊之助（若人ヲ待ツ歌返事）、三沢露子、柴山昌道、古野清人
古野清人（5 民族学研究会費）

二十八日 土 晴、風アレド□□ムシムシト暑クテ、頭ノ重イ日、夜遅ク雨アリ、
午後、物陳ニ高松君ガ来ル、本箱ガ出来タ由。
午後三時半ノ渡船デアラカベサンニ行ク、船デ清サント一緒ニナル。清サンハ又五時ノ渡船デ、隣保班指導員ノ講習ニ出テ行ク。十時頃帰ッテ来、二人デ十二時過ギマデ話シテ居ル。

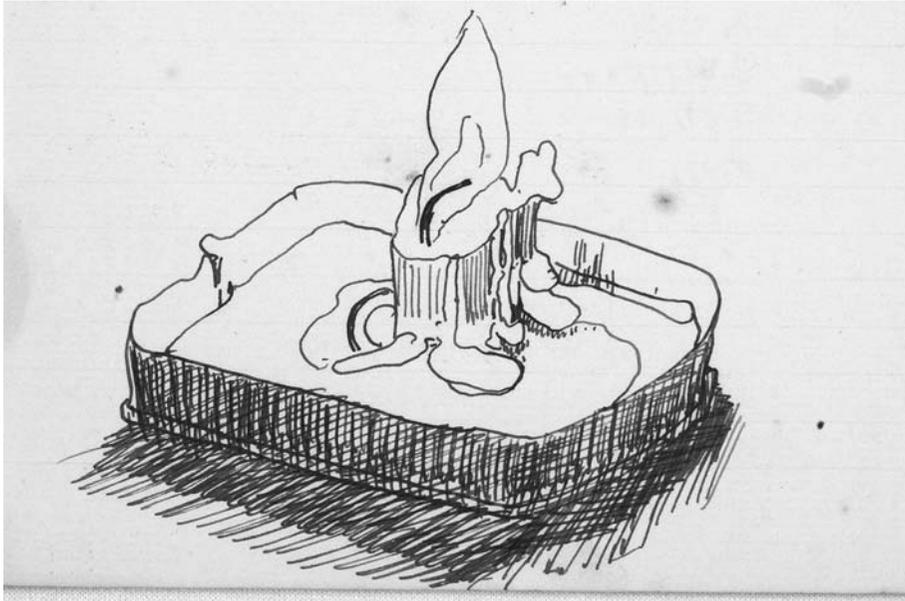
二十九日 日曜日 終日曇、午後三時頃ヨリ日照リシモ五時ニハ又雲出ヅ、夜九時過ギテ雨。

一時半ノ船デ帰ッテクル。ト二時半過ギ田沼君ガ暇乞ヒニ来ル。

発信 徳村政雄

徳村政雄（5、香奠）

田沼千枝（5、饞別）



三十日 月 晴，夕方雨アリ，夜モポチポチ，遅クナッテ大地モ流レル様ナ雨，
夜，Maria 来ル。

Maria ガカヘッタ後，私ノ苧ノ箱ニイタヅラ書キガ残ッテ居ル。何処デオボエタカ，
よはき者よ，汝の名は女なり
されどつよき者よ，汝の名は母なり
ト。ソレカラ，
なげくなマリヤよ
汝の名は女なり
されどつよく生きよ
運命にまげずに
ト。ソシテ，
悲しむなメリー
なくなロリー
ダッテ。

〔1頁白紙〕

七月

一日 火 夜明前、四時半頃カラ豪然タル雨降り流シシモ、七時頃ニハドウニカヤム、終日暗ク寒ク、午後モ少シ雨アリ、夕方□ヨリ又雨ニナリシモ八時頃ニハ止ム。

興亜奉公日デ、始政紀念日ダガ、ダイナシダ。ソレデモ小学校デ運動会ハヤッテイタヨウダガ。

午後、久保田君来テ夕方迄居ル。夜 Maria が来テクレル。古イ所ハチットモヤッテ来テクレナイノデ、新ラシイモノバカリヤル。

二日 水 朝、土モホゲルヤウナヒドイ雨ダッタガダンダン止ム、終日ドンヨリ曇ッテ寒ク一二回雨、夜八時過ぎ又ヒドイ雨。

毎日鬱陶シイイヤナ日ガ続キ、私ハ背中ヤオ腹ガ痛クテ仕事ガハカドラナイバカリカ、苦シクテ仕方ガナイ。ドウシテモ一ペン内地ニカヘッテ来ヤウト思フ。

三日 木 晴、冷ヤ冷ヤスルヤウナ日、午後暖カクナル。

ダケド人ニ云ハセレバ、朝ハホントニ爽ヤカニ涼シカッタガ、午後ハ暑クナツト云フノカモ知レナイ。トモカク朝ガ私ニトテモ寒ク、背中オ腹ガシンシント痛ク、物陳ニ出カケルト直グニ温灸ヲヤッテモラッタノニモ拘ラズ、ソノママ寒クテ背中ガ痛クテ堪エラレナクッタ。山口君ガ来タガ、一時間バカリデ帰ッテ行ク。午後休マシテ貰ッタガ、午後ハ大分暖カクナッテ、苦シクナクナル。食堂ノカヘリ、久保田君、山口君、一緒ニ来、山口君ハ一時頃ニナッテ出カケタガ、久保田君ハ寝テシマフ。私モ暫ク寝ル。ソレデ大分体が軽クナル。

夜、和田サンガ Hettillimad ノ巢ノ雛ノ フォルマリン 詰ケトヲモッテ来テクレ、Maria が来、久保田君ガ来、十時過ぎテ皆一緒ニカヘル。

四日 金 爽ヤカニ晴レテ居タノガ、午後厚イ雲ガ出テ、三時過ぎニハヒドイ雨トナル。夕方ヤミシモ、夜又少シ雨アリ。

受信 野口正章、小包「パラオ島民部落組織」校正

昼、食堂カラ出テ山口君ト歩キ出スト、内田齒医者ガ、土方サン、ト云ッテ出テ来タ。内田齒医者ハ自分ハ知ラナイ。マダ顔ヲ見タ□コトモナイシ、勿論挨拶ヲシタコトモ話ヲシタコトモナイノデアルガ、ドウシテ向フデハ知ッテ居ルノカシラ。シカシ確カニ、土方サント自分ニヨビカケテ、前カラ知ッテデモ居ルヤウニ、別段自己紹介モシナイノデ、コチラデモ改マッテ自分ヲ紹介モシナクッタガ、イキ□ナリ、アナタニ上ゲタイヨイ本ガアルノデス、一寸オアガリ下サイ、山口サンモドウゾ一寸オアガリ下サイト云フ。山口君ハ音楽会ノ会員トシテ内田齒医者ト知り合ッテ居ルコトヲ、後ニナッテ知ツタノ

ダガ。

処デ、私ニイ本ヲ呉レルト云フ人ハ、島民語ノ字引トカ、土俗ニ関スル刷物トカ、何かカニカ、未開ナモノニ関スルモノ、デナケレバ、ヨイ写真版ノ入ッタ美術雑誌カ何か位ナモノナノデ、此ノ見知ラス人カラ招カレテ、後ニツイテトント二階ヘノ階段ヲ上リナガラ、ドンナモノヲ此ノ人が手ニ入レタノカト期待シタノダガ、コレデスト云ッテ手ニトラレタノハ、二冊ノ新ラシイ本ダツタ。

内田菌医者ハ遂ニ挨拶ラシイ挨拶ハシナイデ、「聖書ヲ日本ノ歴史デ解釈シタスバラシイ本デス」ト云ッテ、バラバラトヒライテ、二三ノ口絵ヲ指サシタ。御存知ナイカモ知レマセンガ酒井勝軍サンノ研究デス、コレガ日蝕デス、ソシテコノ太陽、日本ト猶太トガ合体シテ、我々日猶協会ノ徽章ガ出来タノデス。エジプトノスフィンクスデス、スフィンクスハ御存ジノヤウニ真東ヲ向イテ居マス、ソシテソレハ高千穂ノ峰ヲ真直グニミツメテ居ルコトガワカッタノデス」。ナルホド、ソノスフィンクスノ写真ノ上ニハ、高千穂ノ山上ノ古メカシイ聖劍ノ写真ガ出テキル。

ソレカラ、コレガエルサレムノ城ノメシヤ章デ、十六ノ菊ノ紋デス。コレハピラミッドデスガ、ピラミッドトハ日本語ナノデ、^{ピラミットノ}ピラミットノナノデス。読ンデクダサイ、日本ノ、日本人ノ偉大サガ充チアフレテ居マス、世界ノ日本デス、堂本サンモ世界ノ本ダト云ハレマシタ。武官ノ所ニモ行ッテオ話シテ来マシタ。」ト云フ。「私ハズット以前ニ木村鷹太郎ト云フ人ノ日本ト、スメル、バビロン、ギリシャトヲ結ビツケタ本ヲ読ンダコトガアリマシタ、ソレカラ三島某氏が、ヤハリ、日本ヲモンクメルカラスメルヘト結ビツケタ本ヲ読ンダコトガアリマシタ」ト云ツタラ、「コレハモット根元的ナモノデス、ユダヤノ^{解イタ}説イタ世界ハ、ワレワレノ日本ダツタノデス、是非オ読ミ下サイ。」ト云フ。

「デハ読マセテ頂イテ、又次ノ方々ニマハシマショウ」ト云フト、「イヤ、コレハアナタニ差上ゲマス、アナタニオアヒシタラ差上ゲタイト思ッテ居タノデシタ。」ト云フ。ソレデ二冊ノ本ヲ貰ッテ札ヲ述ベテ出タガ、私ハ狐ニツママレタ様デ何トモワケガワカラナカッタ。一冊ハ「天孫民族ト神選民族」、一冊ハ「世界ノ新政権」ト云フ、共ニ二百頁程ノ本デアル。ダガ特ニ未知ノ私ニ、コノ様ナ神ガカリガススメラレル理由ハ、ドウシテモワカラナイ。堂本部長カ、緒方武官カラデモ私ノコトヲ何かキタニチガヒナイトハ思フガ、カト云ッテ堂本サンヤ緒方サンガコノ様ナコトニ私ヲ結ビツケル筈モ亦ナイノデアッテ、私ハ今日一日、狐ニツママレタママデ居ル次第デアル。

留守ノ間ニ高松君ガ、本箱ヲ届ケテオイテクレル。

五日 土 朝ガヒドク曇ッテ居タガ後晴レル。午後三時頃又暫ク小雨アリ。

午後、久保田、山口君ト女学校ニ、高木、某桜子ノ二女史ヲ訪ネシガ、モウヒケタ後

ダツタノデ、家ニ訪ネル。桜子女史ハコレカラ本庁ヘ会議ニ出ル処、高木女史ハ病氣アガリダツタノデ、上ラズ、庭カラ、二三十分話シテ後、ホテルニ行ッテオ茶ヲ飲ンデ居ルト雨が来タノデ、止ムノヲ待ッテ四時半頃帰ッテクル。

六日 日曜日 晴レタリ曇ッタリ、夜雨アリ。
一日家ニ居テ、何かカニカ チグチグ。
夕食後、中島文化協会ト、久保田ヒゲ、山口ガンノ道場ヲ訪問。後、中島君、久保田君トビールヲ飲ミマハッテ、消燈ヲ過ギル。

朝サイパン丸入港。

七日 月 晴、処ニヨリ朝雨アリ、
事変紀念日。
背中、腹オモシ。夜、Maria、久保田氏、

[受信] 羽根田弥太、後藤貞二、金子九平次⁽²⁾、武田範芳、中沢英子、忠久、田中慶太郎、雑誌「太平洋」七月号、「オール女性」七月号、「東宝舞踊隊アルバム」
「東亜論叢」第四輯、及抜刷三十部、文求堂、田中慶太郎氏ヨリ、[35]

八日 火 晴。風アリテ爽ヤカナリ。夜、一寸雨、月ヨシ。
朝カラ久々デ体が軽々ト快カッタガ、夜ニ入りテ又痛イ。夜、Maria 来テクル。

九日 水 晴、十六夜カ、月明ルシ、
夕方、久保田、山口君来ル。夕食後、商工課長ノ所ヲ訪ネシモ留守。家ニカヘルト間モナク、和田サンガ明日ノ船デ内地ヘカヘルノデ、オ別レニ来ル。一諸ニ街ヲ歩ク。稍背中痛シ。

[発信] 野口正章、田中慶太郎（文求堂）、武田範芳、金子九平次、後藤禎二、大和隆、□
蔦見（東宝）、竹下源之介、鈴木俊

[小包] 「原稿校正」文化協会宛

十日 木 晴、
地方課長、和田サン、石川達三氏ガ サイパン丸デ帰ルノデ、波止場マデ送ル。
夜、商工課長ノ所ニ行ク。
物品引ツギノ件、産業協会ノ島民土産ノ件、休暇ノ件。

物品ノ件ハ兩□部長、兩課長ト会談シテ妥協処理スルコト、島民土産品ノ件ハ産業協会トシテ、一応ノ整理ヲ促スコト。

十一日 金 晴、朝バラバラト雨アリ。南風稍強シ。

朝、南賀ニ行キ、九月十八日ノ山城丸ノ乗船申込ミニ行ツタガ、既ニ満員ノ由ニテ受付ケズ。

十二日 土 晴、

午後三時半ノ渡船デアラカベサンニ行ク。皆在宅、本日サン、野村君、ソレカラ水泳ノオ客サン達。

十三日 日曜日 晴、

朝十時半コロールニカヘル。

午後三時、物陳ニ出カケル。神戸高等商船ノ客六十余名来ル。帰り野元氏ノ所デ、風呂、夕食、小原氏来。九時半迄。

一昨々日ヨリ防空演習アリ。

十四日 月 晴、

防空演習、今日ヨリ本物ニテ朝カラ訓練警報、警戒警報、空襲警報ト矢ツギバヤニ来、飛行機ガブンブン飛ビマハル。

夜、Maria ガ□□□ Hohop ヲツレテ来ル。高松君ガ来ル。

十五日 火 晴、夜遅ク□雨ニナル、

終日、□防空演習テ盛ニ飛行機ガ飛ビ、各種投弾サレテ、各班ニ渡ッテ訓練サレル。夜ハ久保田君来テ、十時迄遊ンデ行ク。

十六日 水 夜明前嵐メイテ雨が降ッテ居タガ、朝ト一緒ニ止ミ、後晴レル。

朝、土木ノ横山君ガ来テクレル。標本箱ノ製図ヲタノム。

武官カラ電話デ、高等商船ノ生徒ガ来ルカラ十一時半ニ行クヤウニト。十一時半ニ行ク。生徒サンガ二人ト、アトカラ武官ガ气象台ノ女事務員ヲ三人ツレテ来ル。中食雑談。夜十時頃、久保田君オ茶ヲノミニ来ル。

十七日 木 晴、夕方暫ク小雨、

物陳へ、田山氏カラサイパン北島諸島ノ石器類ヲトドケテ来ル。

□タドン来ル。話ワカラズ、夜来ルヤウニシテ帰ス。

夜, Maria 来ル。スグ□ Tadong, 人形ヲモッテ来ル。遅ク久保田君来ル。

十八日 金 夜明ケ前カラ盛ニ雨ガ降ッテ居タガ, 朝ニナッテ止ム, ソノママ終日曇リ, 梅雨時ノヤウナ細カナ雨ガ降ッたり止ンダリスル。夜又雨ハゲシクナル。

朝, 航□空会社ノ中垣ト云フ人ガ物陳ニタヅネテクル。絵画同好会ヲ作ルコトニナッタノデ, 今晚南賢デ集ルカラ来テクレトノ事。今日ハ中島君〔文化協会〕ガ編輯書記ノ中島君〔敦〕ヲツレテクルコトニナッテ居ルノデ断ル。

夜, 中島君〔敦〕ハ来ズ。背中ノ軽痛ト^{ネムケ}□□□眠氣トガ来テ, 宵カラ トウトウ ウタタネシテシマフ。

十九日 土 真暗デ, 終日何回トナク, ウナル様ナ風ト共ニ, ハネカヘルヤウナ雨ガ降ル。

昼前一寸気温ガ上ッテ晴レカクタ時, 野村君カラ電話デアラカベサンニ行カウト云ッテクル。デ, 午後一時半ノ渡船デ行クコトニシタガ, 野村君ヲサソッテ家ヲ出ルト, ソレコソヒドイ雨風ニナリ, 丁度波止場ニ出ルマデ降ラレル。アラカベサンニ行ッテカラモ, 夜マデノベツニ降ッたりヤンダリ。宿ル。

二十日 日曜日 相変ラズヒドイ西風ニ乗ッテ, ヒドイ雨ガ吹キツケル。

十時半ノ渡船デ, 丁度鰐ヲ十頭バカリ殺シテ居タノデ, 鰐ノ肉ヲ貰ッテカヘリ, 野村君ノ所デ鰐デ昼食ト思ッテ居タラ, 今家内中デ朝昼兼食ヲ終ツタ所ダト云フノデ, 鰐ヲ少シダケ持ッテ食堂ニ行キ, テリヤキニシテモラッテ, 丁度中島君モ居タシ, 家入君モ来タノデ, 三人デ試食スル。肉飢餓ノ今, 非常ニ柔ラカクテウマイ□ melaok ダ。

ソレカラ, 家入君, 中島君モ一緒ニウチニ来, スグニ久保田君モ来テ, 夕方マデ, 皆デ寝ソベッテ紅茶ヲ入レタリ, 何ヤカヤシテ時間ヲツブシテシマフ。六時ニバラオ丸ガ入ルト云フノデ, 波止場マデ迎ヘニ行ク。ナカナカ上ッテ来ズ, 暗クナッテシマヒ, 七時ニナッテ丁度上ッテ来ル頃ニ, マタマタヒドイ雨風ニナッテ波止場ハエライ混雜ヲ呈シタガ, 間モナク雨ガ過ギタノデ, 杉浦君ト, 助手ノ学生サント, 皆デ田山氏ノ家ニ来ル。一休ミシテ, 杉浦君ト学生サンハ私ノ所ニ風呂ヲ浴ビニ来, ソレカラ, 十時過ギマデ話ガキレナイ。消燈前ニアワテテ二人ハ田山氏ノ所ニ引上ゲテユ□□ク。

朝, 近海丸^(江)モ入港。

受信 小倉綾子, 西尾善積,

西尾善積ヨリ, 個展目録ト絵葉書。天ヶ瀬六三郎ヨリ, 「南洋群島トラック諸島土民三〇四二名ノ ABO 式血液型調査研究」

二十一日 月 晴,

(欄外に記す)
[杉浦 泉井]

朝、杉浦君ト、篠崎君トヲ食堂ニ案内シ、後直グニ役所ニ行き、地方課ニ行ク。国実氏ト今日ノ打合ハセニツイテ相談シ、杉浦君ハ長官ト内務部長ニ会ッテ後、税務ノ中俣氏、国実氏等土地調査関係者十余名集ッテモラッテ、支庁ノ応接室ヲカリテ、十二時迄、杉浦君ノポナベニ関スル説明質問、十二時ニ泉井君タヅネテクル。三人デー緒ニ中食ニ行き、南賀ニ行ッテ休ミ、泉井君ガ島民ヲ世話シテクレト云フノデ、Omūtīlōūニ行きシガ、Maria居ズ、KimニTūlikアリ、Mariaニ言伝ヲタノンデ来ル。南賀ノ合宿ニ行ッタト云フノデ、帰りニ行ッテミルト居タノデ、当人ニモタノンデオキ、ブラブラ歩いて役所ニ行ク。泉井君ハ船ニカハリ、杉浦君ヲ商工課長ノ所ニツレテ行ッテ、ポナベ、ヤルートノ土俗品ノ蒐集ヲ依頼スル。

二時半頃、杉浦君ト家ニカヘッテクツロギ、オ茶ヲ入レ、風呂ヲアビテ、五時ニ食堂ニ行ク。暫ク待つ間、中島君ノ所デハナシ、食後六時二十分頃ニ武官府ニ行クト、火曜会ノ連中ガ既ニ集ッテ居リ、古幡氏ノ血夜型^(夜)ニ就イテノ話ガハジマッテ居タ。古幡氏ノガ終ッテカラ杉浦君ガハナシ、九時半散会。

二十二日 火 薄雲アリテ日強カラネト暑シ、南風、

朝、杉浦君ト役所ニ行ク。九時半頃、杉浦君ハ税務デ話シテ居タノデ、別レテ物陳ニ行ク。三十分バカリシテ杉浦君来ル。十一時二十分ノランチデ杉浦君行クノデ、波止場マデ送ル。

午後四時、中垣君来テ、「南洋画壇」ノ刷物ヲ持ッテ来テ、顧問ニ伊藤支庁長、山本新聞社長、高橋女学校長□ノ承認ヲ得タイノデ、交渉シテクレト云ッテクル。一緒ニ伊藤氏ノ所ニ行きシモ留守デ会ヘズ、高橋サンノ所ニ行ク。山本氏ノ所ハ明日電話スルコトニシ、中垣君ニ行ッテモラフコトトスル。

夜、Maria来テクレズ。

二十三日 水 晴、薄キ雲。南風。

先日来西風来テ天気悪カリシガ、風カハリテ天気ナホル。

朝、木下齒医者ニ行ク。ヒドクマタサレテ、物陳ニ行ッタノ八十時。

午後ハ一寸支庁長ノ所ニ行ッテ「南洋画壇」ノ顧問ニナッテモラヒ、物陳ニ行ッたら小楠サンガ来テ居テ、一時半余話ス。

熱生ノ加藤君カラ電話ダッタノデ、小楠サント一緒ニカハリ、熱生ニ行ク。羽根田君ハ古畑氏ニツイテ紀美水産ニ行ッタ由デ居ズ。

夜ハ中島文化ニ誘ハレテ、カナリヤ、ベンケイ、ギオン。

二十四日 木 晴,

十時カラ古畑教授ガ、公学校生徒ノ血液型ヲ調ベル為ニ、血ヲトリ、並ビニ指紋ヲトルト云フノデ行ッテミル。

午後、地方課カラ呼バレテ行ク。背腹痛ム。夜具合ヨシ、Maria 来ル。質問、気持ヨクススム。

二十五日 金 晴,

〔欄外に記す〕
〔榊原〕

午後、榊原サンガ物陳ニ訪ネテクル。二三日前帰ッテ来タ由、二十七・八日ニ又 Melekeok ニ行ク由。四時過ギマデ話シテ一緒ニカヘル。

夜、六時ヨリ、南洋ホテルニテ南洋画壇発開式、支庁長、ペリリョウニ行キテ留守、山本サン、高橋サン、部落常会ガオソクナッテ欠席、内務部長ダケデヤッテシマフ。丁度葦沢サンガ居テ、早速入会参加、色部サンオ客。

二十六日 土 晴,

パラオニハ珍ラシイ、内地ノ真夏ニアル、アノケダルイ、快ク暑い日、

ケダルイ、意志ト云フモノガ全ク動カナイ、シカシ感覚的ナココロヨサデ、物陳ノ窓カラ外ヲボンヤリナガメテ居ル。向フノ大キナマンゴウノ木ノ並木ニギラギラト光ガ降り、前ノ広^地場ノ緒土ガピリピリトヒワレテ、ソコニドンナ乾キニモヘタバラナイ、ホカニハナンノ取りエモナイ草々ガ、ガサガサナ葉ヲツツツト伸ビテ居ル。広場ノ真中ニ近頃兵隊サンノツケタトラック道ガ一本、真直グニ横ニ通り、ソコニ敷カレタ真白ナ砂ガチカチカト照り返ッテ□キャナルノヤウニ流レテ居ル。タッター一匹ノ小サイ黄色イ蝶ガヒラヒラトヒラヒラトヒトツトコロヲ飛ビツツケ、私ハ海岸町ノ真夏ノ縁側ノ籐ノ寝椅子ニ、モノウク寝ソベッテ遠イ海ノニブイ浪音ヲキキナガラ、青イ空ノ白イ雲ノ夢ヲミテ居タイモノダ。

三時半ノ渡船デアラカベサンニ行ク。皆デ早ク夕食ヲスマセテ、「十バリキ」デ目カネ岩ノコッチニ釣りニ行ク。九時迄皆デ七十程釣りアゲテ、十時頃帰ツタガ、私ノハクヒガ悪ク、空ガドンヨリト曇ッテ来、帰りノ船デハビッチヨリト汐ノシブキヲカブッテ、背中ガキリキリト痛ミ出ス。

二十七日 日曜日 夜明前、^{〔ママ〕}盛り吹キ降ツタガ、朝ト一緒ニ止ム。終日ヒヨヒヨト寒ク曇リ、パラパラト小サナ雨がオチ、

ソシテ私ハ背中ガオ腹ガ痛ク、三時半ノ渡船デ帰ッテクル。夜ハ村山ガ来テ消燈マデ話シテ行ク。

二十八日 月 朝ニナツテカラ、カラット晴レテ午前中涼シイ風ガ吹イタガ、午後二時頃ニ忽チ曇ッテ雨ニナリ、夕方モ雨アリ、夜モ亦雨アリ、

背中胸重苦シ、

昼ノ号外、英国、日本トノ一切条約破棄、

午後三時半ヨリ、翼賛会ノ宣伝部会。

夜、Maria 来テクレル。

二十九日 火 朝雨アリテ後曇、

風邪カ、頭痛シ。

午後一時ヨリ例年ノ如ク、警察練習所ニ科外講義^{〔課〕}二時間。

後、熱帯生物ニ行ク。

畑井先生²⁹⁹⁾モ、古畑先生モ、羽根田君モ病気デ、グズグズシテ居ル由。

丁度玳瑁ヲ殺シテ、肉ガアッタノデ、貰ッテ来テ食堂デ煮テモラヒ、中島君、土木ノ田中君ト、ビールヲ飲ム。

夜、Maria 来テクレル。

三十日 水 曇、雨二三度、

家人君トビール。家デ。

三十一日 木 終日ヨクモ降り、風フク。昨夜カラ雷電ヲトモナフ。

夕方、熱帯生物ニ行キ、人魚ノ肉ヲモラヒ、宿舎ニ羽根田氏ヲタツネ、人魚ノ肉ノライスカレーヲ御馳走ニナリ、羽根田君ヲ家ニ伴ッテクル。Maria 来ズ。

〔1頁白紙〕

八月

一日 金 興亞奉公日 朝、夜明前カラヒドイ雨風ダツタガ後止ム、但シドンヨリ□曇ッテ気温低シ、時々雨、午後二時頃ヨリ、グット気温高ク、雨ナシ、

午後三時頃、南拓社長一行ガ物陳見物ニ出ル。後、商工課ノ常会。

夕方六時ヨリ合宿常会。

八時近クナツテ Maria 来ル。

二日 土 キチガヒノ様ナ天気、曇ツタ空カラ、何度トナク荒レ狂フ風トタタキツケル様ナ雨。

壮年部ガイヨイヨ訓練サレルコトトナリ、今日ガ最初ノ訓練日ダツタノヲ、天候悪ク中止トナツタノデ、家入、山口、中島君ト皆デー時半ノ渡船デアラカベサンニ行ク。途デ高崎サンモ一行ニ加ハル。皆ハ鰐ヲ見テ、三時半ノ渡船デ帰ル。

三日 日曜日 キ□チガヒ天気、

十時半ノ船デコロールニ帰ツテクル。

夕食後、病院ニ久保田君ヲ見舞ヒニ行ク。八時頃久保田君、紅茶ヲノミタイト云ツテツイテ来ル。

午後、泰安丸入ル筈ダツタガ、ノビテ明朝トノコト。

四日 月 キチガヒ天気、夜ニナツテ月出デシモマダ風ヤマズ、イツ雨ニナルカ知レズ、

朝、□泰安丸入港、午前中、牧野君、栗山君ノ家ノコトデ来ル。

午後、部長ノ絵ヲトリニ役所ニ行ク。家入君一緒ニ物陳へ来ル。

夜、南洋ホテルへ。朝、藤井院長カラ電話テ頼マレテ居タノデ——色部サン、日本真珠ノ兎玉サン、南拓社長、東宝ノ二人、日乃丸醸造ノ木村氏、東邦工業ノ鈴木氏其他デ九時半マデ話シ。

受信 湊菊之助、日本民族学会

五日 火 雨ハ少クナリシモ、日モ時々照リシモ、キチガヒ風ヤマズ、

朝、タドン来ル。午後、昨晚ノ東宝ノ人、東邦ノ人達、物陳ニ来ル。ソレカラモ一人横浜デ兄ト全ジ事務所ニ居タト云フ人来ル。パラオニ来ルト□翌日ペリリュウニヤラレシ由、ペリリュウハ食料マデ切レテ困ツテ来タ由。山君ト熟生ニ行キ、□玳瑁ノ肉ヲ貰ツテ来ル。

夜稍オソク Maria、友達ヲ一人ツレテ来ル。

発信 中沢英子 (250)、西尾善積、

六日 水 大分オチツイテ来タガ、マダ終日ドンヨリシテ雨モ二三回アリ、夜月朧ナレド明ルシ、

朝、栗山君物陳ニ挨拶ニ来ル。

夕方、家入君来、高崎サンガ蒸菓子ヲモツテ来ル。

夜、Maria 来ル。

七日 木 ヤット、ドウヤラ天気ニナル、マダ雲多ク、夜ノ月ハオボロデアル。
夜、燈火管制ノ練習デ暗イノデ、Maria ノ所ニ行ッテ断ッテ来ル。山口、中島君ト鶴
ノ家。佐伯清サン、^(高)陸男サンノ一行ト逢フ。幸樂、日本。

八日 金 曇、午後ト夜ト雨アリ、
役所ノ歴代長官ノ肖像画ノウチ、横田長官ノ勲章ガチガッテ居ルノデ直シテクレト頼
マレテ居タノデ、四時ニ行ッテナホシテクル。
夜ヒドク背中痛ミ、早クネル。

九日 土 曇ツタリ薄日シタリ、風ヤマズ、午後小雨アリ、
モウ、飛行機ガ毎日延ビニ、明日出ル、明後日出ルデ、長イコト出ナイテ居ル。今日
モ亦飛ベズ、明日ト云フ。
午後一時半ヨリ、壮年部訓練ハジメ、
午後ヨリ晩ニ背中ヒドク痛ム。
夜、Maria、Hohop ラツレテ来ル。
夕方ハ栗山君ト家入君ト来ル。
昼前物陳ニ久保田君来ル。久保田君、今日ヤット退院シタ由。

十日 日曜日 曇、昼前一雨、午後ヒドイ雨アリ、ノベッタラナ南西風、
朝、高松君、教会ノカヘリニオ茶ヲノミニ来ル。
昼、食堂デ山口、中島君ト一緒ニナリ南賀ニ行ク。
夜、水彩ヲ出シテ絵ヲカイテミル。昨日カラ電球ガ大キクナッタノダ。今マデ十ワッ
トダッタノガ、四十ワットニナッタノダ。

十一日 月 久々ニ晴レル。
昼前、古畑教授、羽根田君等、物陳ニ来ル。午後島民ノ居ル所ヲ案内シテクレト云フ
ノデ、一時半ニ熟生ノ宿舎ニ行ク。加藤君、榎並君モ一緒ニ病院ノ自動車デアラカマ
エ³⁰⁰⁾ニ行ク。加藤君ハ女学校デ講義ヲスルノデ、女学校ニオクリ、一行ハアラカマエ
ニ行ク。アヨボホハ居ナイデ、家ニハ病人ガアッテ人が集ッテ居リ、他ノ家々ニモ人が
少イ。Uheliyōu ノ所モ人が居ズ、女学校ノ裏ニ出テ、女学校ニ行クト、加藤君ノ講義
ガ丁度終ッテシマフ。三十分程高□橋サンノ所デ話シ、歩イテイブクル³⁰¹⁾ニ出、Uldūlaol
爺サンノ所ニ寄り、Dūlūi ノ舟庫ニ行キ、Bai ニ行キ、本願寺通りニ出テ帰ッテクル。
夜ハ家入君、中島君来テ遊ンデ行ク。其ノ間ニ Maria 来テクレル。

十二日 火 晴,

朝十時頃, アラカベサンノオ客ガ来ル。

ソレカラ十一時頃ニナッテ, 一昨年六月, 三味堂デノ, 又, 文化協会デノ展覧会ニア
ラハレタ阿部美佐子ト云フ人ガ, 前田トカ云フ人ト結婚シタノダト云フテ, 此ノ^{シヨホ}□□□
ジヨホール丸デ昨日来タトカデ, 夫婦シテ訪ネテクル。ジャブニ行ク筈ノ所, 夫人ノ入
国金ノコトデ, 何トモウマク行カズ, パラオニ暫ク滞在スル心算トカ。十二時ニ帰ッテ
行ク。^{タ方}□□木下氏ノ所デ晩ニ, 南洋画壇ノ展覧会ノコトデ集リガアルト, 中垣氏カラ電
話ダツタガ, 夜ハマリヤノ日ナノデ, 夕方行ッテ断ッテクル。四時頃帰ラウトシテ居ル
所へ, 藤井院長ガ訪ネテ来ラレ暫クハナシテ一緒ニ帰ッテクルト, 栗山君ガ来テ居ル。

十三日 水 晴,

午後三時頃, 家入君, マラカルノ帰り物陳ニ来ル。一緒ニ帰り, 風呂ヲアビテ食マ
デゴロゴロシ, 一緒ニ食堂ニ行キ, 一緒ニヤキ鳥^[ママ]ニ行ニ, 一緒ニ栗山ノ新居ヲ訪ネル。
奥サン病氣。

九時ニカヘッテ, 二時間程写シモノ。

突然, 明後日カラ, 本月中防空演習ノ由。

十四日 木 晴,

夜, 南洋画壇ノ観賞会, 「トキワ」ニテ。

十五, 十六ノ両日, 南貿ニテ展覧会ノ所, 防空演習ガ早くナッテ明日カラトナツタノ
デ, 展覧会ヲ延期セシナリ。

葦沢氏, 竹中氏, 中垣氏, 浅野氏, 海田氏, 田村氏, 木下氏, 林氏, アトカラ堂本部
長, 本目氏。

十五日 金 晴, 稍雲被ヘリ,

昼前, 広瀬君ガジャブ在住ノ佐藤鶴松氏一行六人ヲツレテ来ル。

午後ヨリ防空演習ニ入ル。今月イッパイ続クナリ。

十六日 土 晴, 夜遅クヒトシキリ雨アリ,

午後三時半ノ渡船デアラカベサンニ行ク。清サン達新築ニ移リ居リ。

十七日 日曜日 明方一雨, 晴,

井上サン, ゲンチャン, 今日ノパラオデ帰ル。

三時半ノ船ニオクレ, 歩イテ帰ッテクル。丁度一時間カカル。夜稍背中イタム。真暗
デモアリ, 九時ニハ寝テシマフ。

ジョホール丸、又々出港延期。

十八日 月 晴、夜二時間程雨。

昼前、南拓カラ紹介アリ、東大教授渡辺信一氏、物陳ニ見エル。

午後、物陳ノ不足品ニ就イテ、商工課ニ集リ協議。

夜、中島君（敦）来ル。Maria 来ル。

十九日 火 晴、午後三時頃ト夜八時頃ト雨、

朝早クカラ渡辺教授来ラレ、昼前ニ帰ッテユク。

午後三時頃、久保田君来ル。

夜、Maria、暗クテ目が勞レルガ、何モミナイヨリハドレホドカ気持ガイイ。

二十日 水 晴、午前小雨アリ、

昼前、羽根田氏、オミヤゲヲ持ッテ来ル。

夕方、羽根田氏カラタノマレタ島民料理ノコトデ Maria ヲ訪ネシモ居ズ。

街ハ防空演習ニテ勇マシ、兵隊ノ非常呼集。

二十一日 木 快晴、日強クテ風爽カナリ、

物陳ニ朝カラ渡辺教授来、昼前マデ。

午後、羽根田氏カラ電話ガアッタノデ、熱帯生物ノ宿舍ニ行ク。羽根田氏ト古畑教授ノ息トデ街ニ出、Tehemüdingニ行ッテ室内ノ明暗度ヲハカリ、毒ノアル動物名、病名ヲキク。Kimニ行キ、Baiニ行ッテ五時半頃帰ッテクル。

夜、Maria 来ル。阿久津サン来テクレル。

二十二日 金 曇、ヒヤヒヤト寒シ、午後漸次晴ル。

朝カラ渡辺氏来ル。

午後三時過ギ一寸地方課ニ行キ、後、野元氏ノ所へ行キ、食前ノビールヲ一本馳走ニナル。一本ノビールガ今如何ニ尊キカデアル。モウ街ニハカフェニモ料理屋ニモ一本ノビールモナイノデアル。

夕食後、島民会ノコトヲ確メル為ニマリヤノ所ニ行クツモリテ行クト、小島ノ向フデマリヤニアフ。ソレカラ、文化協会ノ連中、栗山、中島、牧野君等ガ、今日ノサイパン丸デ来ル筈ノ、南洋学寮ノ連中ガ来ナカッタカデ、方々手配シタ所ヲ手分ケシテ断リ詫ビテマハッタトカデ腐リキッタ所ニ出逢ヒ、焼鳥屋カラ都、オデン、日本、パレストマハッテ十時半頃帰ル。

二十三日 土 曇，後雨降ツタリ止ンダリ。

二十四日 □日曜日 雨，午後漸次ヨク，夕方晴ル。

久保田君が一昨日カラ帰ラナイノデ，昨日局長ガ引^受□取りニ行ツタノニ，ダメダツタトノ事ダツタノデ，夕方内藤君ニ話シ，山口君ニハナシテオイタ処，山口君ガ夜，局長ノ所ニ行キ，一緒ニ松本課長ヲタツネ，司法主任ノ所ヲ尋ネタガ留守ダツタソウデ，ダメダツタトカ。ソレデ朝，山口君ト局長ニ電話シテ支庁前デ待チアハセテ，松本課長ヲ訪ネ，久保田君ヲ受取ツテクル。

夕食ヲ古畑教授カラ招カレテ居タノデ，加藤君，榎並君ト南洋ホテルニ行ク。出席者，畑井教授，伴サン，橋本サン，寺島サン，阿戸田サン^(JJ)，尾形サン，羽根田サン，藤井院長，天野医員，達。カヘリ，伴サント熱帯生物ノ人達ト，湖南荘ニ行ツテ朝鮮踊ヲ見，日本ニ行ツテワカレル。

受信 中沢佑，西尾善積，太平洋協会，泉井久之助，和田清治，皿井長四郎，
「太平洋」八月号三冊，及 20.
新井正治「ミクロネシヤ人の頭骨及四肢骨」

二十五日 月 晴レテ暑イ，

朝ノウチ，渡辺教授。

午後，長崎院長，サイパンヨリ休暇帰国ノ途。

夜，Maria，高崎嬢。

発信 後藤禎二，赤松俊子，三沢寛（2通），小倉綾子，西尾善積，土方愛子，和田清治，太平洋協会，金子九平次，清野謙次

二十六日 火 晴，午後雨降り，□四時頃マデ，

朝ノウチ，渡辺教授。

午後，古畑教授，羽根田君帰ルノデ，波止場迄送りニ行ク。

夜，久保田君ノ心体病氣快復祝賀，久保田，山□口，中□島，内藤

二十七日 水 晴，暑，

物陳ニ野元氏来，一緒ニ熱帯生物ニ案内シ，昼迄話ヲキク。

夕方，野元氏ノ所ヲタツネル。

夜，伊部君，勉強ニ来ズ。

二十八日 木 午前中雨，午後止ミシモ，曇リシマ□マ。

午後，榊原サン，マルキヨクカラ出テ来タバカリトテ，ūdoūdノ絵ヲモツテ来ル。
夜，再ビ家ニ来ル。僅カナ仕事ノ件ニツイテ。

榊原□サン，帰ルト入チガヒニ Maria，□アトカラ久保田君。

二十九日 金

物陳へ，渡辺氏，ソレカラ高松君トタドン。

明日，渡辺氏トマルキヨクニ行クノデ，午後ハ持ツテ行クモノナド揃ヘル。伊部サンノ日ダツタノデ，早く来テ貰ツテ七時半頃ニ終ヘ，Homtiloūニ行ク。昼，病院ノ前デ Kisaūlニ逢ツタノデ，行クヤウニ云ツテアツタノダ。遇然^[興]□榎並君モ来テ——十時半頃帰ツテクル。

[1頁白紙]

九月

六日 土 晴レテ暑イ，

三十日ノ日ニ渡辺氏トマルキヨクニ入り，昨日清水村ニ入ツテ豊南産業ニ厄介ニナツタノダツタガ，今日ハ朝六時ニ清水丸ガ出ルト云フノデ，四時半過ギニハ起キテ仕度シタ。

昨夜ノママノ満月ガ，丁度反対側ニ来テ西ノ山ノ上ニ傾イテ居リ，風ナク，動クモノモナイ白明。三十分トタタナイウチニ，アッチデモコッチデモ，tūtaoガ盛ニ鳴キ出ス。清水丸ハ六時一寸過ギニハ出テ，礁内ヲトンコトンコ走り，Hoigūllノ見ゴトナ水道ヲスケテ来タガ，船ガオソイノデ，コロール波止場ニツイタノハ，タップリ四時間ノ後。

夕方，南洋ホテルデ合宿ノ懇親会。帰りニ渡辺氏ガ買物ニ出ルト云フノデ一緒ニ帰ツテ来，南貿其ノ他ヲ見テ，後パレスヘ一寸寄ツテ，別レル。

七日 日曜日 晴，稍雲アリ，暑，

榊原君ノ絵ノコトニ就イテ，商工課長ニ話サウト思ツテ物陳ノ鍵ヲトリニ七時半ニ阿久津サンノ所ヲ訪ネタガ，折アシク，朝早カラ不在ナノデ，ソノママ八時前ニ緒方武官ヲ尋ネ，一時間バカリ話シテ，榊原君ノ絵ヲ二枚モツテ榊田課長ヲ訪ネル。絵ノ話ハ都合ヨク，十一時マデ，奥サンモ，久チャンモ交ツテ話シコンデ帰ツテ来ル。

午後三時半ノ渡船デアラカベサンニ行ク。清サンノ所ヤウヤク，完全ニ独立シテ食事マデ，全部新築ノ家ニウツッタノデ，真直グニ清サンノ方ニ行キ，例ニヨツテ鶏ノ餌ヲスマセ，皆デ風呂ヲアビテ，久々デ皆デスキヤキデ長イコトカカツタ夕食，十二時迄話

シコム。遅イ月が更ケル程ヨクナッテ涼シクナル。

野村君一家ノ者ト丁度入チガフ。アッチャン、スッカリ元気ニナッテカワイイヤンチヤ。ヤップへ転勤ノ看護婦サン。

八日 月 晴レタリ曇ツタリ、

七時半ノ渡船デ、テルオチャント一緒ニ出テクル。

夕方帰ルト防空壕掘り。食後一寸木下氏ノ所ニ寄ッテ来ル。

加藤君へ朝カラ何度電話シテモ通ゼズ。

昼、中垣氏ヨリ電話デ、明日展覧会ノ飾リツケノ由。

堂本部長ヨリ電話ニテ、絵ヲ画イテオイタカラ取りニ来ルヨウニトノ事デ、昼前ニ行ク。色紙三枚。

夜、Maria 来ル。

九日 火 晴、暑、

朝、渡辺氏、ソレカラ熱産ノ馬越氏ガ宮崎高等農林ノ沢田教授ヲツレテ来ル。昼迄説明。

今日ハ南洋画壇ノ飾リツケナノデ、昼南貿ニ行き、手嶋氏ニ挨拶シテ来ル。中垣氏、林氏ニ会ッテカラ、榊原氏ノ絵ヲトリニカヘッテ、三時ニ持ッテ行き、四時過ギカヘッテ防空壕掘り。夕食後又、自分ノモノヲ持ッテユク。久保田君、中島(敦)君来、一緒ニ家ニ来テ消燈マデ。

十日 水 晴、

渡辺氏、沢田氏ト午後 Ngarmid ニ行ク³⁰²⁾ 約束ダッタノデ、ソシテ久保田君、中島(敦)君モ行クト云フノデ、南貿デ待チアハセテ、十二時過ギノバスデホテルニ行ク。ソレカラ皆デ Ngarmid ニ歩キ、一通り村中ヲ歩キマハッテ——Ngarmid モ暫ラク行カナイ間ニ Hades³⁰³⁾ ノ道ヲオコシテシマッテ、トラック道ヲ向フノ波止場マデモ作ラレテシマヒ、木々ハ切り仆サレテ、スッカリ変ッテシマッテ居ル。Yaisang ノ所ニ Sūmang ガ居タノデ、若椰子ノ実ヲトラセテ、皆デーツツツ飲ンデ休ンデ、久保田君、中島君ハ四時十五分ノバスヲ待ツト云フノデ、別レテホテルマデ歩ク。渡辺氏ト風呂ヲアビテ休ミ、沢田氏ト三人デ夕食。

渡辺氏ガ街ニ出ルト云フノデ一緒ニ来、途デワカレテ、南貿ニ寄ル。□阿久津サンニアヒ、オ茶ヲ飲ンデ一緒ニ帰ッテ来ル。

八時半、伊部君バラオ語ヲヤリニ来ル。十時半マデ。

十一日 木 晴，暑，朝サツト雨。父ノ命日デアル。

近海丸出港，山野地方課長来任。

朝ノウチ物陳ニ久保田君来ル。

午後栗山君来テ，飯田サンニ贈ル油絵ヲ前金デモツテ来ル。

南貿ニ行ク。

夕食後，中島君一緒ニ来テ，東旅行□報告ノ挿図ヲ持ツテ行ク。

夜，マリヤ

八月三十日 土曜日 晴，雲多ク夕方ト夜ト雨アリ。

渡辺氏トマルキョクニ行ク日デアル。

朝早ク榊原サンガ来テ——昨夜モ来テクレテ言付ケヲ残シテ行ツタノダガ——武官ガ自動車ヲ出シテ呉レルサウダカラ，八時半ニ来テクレト云フ。

食堂ニ行ッテ一週間分ノ米ヲ貰ヒ，弁当ヲ貰ッテ中島君ト一緒ニ武官ノ所ニ行ク。八時四十五分ニ自動車ガ来，途中栗山君ヲ拾ッテコロール波止場ニ行ク。渡辺氏モ丁度来タ所デ，早速ちちぶ丸ニ乗り込む^[ママ]。九時半ニ出テ，十二時過ギマルキョクニ着ク。ア・イライ³⁰⁴⁾ノサキデニ尾釣レタ鰹ノ片身ヲサイテ貰ッテ，上陸スルト森校長^[匡清]ニ逢ツタガ，コレカラオギワルニ行ッテ，明日帰ッテクルト云フ。榊原サンガ前カラ宿ッテ居ルシ，村吏事務所ハボーイガナクテ虐待ダト云フノデ，皆デ Uhūl a Doko ニ行ク。

午後皆デ旧村ヲ一週シ，Ngarmeleh ノハヅレマデ行ッテミル。帰ッテ昼寝，入浴，夕食ハサキノ鰹ノ刺身ト鶏ノ味噌汁ナリ。Malūbik ノ Saharūleong，益々病氣悪ク，モウ四五日食事ヲトラヌ由デ，Melengoes 夫妻モ前便デコロールカラ帰ッテ来テ居タ。家ニハポツポツ人々が集マツテ居ル。

夜，皆デ——Maderei，Antonia モ一緒ニ Belaū 家ニ行ク。トシコ，キヨコ等居テ，十一時迄モ遊ンデカヘツテ来ル。

中島，栗山君等ハソノママ村吏事務所ニ宿ル。

十二日 金 晴，

朝，渡辺氏物陳ニ来ル。

栗山君カラ電話デ，飯田君ガ一緒ニ絵ヲ見ニ行ッテクレト云フノデ，九時半頃南貿ニ行ク。飯田君ト別レテカラ，栗山君ト杉山木工所ニ杉山氏ヲ訪ネテカンバスノ枠ヲ注文シテ来ル。

栗山君ノ所ニ寄ッテオ茶ヲ飲ンデ，昼，マッスグ食堂ニ行ク。

四時過ギニ帰ッテ防空壕掘リ。

南洋画壇ノ展覧会ガ終ルノデ，夜八時ニ南貿ニ行ツタガ，竹中氏ト田村氏ノ外一人モ来テ居ナイノデ，明日午後カタヅケルコトニシテ帰ッテ来テ，一人デビールヲ飲ム。

受信 和田清治，湊菊之助，麻原三子雄，

十三日 土 晴，

昼迄渡辺氏，久保田君，

午後，展覧会カタヅケ。夕方，防空壕。

夜，久保田君。久保田君イヨイヨ開局式ヲ目ノ前ニシテ，テンテコ舞ヒノ形。ソコデ無給顧問ノ私ノ所ニ日参ノ体デアル。

八月三十一日（日曜日） 晴，夜雨アリ。

〔欄外に記す〕

〔マルキョク，清水村〕

九時ニビナスガ来タノデ，渡辺氏ト Bai ニ行ッテ待チ，藤吉巡査，森校長ニ逢ッテ一緒ニ村吏事務所マデ行ッテ，サイサンニ戸口簿ヲ持ッテ来テ貰フ様ニ頼ンデ待ツ。Ngiraked ニ逢ヒ，明日カラ通訳ニ来テ貰フヤウニスル。サイサンガ戸口簿ヲ持ッテ来，渡辺氏ハ事務所デ調べモノヲハジメタノデ，其ノ間森サンノ所ニ行キ，話シコンデ居ル所へ，栗山君，中島君ガヤッテ来ル。

昼ニ Uhūl a Doko ニ帰ル。パンノ実トタビオカノ titimmel トデ腹イッパイ，二時ニ栗山君ト中島君ハ清水村ニ向ケテタツ。渡辺氏ハ午後モ戸口調査ニ行ッタノデ，榊原君ト話シテ居タガ三時過ギテ昼寝，夕方 Urūbosang マデ散歩。夜ハ月ガ明ルイノデ，三人デ Urūbosang ノ方ニ散歩シタガ，雨ニ降ラレテ Reklai ノ所ニ飛ビコム，ランブバカリツイテ居テ人ハ居ナイ。

九月一日（月曜日） 昼前ト午後三時頃ト夕方ト夜ト雨アリ。曇ッたり晴レたり，ヒヨヒヨト寒イヤウ。

昨日頼ンデオイタノデ，朝学校ノ興亜奉公日式ノカヘリニ Ngiraked ガ来ル。

九時，渡辺氏ト Ngürüsklūk ニ NgiraTekao ヲ訪ネル。ヒドイ雨ニ降ラレタガ，丁度昼頃ニ小止ミニヤンダノデ帰ッテクル。午後ハ又少シバカリ Ngiraked ニ質問シ，外出，一寸駐在所ニ行キ，婆サンヲ二人ツレテ mesei ヲ見ニ行ク。帰ッテ一寸休ムト，又雨ニナル。皆デタ食ヲスマセタ処へ，阿波商事ノ梶浦氏等三人，ドヤドヤト来ル。大和村カラ山越シデ来タトテ，直グニ食事ヲスマセル。梶浦氏持参ノ紅茶トウイスキー，後皆ヲ村吏事務所ニ送り，皆デ Belaū デ十一時マデモ遊ンデ来ル。遅クマタ雨ニナル。月出タリカクレタリ。

九月二日（火曜日） 終日降ッたり止ンダリ。

朝，梶浦氏等又山ヲ越エテ帰ッテユク。

Ngiraked 来ル。午後，渡辺氏 Ngiraked ヲツレテ出テ行ク。榊原氏ト波止場ノ先キニ

釣りニ行ツタガ、魚ハツレナイデ、雨ガフリハジメテナカナカ止マナイノデ、自分ハ帰
ツテ来テ昼寝シテシマフ。

夜ハ Bai デ Matomatong ヲヤラセル。月カスカニ。

九月三日（水曜日） 終日降ツタリ止ンダリ、

朝カラ Ngiraked 来ル。雨デ出ヤウニモ出ラレズ、Ngiraked ヲツカマヘテ何かカニカ
質問スルクラキ。午後、渡辺氏ハ又 Ngiraked ヲツレテ Urūbosang ニ出カケタガ、私達
ハ昼寝シテシマフ。

夜、村カラ三ツノボックスガ届ケラレ、島民食テ腹ノハチキレル位食ベテ、後、渡辺
氏ト駐在所、学校ニ、明日清水村ニ出ルカラト挨拶ニ行ク。序ニ Ngerwosoh ニ寄ツタ
ラ、明ルクランプガ灯ツテ人ガイッパイ集ツテ居タガ、Melengoes ヲ呼ンデキイタラ、
Sehalūreong ハ夕方六時半ニ息ヲ引取ツタ由。

ア、人ヨシノ、働キ手ノ、古イ古イ私ノコムパニーノ Malūbik ハ、トウトウ死ンデ
シマツタ。ガラルツノ Tokai ガ死ニ、古クハアラバケツノ Niramesūbd, Mekemad,
Modolong, ソレカライベズールノ Tem ガ、Hedelkoroi ガ皆死ンデシマツテ、昔カラ
心オキナイモノデ残ツテ居ルモノトテハ Ngheangngal ノ者達ト、腰ヌケニナツテシマ
ツタ Ngebūkd ノ Mad 位ニナツテシマツタ。

九月四日（木曜日） 終日降り続ケタガ、夕方ニナツテ止ミ、夜ダンドン月ヨク、十三夜
程ノ月ガ漸ク光ヲ増ス。

朝 Ngiraked ガベッコノ皿ト椰子油ヲ持ツテ来ル。夕食後、渡辺氏トボックスノ礼
ヲ買ヒニ出、駐在所ニ届ケテ来ル。帰ツテ暫クスルト、森氏ガ来テ、八時頃マデ話シテ
行ク。

九月五日（金曜日） ヨクモ降ツタ雨ガ止ンデ、朝カラ晴レル。

朝食後八時ニ、榊原君ニ別レテ、渡辺氏ト荷物ヲカツイデ山越エシテ清水村ニ出ル。
十時十分前、清水校ニ着キ、及川校長ト暫ク話シテ、十一時過ギ豊南産業ニ行ク。一時
過ギテ昼食ノ馳走ニナリ、後、渡辺氏ハ会社ノ三輪オートバイデ第二農場ヲ見ニ行ク。

夜ハビールトパイン酒ト山ニ珍ラシイオサシミト、椰子油デアゲタテンプラト、コロ
ールニハナイ卵ノオ吸物トデ大変ナ馳走ニナル。満月ガ丁度前ノ山ノ端ニ登ツテ明ルク、
本当ノオ月見ヲスル。食後、渡辺氏ト腹コナシニ月ノ道ヲ下ノ方ニ三十分程散歩シテ来
ル。

十四日 日曜日 晴、夕方一寸雨。風ナクテ暑イ。

朝、手紙書キ、

〔受信〕 湊菊之助、榊原弘（物陳ノ画ノ件）、藤吉巡查、岡部正義（熱産）、皿井長四郎、
皿井立三郎、
（レモン・グラス）皿井立三郎宛、「サテワヌ漁法——」津山尚へ、

〔欄外に記す〕

〔渡辺氏帰ル〕

昼前、郵便局デ沢田氏ニ逢フ。沢田氏モ渡辺氏モ急ニ、クライド丸ヲヤメテ、明日ノ
^{〔江〕}近海丸デ帰ル由。

一時半ノ渡船デアラカベサンニ行ク。宿ル。

十五日 月 晴、

昨日朝バラオ丸入港、今日出港、中島敦君東へ³⁰⁵⁾。

〔受信〕 羽根田弥太、和田清治（2通）、貫井宏、武田範芳（個展目録）、殿木栄一郎、
田村清（水路部）「本年9月21日の皆既日食に就て」（水路要報第20年第8号別
刷）

夕方、防空壕、

夜、久保田君、

十六日 火 晴、昼一時間程ヒドイ雨、夜八時頃カラ又雨、

午前、栗山君来、十一時過ギ一緒ニ来、部長ノアザミノ絵ヲヤル、文協絵葉書ノ件。

夕方、防空壕。

夕食後、久保田君一緒ニ来、一時マデ話シコンデ宿ル。

十七日 水 晴、

防空壕。

夜、六時半カラ武官府デ、「火曜会」ノ人達ノ為ニ講演。昨日ガ集マリノ日ナノダガ、
加藤君カラ電話デ今日ヤツテクレト云ツテ来タノダツタ。

九時過ギニ帰ッテ一人デビールヲ二本飲ンデ、何ニモシナイデ寝テシマフ。

ホントニ、シタイコトバカリデ暇ガナイ。暇ガナイナンテ云ヘナイノデ、一日中何シ
テモイイノダガ、落チツケナイノダ。或ハモット悪イコトニ、頭ガ悪イノダ。頭ガ悪ク
テ根気ガナクテ、仕事ガ手ガツカナクテハカドラナイ時ホド、情ナク腹立タシイコトハ
ナイ。ドコカー一日中、人ト会ハナイデスム、人ト一言モ話サナイデスムヤウナ処ニ一月
バカリ行ッテ、頭ノ中ヲ整理シテ来タイモノダ。

十八日 木 晴，満洲建国記念日，

昼前，栗山君，絵葉書ニスル絵ヲ出シテクレト云ッテ来ル。一緒ニ家ニツレテ来テ絵ヲ揃ヘテミル。三組ホド持タセテヤル。

夕食□時，中島君ガ早速配給ノビールヲ出シタノデ，二人デハジメタ処ヘ家入君ガ来，久保田君ガ来，高山ノ主人マデ入ッテ大変ナ宴会ニナッテシマフ。久保田君ガ，何デモコレカラ五枚バカリ原稿ヲ□ツクラナケレバナラナイト云フノデ，家ニ引張ッテ来テ，私ガ喋ッテ書カセ，家入君ガ林檎ヲモッテ来タ処ヘ，市川君カラビールノ寄附ガ出，ソレカラ久□保田君，家入君ト三人デ又，金寿司ニ出カケテ行ク。

発信 武田範芳，貫井宏，和田清治，羽根田弥太，

十九日 金 晴，午後二時頃驟雨，

昼前又栗山君，絵葉書ノ件デ来ル。昨日午後カラ阿久津□君ガ休ンデ居ルノデ，栗山君ト行ッテ，見舞ヒナガラ，アート紙ノコト，印刷ノコトナドタヅネテクル。

夜，Maria 来ル。Kiyomi ガハシカデ死ニカケテタ由。

受信 竹下源之介，湊菊之助，柴山昌道，清野謙次，奥野彦六郎，土方文子——道子，

二十日 土 晴，午後蒸々シテ雨ガ来サウダッタノニ，バラバラトオチテ行ッテシマフ。

朝，栗山君来テ，絵葉書ノ包紙ノ装訂ヲトッテ行ク。

午後，御用船松栄丸ノ副長武林機関中佐以下三十人バカリ參觀ニ来ル。

防空壕，夕方，伊藤白鳳ト云フ人，画壇ニ入レテクレトテ来ル。

二十一日 日曜日 朝カラ雨降ツタリ止ンダリ，午後三時ニハ晴レシモ，夕方ヨリ夜ニカケテヒドイ雨トナル。

手紙書キシテシマフ。

発信 田村清，中沢佑，麻原三子雄，奥野彦六郎，湊菊之助，竹下源之介，

殿木栄一郎——（資料依頼ノ返事）

清野謙次——（原稿転載□□承諾）

三時半ノ渡船デアラカベサンニ行ク。宿ル。

二十二日 月 朝止ンデ居タガ，八時半ニハバラバラ来ル。後ヨク晴レシモ，夕方ヨリ又雨降ル。

七時半ノ渡船デテルヲチャント一緒ニ出テクル。

午後、栗山君来ル。

夕方、防空壕、夜 Maria, Hohop, 久保田君。

二十三日 火 秋季皇霊祭、晴、午後四時頃一雨。

昼前中、久々ニ室ニ居テ、何かカニカ始メタラ、イツニモホツラカシテ居ルノデ、次カラ次ニ何かカニカ□シテ置カナケレバナラナイコトガアツテ、昼前中過ギテシマフ。

午後ハ一横^[ママ]ニナツタガ、二時前後ニハ久保田君ガ迎ヘニ来ル筈ノガ来ナイデ、三十分モ過ギテ一人デ行□□カウト思ツテ仕度シテ居ル所ニ、中島君ガ久保田君ニ逢ツテ来タトテ誘ヒニ来タノデ、一緒ニ第二若葉館ニ行ク。

アバイノアタリカラ、マダ今頃電線ヲ引張りマハシテ居ル。舞台デハ、料理屋ノ連中ガ明日ノオサラヒヲシテ居ル。

四時過ギテヤット島民達ガ来タガ——サテ、マイクロホンガ悪クツタリ、東京トノ都合ハセニ暇ドツタリシテ、一通リノ練習ト本物ノ何度カノヤリ直シデ、六時半過ギテヤットドウヤラ放送ヲ終ツタガ、誠ニ出来ハ悪イ。島民等ガ上ツテシマツテ——夕食後、家入君ガ来、ビールヲ飲ンデル所ニ栗山君夫妻ガ来テ、十時前マデ。

二十四日 水 朝晴レテ居タガ雲多ク、十一時前カラ一時間程雨、後止ミシモドンヨリト曇ツテシマフ。

今日ハ放送局ノ開局式。十時四十分ニ呼バレテ居タノガ、十時前ニ佐伯サンガ物陳ニ来ル。渡船デ来タガ、マダ時間ガ早過ギルノデ来タノダ。時間マデ話シテ一緒ニ放送局ニ行ク。十一時ヨリ式、十二時会食、暫ク雨ノ止ムノヲマツテ、佐伯サント南賢ニ行ク。

午後四時、地方課ニ行キ、栗山君ニ図案ヲ渡シテ一緒ニ帰ツテクル。

六時カラ開局記念放送実演会。晴サンモ来テ居テ一緒ニ始メノ活□動ヲ見タガ、後ハ楽屋。今日ノ島民達ハ昨日トチガツテ上々。

受信 榊原弘、

二十五日 木 雨、北風ニナツテ、スコールデナイ小サナ雨が北風ニ乗ツテ降り、ヒヨヒヨト涼シイ、降ツタリ止ンダリ。

夜、Maria。

受信 和田清治、

二十六日 金 終日ヒヨヒヨト寒ク、雨降ツタリ止ンダリ、

早朝、久保田君来テ、今日、放送協会理事ノ小尾範治氏ト情報室ノ並河亮氏³⁰⁶ヲ案内シテクレト云フ。久保田君、食事シテ八時前ニ来ル。九時前、東屋ニ並河氏ヲ誘ヒ、一緒ニバイニ□行ク。小尾氏ト岩崎局長ト既ニアリ。バイニ就イテ一通リ説明シ、雨が

来タノデバステマダライニ出テ、物陳ニ案内スル。十二時迄。放送局デ中食、並河氏ハ通信課ニ□呼バレテ行キ、我々ハソレカラ熱帯生物ニ二時半頃行ク。加藤君ニ説明ヲタノミ、阿戸田君、和田（連二）君ト話シテ居ル。後、畑井所長モ見エ、四時過ギマデ居テ帰り、街ニ出デオ土産屋ヲ見ル。五時過ギ別レテ、食堂ニ行ク。

榊原君ヨリ物陳ニ電話アリタル由ニテ、今日マルキヨクヨリ出テ来シ由ナリシヲ以テ、食後電話ヲカケテ、夜、絵ヲ持ッテユク。武官モ丁度昨日帰ッテ来ラレタ由デ、ブドー酒、キスキー、日本酒（白鹿）ト、チャンボンニ出サレル。九時半辞シテ帰ル。

^{〔朝脱〕}早、久保田君、並河氏ガ飛行機デ持ち来リシトテ、葡萄ヲ数総持ち来ル。食ヘバ秋ノ味シヌ。

二十七日 土 終日曇、風、時々雨、

午後、久保田君、山口君来、物陳ニ行カズ。

夕方、髪ヲツミニ出テ、木下菌医者ニ、南洋画壇ノ金ヲモッテ行キシニ、龍□□登サンガ来ル筈ダカラ一緒ニ食事シテ行ケト云フ。半時間程シテ海運事務所ノ龍登氏来、一緒ニビール。九時過ギ別レテ帰り、丁度山本ガ半酔ヒデ帰ッテ来タノデ、十一時迄ビール。

此処三四□日ノ間ニ泰安丸入ッテ出、箱館丸入り、（一日出港ノ由）、今日又山城丸入港。

電氣ガ消エテカラコーヒーヲ入レテ居タラ、久保田君来、並河情報官ト歩イテ居ルウチニ閉メ出サレタトテ宿ル。

二十八日 日曜日 漸次晴ル。雲多ク、西風ノベツ。

久保田君、八時半過ギニ帰ッテ行ク。朝ノウチニ手紙書キ。

午後一時半ノ渡船デ清サンノ所ニ行ク。

夜、部落常会デナカナカ大変ナリ。泊ル。

二十九日 月 晴、

〔発信〕 泉井久之助、柴山昌道、和田清治、土方道子、中沢英子（航空）

昼前、栗山君物陳ニ来ル。午後家ニ来ル。

四時半、野元氏物陳ニ来ル。一緒ニ野元氏ノ所ニ一寸行ク。

夜、Maria ガ、ソレコソ久々ニパンヲ買ッテ来テクレル。

三十日 火 晴、

朝カラ背中痛ク、午後モ直ラズ、午後休ンデ二時間程昼寝スル。

夕食後、家入君、中島君一緒ニ来テ八時過ぎマデ居ル。
九時頃ニナッテ Maria 来ル。

十月

一日 水 晴,

午後, 商工課常会。

夕方, 防空壕。

夜, 班常会。

暇ガナイ。暇ノアル時ニハ体ガ悪イ。ソシテ仕事ガハカドラナイ。詩モナイ, 絵モナイ, 歌モナイ。追ヒタテラレテ居ルヨウナ, 要スルニユトリノナイ永イ毎日。
ボカント本島ニデモ行ッテ来タイ。

夕方, 高崎嬢ガ外南洋カラ来タ本物ノバタヲ持ッテ来テクレル。

夜, 久保田君ガビハコト云フ日本酒ノ一升壺ヲサゲテ来テクレル。

共ニ近頃珍ラシイ, 貴重ナモノ。

久保田君, 泊ル。

受信 小林織之助, 後藤貞二^(補), 竹下源之介

二日 木 晴,

夜, Maria。

三日 金 晴,

朝, 久保田君カラ電話デ, 一昨夜ノ, 並河氏ノ島民女中ノコトニ就テ——二人デ Maria ノ所ニ一応行ッテ後, 物陳ニ来ルト云フノデ。

後, 阿戸田氏^(訂)カラ電話デ, 客ヲツレテ来ル由。

^(欄外に記す)
[松井喜三君]

十時前, 今度熟生ニ来タ文理大ノ松井喜三氏ヲツレテ来ル。十一時前, 久保田氏カラ電話デ呼バレ, 阿戸田^(訂)、松井氏ニ土俗品ダケ説明シテ別レテ, 久保田氏ト東屋ニ並河氏ヲタツネル。十二時過ぎ, 皆デ南貿ニ行ク。暫クシテ Maria, Hohop ヲツレテ来ル。

一時, 並河氏ト分レ——並河氏, 早速支庁ニ行ク。後ヤブデ合ッたら, 近日, 島民ノ渡船□ニ就イテハ, 理由ノ如何ヲトハズ, □差止メトナリ, 例外者ノミ, 許可制ヲトルコトニナリシ由, 久保田君ト家入君ノ所ヘ行キ, 三時, 久保田君ヲ置イテ南貿ニ行ク。高崎嬢来テ居ル。

四時ノバスデ三人デ、南洋神社ニ行ク。宮地氏、区長常会ニ行キテ留守、長イコト上リコンデ桜井氏ト話シ、後三嶋氏ノ所ニ行キ、六時半頃辞シテ帰ッテ来ル。

四日 土 晴、朝ト夕方トパラパラ雨。

五日 日曜日 晴、

朝、久保田君来ル。九時頃一緒ニ放送局ニ行キ、自分八十時半ノ渡船デアラカベサンニ行ク。丁度清サント全ジ船デ行ク。野村君ノ奥君ガ子供達ヲツレテ行ク。

十二時ノ渡船デ並河氏ト[□]通信課ノ後藤君、南賀ノ五郎サンノ一行来ル。ヂキニ、皆デ船デ——サンパンヲ引パッテ、釣りニ行ク。四時迄三度場所ヲカヘテ釣ッタガ、イクラモ釣レズ。

五時ノ船デ皆カヘリ、情報官ト、後[□]藤氏ト俊比古君トノコリ、清サンノ所デ島民食。渡船故障シテ来ズ、十時半頃^{〔ニ脱カ〕}ナッテ、並河氏ト後藤氏ハ歩イテ帰ッテ行ク。

^五
□六日 月 晴、雲多シ、

七時半ヲノリオクレテ、九時ノ船デ出テ来ル。栗山君、絵葉書ノ件デ来タガ、——東京カラ見積書ガ来タノダガ、青田ガ 14.6、富士ガ 15.5 位——背中ガ痛ミ出シテ、椅子ヲナラベテ寝コロンデシマフ。

午後行カズ、夕方防空壕、夜久保田君来テ、並河氏カラ誘ヒニ来タト云フ。一緒ニ出テ、久保田君ニハ Maria ノ所ニ行ッテ、断ッテ貰フ。山口君、久保田君、ソレカラ後藤君モ^{〔来カ〕}皆テ、皆デパレスヘ行ク。

久保田君、帰りニ来テ泊ル。

受信 渡辺信一（航空）

^{〔欄外に記す〕}
〔星君夕方来ル。学校訓導志願ノ件。〕

^六
□七日 火 晴、雲多ク、朝早クカラ雨、昼前モ雨、夜モ雨アリ、飛行機出ズ。

午後、久保田君来ル。

星君カラ履歴書ヲ届ケテ来タノデ、帰り野村君ノ所ニ寄ッタガ居ズ。

受信 金子九平次

夜、Maria。

^七
□八日 水 朝雨、止ミシモ終日曇リ、夜十時、又雨、

朝、本庁ニヨリ、野村君ノ所ニ行ッテ、星君カラ頼マレタ学校ノ件ニツキ問合ハセ、駄目、物陳ニ行クト中垣氏来テ居ル。南洋画壇会員ノ許可証ノ件。

夕方、入江君カラ話シアリ、表具屋ニ行ク。柳原君ノ絵、出来テル由。
後、並河氏ノ所ニ行キ、久保田君ノ来ルノヲ待チテ、六時半武官府ノ火曜会ニ行ク。
小楠氏ノ各島創成神話、九時前ニ終リ、後、加藤君モ来テ、四人デギオン。

九日 木 朝ノウチドンヨリシテ居タガ、漸次晴レル、

受信 雑誌「民族学研究」七卷二号、「サタワル葬儀」原稿、

午後三時頃、中島君ガ来ル。一緒ニ四時、役所——地方課ニ行キ、栗山、家入君ト四人デ南賣。

ドウシタカ、Maria 来ズ。

十日 金 朝三十分程ヒドイ雨。後大変ヨク晴レル。

受信 堀清、

昼ノバスニ乗りソコナッテ、久保田君ト、アバイマデバスデ行ッテ、歩イテ、大木、高木女史ノ所ヲ尋ネル。二時頃ニ女学校ニ行キ、三時半ノバスデ帰ッテ来ル。夕方、久保田君ガ、加藤君カラ電話ガアッタト云ッテクル。デ直グニ一升塚ヲカカヘテ行ク。アトカラ伴サンガ現ハレ、消燈スギマデカカッテ、二打余ノビールヲミンナノンデシマフ。久保田君来テ泊ル。

十一日 土 晴、夜雨、

夕方、久保田君、山口君ト熱帯生物ニ行ク。放送局カラフィルムヲ提供、武官府カラ機会トカメラマンヲ供サレテ、前ノ大道デ活動写真ヲ見^[機]セルト云フ訳、伴サンモ来、松井サンノ研究^[機]材料ノマグロデ山ノヤウナオサシミト、マダマダ アルビールト。

十二日 日曜日 晴、雲多シ、夜カナリ雨アリ、降り且ツ止ム、

朝手紙書キシテ居タラ、久保田君来ル。グズグズシテ居タラ清サン来ル。十二時ノ渡船デ一緒ニナル約束デ、清サンハ新聞社へ、久保田君ハ局へ、十二時ノ渡船デアラカベサンへ。オソク昼食後、昼寝シテシマフ。夕食後、久保田君ハ雨ノヤミ間ヲ八時半ニ歩イテ帰ッテ行ク。

十三日 月 晴、

午後、役所ノカヘリ、地方課ニ寄ル。本年度ノ地方費予算デ、モ一度民族研究所案ヲ出シテミヤウカトノツモリダガ、課長、防空演習デ忙ガシクシテ留守、待ツウチニ帰ッテハ来タガ、引続キ忙ガシソウナノデ帰ル。家入君ト、ビールヲ買ヒニ行キ、食前ニパイ。

昨日カラ防空演習ナノダガ、十七日カラガ総合演習ニ入ルノデ、今ノ所部分的ナ訓練

バカリ。

〔発信〕 小倉綾子，（ボルネオ，きたかぜ注文），金子九平次，渡辺信一，
山田剛，但シ此ノ船ニマニアハズ，

十四日 火 夜明前カラヒドイ雷雨，九時頃小□止ミニナル，終日曇，
朝，地方課ニ行き，課長ニ会ヒ，民族研究所ノ件，極小ノモノヲ地方費予算ニ出スコ
ト。

夜，久保田君来，高崎嬢来，後，久保田君ト街へ出ル。久保田君，又アトカラ来テ宿
ル。

十五日 水 曇，雨降ツタリ止ンダリ，夕方ヨリ降ラズ。

食堂ノカヘリ，高崎嬢ノ処ニ寄ツタラ，——昼前，本願寺ノ新ラシイ坊サンガ見エタ
ノデ，南洋画壇女子部ノ話ヲシテオイタノダッタ——最上君ト，ソレカラ昔ペリリュウ
ニ居タ遠藤巡查ニツカマリ，ビールヲ馳走ニナリ乍ラ，八時マデ喋ッテクル。

久保田君，家ニ来テ居タ筈ガ，待チキレナクテ帰ッテシマフ。

十六日 木 晴，

物陳ノカヘリ地方課ニ寄り，「民族研究所」ノ新規予算ヲ出シテ来ル。

夜，Maria 来ズ，九時頃出カケテ見タラ，モウ寝テ居タノデ栗山ノ所ニ行く。ビール
ヲ飲ンデ泊ッテシマフ。

十七日 金 晴，曇，

今日カライヨイヨ防空演習ガ本格的ニナル。

十時，Omtiloū ニ行く。Maria ハ尻ニ出来物が出来テ痛ガッテ居タ。十二時過ギマデ
勉強。中食後 Kisaūl ヲツカマヘテ，何かカニカノートスル。ソレカラ昼寝シテ五時前
ニ食堂ニ行き，帰ッテクル。夜ハ電気ガクラク，市川君ガ来テ喋ッテ居ル。昼頃カラ稍
^{痛中}□□背中ガ痛カッタガ，夜ヒドク痛ムノデ早寝シテシマフ。

十八日 土 晴，暑，

朝早くニ物陳ニ行ッテシマハウト思ッテ，七時半ニ出カケヤウトシタラ，空襲警報デ
出ラレナクナッテシマフ。八時過ギニ物陳ニ行き，キャンバスヲハリ，新聞ヲ読ミ——警
報解除後，阿久津君ガ一寸来，後，山本君ガ一寸来ル。——昼前一寸絵ヲカキ，午後
又物陳ニ行ッテ絵ヲカク。家入君来テ見テ居ル。後，久保田君来ル。夜，暗クテロクナ
コトモ出来ナイ。

〔受信〕 榊原弘，

十九日 日曜日 晴,
六時半カラ物陳, 絵。
夜, 六時半警報, 七時解除。
市川君来テ話シテユク。

発信 榊原弘

二十日 月 晴,
午前中, 御用船カ何カノ, 船長, 事務長等ラシキ, 大阪ノ人達来テ, 昼前マデ話シテ
行ク。内地ノ大阪ノ隣保□班, 配給ノ話シ, 其他何ヤカヤ, シカシ珍ラシク聞ク。
夕食後, 家入君ビールヲ持ッテ来テ飲ム。
Maria カラ昼前電話デ夜来ル由ガ, 来ズ。昼前, 高松君, 物陳ニ訪ネテ来ル。
佐伯サンカラ電話デ, 夜防空本部ニ夜勤トノコトデアッタノデ, 九時過ギ行キシガ,
居ズ。

受信 中沢英子, 羽根田弥太,

二十一日 火 朝雨, 夕方ヒドイ驟雨ナリテ, 後夜遅クマデ降ッたり止ンダリ,
朝, 伊藤白鳳君ガ来, 藤井商会ノ小沢氏が江守サンノ紹介ヲモツケル。
午後, 中島君ガ来ル。
夜, 久保田君, Maria, ソレカラ家入君ガイイ機嫌デアッテ来ル。ビールトオ茶ト。

受信 和田清治,

二十二日 水 晴,
朝, 山本君ニ土産屋カラモートルック人形ヲ借りテ来サセル。十時頃, 熱生ノ加藤君,
大キナ写真機ヲモツテ来ル。山口君来ル。モートルック人形, モクモク人形, パラオ人
形, トコベイ人形, ヤップ人形, モートルック面ヲ写真ニ取ル。後, 人形ト, パラオノ
岩山カラ出タ土器トヲ序ニ撮ッテモラフ。

午後, 龍登中佐ガ見エ, 明日, 部隊ノ将校達ニ^学見学サセタイカラト云ッテ, 帰ラレ
ル。

海軍武官府カラ電話アリ, 中村部隊ノ^{将校}□□士官四名参観。藤井商店ノ人二人。

夕食後, 幹チャン合成酒ヲサゲテ来ル。隣リノ商工課ノ若イ人ト三人デー本飲ンデシ
マヒ, 幹チャントヤキトリニ行ッたら, 久保田君ガ友達ト来, 更ニ一緒ニギオンニ行き,
消燈迄。久保田君一緒ニ来, 又二時半過ギマデ。

二十三日 木 晴, 暑,
九時前, 龍登中佐来, 後, 車ヲヤッテハ五人ヅツマラカルカラ運ンデ, 結局十七人ノ

将校が見エル。気持悪クナッテ、中途カラ阿久津君ニタノム。飯田君、栗山君来ル。中島君来ル。靖国神社ノ祭礼トテ、前ノグラウンドデ坂野部隊ノ兵隊サンノ運動会アリ。

午後、商工課カラ電話デ、行クト、通信課ノ矢堀君ガ逢ヒ度イ由デ行クト、ファイノタイプライター文トトラック島民ノ手紙一束。ファイノハバラオ語デ、bild 数箇条ノ校正デアリ、トラック島民ノモノハ天主堂行キニハナッテ居タガ、皆私信ダツタ。

商工課デハ、吉本君ガ物陳主事ヲヤメ、自分ガ物陳主事ト云フ辞令ガ出テ居ル。

地方課ニ寄り、布教バイブル其他ヲ日本語訳ニ□ヨルコトヲ庁令デ定メルヤウ課長ニススメテ来ル。夜、久保田君、Maria。

明後日ノ節米食展示会ヘ島民料理出品ノ件、タノマレタノデ、Maria ニ言ヅケテヤル。明後日カラ出張ナノデ、Maria ニ紹介状ヲカカセル。

発信 羽根田弥太、堀清、

二十四日 金 晴、

受信 榊原弘、

発信 榊原弘 (60円)

商工課、地方課、野球試合 10:9.

武官ヲ尋ネシモ、チモールニ行キテ留守。

[1頁白紙]

十一月

三日 月 晴、午後二時頃ヨリ一時間程モヒドイ雨、後ヤム、

朝、役所、式。

後、阿久津君ガ訪ネテ来テ昼迄。

朝、式後、商工課長ト吉本君トデ、西山君ト高松君ノ振り方ニ就イテ相談、大体、西山君ヲ物陳兼務トシ、高松君ヲ全ジク囑託トシテ、物陳兼務トスルト云フコトニスル。

午後、国民学校ニ運動会ニ行キシガ、雨来テ中止。

先月二十五日ニコロールヲ出、Ngetkip — Irrai ヲマハリテ昨日カヘリシ次第、順次記スベシ。

受信 皿井立三郎 (ケイ子、長四郎)、民族学研究所 (古野氏)、5.⁰⁰

十月二十五日 晴、暑、

[欄外に記す]

[アイライ]

今日カラ本島へ出張スル筈ニナッテ居タ処、昨日マデ出張命令が出ナイノデ、朝物陳ニ出カケル。財務カラリュックサックモ買ッテ貰フヤウニナッテ居タガ、是レモ買ヘテ居ナイノデ、財務ニ交渉シテ貰ッテ山本君ニリュックサックヲ取ッテ来テ貰ヒ、出張命令ノ出ルノヲ待ッテ商工課ニ行ク。

荷物ヲトトノヘテ、十一時ニ食堂ニ行ッテ米、塩、味噌ヲモラッテ出カケ、Mariaノ所ニ寄ッたら、Mariaハ今カラNgetkipニ行ク所ダト云フノデ、一緒ニコロール波止場ニ出ル。落合氏来ル。MariaノNgetkip行きハ落合氏ノオ伴ナノダ。落合氏ハ真直グニNgersarニ行き、私ハMariaトBab l Baiニ行ク。UldékülトMasakoトDôsübト居リ、Sepalモアトカラ来ル。Saūsabヲ食ベテ、Mariaハ落合氏ヲ追ッテユク。落合氏等ハ婦リニ寄ッテ、一休ミシテコロールニ帰ッテユク。

女達ト四人デタ食ヲスマセテ後、Uldékülト村ヲマハリシテ来ル。

淋シイタベデアル。

ガ、ココデモ新ラシイ道ニ、海軍ノ自動車ガ埃ヲアゲテ走ッテ居リ、Baiニハ北海道カラ来テ居ルト云フ人夫ガ、二夫婦ニ沢山ノ子供ヅ□レデ宿リコンデ居ル。最上ノ計画スル砂糖黍畑ヲ伐切シテ居ル由、昔ノ面影ハマルデ失ハレテシマッテ居ルガ、ソシテマダマダドコマデヒログラレテ行クノカ、アチコチ伐切サレタ跡ニ火ガカケラレテ、プスプストイブッテハ居ルガ、ココラ人家ノアル所ハ、マダマダ木ノ多イダケヨク、蛙ノ声、虫々ノ声ニ埋モレテ居ル。

Uldékülガ出テ行き、UldékülトKikūoトガ来ル。Sebalモ後ニ酔ッパラッテ一寸来ル。九時ニハ寝ルコトニシテランブヲ消シタガ、道ノ新道ヲ酔ッバラヒガノベツニ歩キ、一人ハ窓カラマツチヲスッテ、サテ何かブツブツ云ッテ行き過ギル。寝苦シクシテ居ルト、夜中ニ若イ女達ガ三人ヤッテ来テ、永イコトクダラナイ事ヲ喋リツツケテ居タガ、皆ソノママココニ寝テシマフ。Kesūkノ声遠ク、近ク。

十月二十六日

女ノ一人ハ三時頃ニ起キテ行ッテシマヒ、一人ハ五時過ギニ起キルナリ何処ヘカ行ッテシマフ。

爽ヤカナ朝ガ、tūtaoノ声デ明ケル、山鳩ガ鳴キ、ソレガ七時半ニハ裏ノBaiデ、朝カラ子供達ノ声ト、口ギタタナイオヤヂノ声。

食後、Sebal迎ヘニ来ル。一緒ニIrraiニ行ク汐ナリ。七時半過ギニ出発、新道ヲNgerülūôbil、Ngersarヲ過ギ、国際無線カラ下ニオリテ、^U□□□□^UUrullahニ休ミ、九時十分過ギニIrraiニ入ル。HeraūノHobakノ家ニ入ッテ休ム。Sebal達ハソノママ仕事ニ出テ行ク。Hobakノ所ニ昔Melekeokノ隣リニ居タIblaiガ居タ。此処デReklaiト夫婦ニナッテ居ル由。

昼マデ寝転ンデシマヒ、中食シテ後Hobakト喋ッテ居タガ、此ノHobakガ、昨日ノ

Uldêkûl ノ母ノ夫デアッタシ、又昭和六年ニ私ガ、Tohobei ニ行ッタ時、瑞鳳丸ノ機関部ニ乗ッテ居タノダト云フ。

島民生産組合ノ評判。

Hobak ト村ラーマハリ。一軒ノ家デ Ngot, Hai, Horūsūh ra mahal (er rdil) ヲ買フ。生産組合ニ行キ金ヲクヅシテ貰ヒ、Titimmel ra diokang ヲ馳走ニナッテ、五時頃帰ッタガ、背中ガヒドク痛ム。早ク夕食シテ、裏ノ Hobak ノ hobekûl ノ家ニ行キ、水浴。

此ノ□^a辺ハ Heraū ト称スル、rengedel □^a belū ra Irrai ナリシ。

早寝セシガ、夜中 Reklai, 酔ッパラッテ帰り、一番^(晩)中罵リ通ス。

四日 火 晴, 暑,

昨日ハ夕方、清サン夫婦子供揃ッテ誘ヒニ来、一緒ニ金寿司ニ行キ、一寝入、夕食シ。後、水泳競技会ヲ見ニ行ク。パラパラト雨来シモ、ヒドク降ラズ。

久保田君、清サンノ接戦。

午後一時過ぎ、商工課長ガ朝鮮道府理事官ト総督府ノ属トヲツレテ来ル。

夜、久保田君来、九時ニナッテカラ街ニ出、パレスデ阿刀田君ニ逢ヒ、三人デ更ニギオンニ行キ、消燈後皆デ家ニ来、更ニビールヲ呑ンデ二時迄。阿刀田君窓カラ落ツ。二人トモ宿ル。

十月二十七日 晴 暑, 日暮小雨,

朝、Reklai ガ mehūt l klalo ヲモッテ来ル。

九時頃ヤット朝食、十一時ニ出テ村ヲスケッチシナガラ歩キ、初メノ家デ būuk 二個買フ。

Bai ニ行キテ休ム。気分スグレズ。

Ngersar, Ngetkip 方面ノ配給アリ。娘ヤ少年達来テ、砂糖、醤油ノ配給ヲ受ケルノダガ、受取ッテクルトイキナリ二人モ三人モデ、ペロペロト満足スルマデ舐メテ居ル。

昨日ノ島民ガ来テ、品物ヲ持ッテ来タカラ、前ノ家ニ行ッテ見テクレト云フ。一緒ニ行クト、ソレハ昔 Ngiri kiklang ガ Hesūh ノ石ダト云ッテ大事ニシテ居タモノ、Kim 製ノ Peringd r Helid デアルト云フ。

其ノ家ニ爺四人、婆四人集ッテ居タガ、朝カラコブラムキノ Heldebehel ダトデ、今食事ヲスル所ダカラ一緒ニ食ヘト云フ。ソコデ又 diokaing ト焼魚ノ食事。

ソレカラ一時間半モ Semdiū ノ話ガ、Dirridūhū, Merū-Belaū ノ話ガ出、二時頃散ル。

更ニ村ヲマハリシテ帰ル。

暮方サラサラト雨アリ、月〔小〕少サケレドアカルシ。石油ナクナリ、早寝トス。

五日 水 晴、雲稍多く、蒸暑シ、宵、ザット驟雨アリ。

早朝カラ龍登部隊ノ兵士入交リ立交リ、百八十名参観、Sebalノ弟来ル。放□送局駄目デ空シクカヘス。

午後、背腹痛ミテ絶エズ、晩亦、

中島(敦)君、今日ノ飛行機デ帰ッタトテ晩ニ来ル。

受信 中沢英子、湊菊之助、石川音次、榊原弘(マルキョク)、

○中沢英子(粉ミルク、シャツ)、渡辺信一(原稿用紙)

十□月二十八日 昨夜大分雨フリシ如シ、朝モサラサラト雨アリ、後晴、

朝 a Irrai ノ配給アリ、Hobak ト一緒ニ行キ、Hoiürang ニテ Holsahar 其他十円程買フ。十時ニハ帰ッテクル。十一時ニ早昼ヲスマセテ Hobak ト一緒ニ Ngetkip ニ出テクル。

一昨日来タ道ヲ Urüllah ニテ一休ミシ、Ngersar ニテハ Dôsüb ノ所ヲノゾキシモ、留守ナノデ ソノママ Ngetkip ニ入ル。一休ミシテ Sebal ノ所ニ行ク。Sebal ハ土産板彫ヲ作ッテ居ル。Ililao 来ル。Kikūo 来ル。

夕方、Kikūo ト水浴シテ帰ルト、Ililao ガ魚トバナナヲ持ッテ来ル。

夜、Sebal ガ迎ヘニ来、Ililao、Kikūo ト皆デ Ngirpkall 爺サンノ所ニ遊ビニ行ク。Teherakl ヲ求メニ行キシナリ。Horüsel ra mahel ノ a Kim 製ノ立派ナモノ。30円デ最近買ッタト云フノト、a nges ニシチュー筒ヲ巻イタ立派ナモノアリ。其他、Tühül ra Heliūs, Holiyehel a rūbak, Homisaūs l būūh 等ナカナカ細工好キナ爺ニテ、細々シタ Klalo ヲ沢山持チ居リ。

昼モ夜モ riammel アリ、今□最モ出盛リナリ。

十月二十九日 晴、朝バラバラ雨。

九時前ヨリ、一人デポツポツ Ngersar ニ行ク。村ノ手前デ Dôsüb ニアヒシモ、コレカラ畑ニ行クト云フ。□□□□□□□□ Beheriei, Tokürümel ノ所ニ行ク。Seū ト Horüseh ra kim ヲ得テ、昔ノ Hades ヲ上マデ上ッテミタガ、二軒新ラシイ家がアッタバカリ。オリテ来テ、Seū ヲカツイデ Ngürüleol 家ノ前ヲ通ルト、爺サンガボカントシテ居タノデ寄ッテミル。其ノ奥デ婆サンガ黙ッテ編物ヲシテ居ル。Mdehibelau ノ話、Ngersüül ガ Ngerbehedesao カラ追ハレタ話、Semdiū ノ話、昔 Ngersar ガ a Irrai ヲ merreeder シテ居タ話。今ハ Kūkaū モ少クテ、rišel □□ a kerekar (diokang ノコトヲサウ云フノ

ダ) バカリ食ハサレルト。婆曰ク、日本人ハ mellommes a rengül デ Uhülyangngas ニ
大キナ blil a helid (南洋神社) ヲ作ツタノデ、Belau ノ神様ハ逃ゲテ行ッテシマツタ、
ト。

一時頃帰ッテ来テ昼寝。風ダッテ涼シ。

私ハカンカント日ノ照ル、アケツバナシノ新道ヲボツボツト一人デ歩イタ。Ngürüleol
ノ爺サンハ問ヒモシナイノニ、Belau ノ üdoūd ハ七十ダト言ツタ。昨晚 Ngirpkall ノ所
デ色ナ話ヲシテ居タラ、Ngirpkall モ Belau ノ üdoūd ハ七十ダト云ヒ出シ、若イ者等
ノ間ニ、ソレガ、Bahal ダケノ事カ、Helbühüb ノコトヲ云フノカ、色々ト議論ガ出タ
ノダツタガ、Bahal ニシタ所デ、名モナイモヲ入レタヤ、七十ヤソコラデハ^底倒底アリ
得ナイノダカラ、ソレハ信仰ナノダ、üdoūd ノ神秘ナル「所以」ナノダト解スベキダロ
ウ。

アッチデモコッチデモ、山ヲ伐切シテハ片ツパシカラ火ヲカケテ居ル。

シナビタ婆サンガ一人炎天デ、芋ノ葉ヲ帽ニ被ッテ、竿ヲ突サシテ田ノボヲ作ッテ居
タ。

魚取りニ行クモノガナイノデ、沖縄ノ女ガ売りニ来ルノヲ買ッテ居ル。

夜、Ililao ノ所ニ行ク。ココデハ塩鮭ガ一本切ラレテ焼カレテ、十人ニモアマル家族
ガ一食ニスツカリ食ベテシマツタ。

Sebal ガ来、海軍ノ建築部ノ人が来テ、九時半頃マデ話シテ行ツタ。

月ガアカルク、夜ガヒソソリシテシマフ。月明リニ畑ニ仕事ニ出ルモノ多ク、Uldêkûl
モ十一時半頃ニナッテ畑カラ帰ッテ来ル。畑ハ先月末出来タ生産組合ガ、半強制的ニ奨
励シテ居ルノデアアル。

十月三十日 晴、日強ケレド風アリ、午後風強シ、

九時頃カラ裏ノ aked ニ登ッテミル。diong ノ上ノ所ニ、一部分デハアルガ貝塚ノ様
ニ貝ガ厚ク積ッテ居リ、其ノ向フ上ガ^壇雛段型ニナッテ居テ、モト家が沢山アッタトキイ
タノデ行ッテミタノダガ、貝塚ハ掘ッテモ掘ッテモ貝バカリデ何モ出ズ、上ノ雛台ノ上
モ僅カナ貝殻ト稀ニ hesülüh ガアルバカリ。其ノスグ裏カラ、ヒドイ奥マデ、Tapioka
トサツマ芋ガ植エラレテ居タガ、小サクデ^マ花ガ咲イテシマツテ居ル。新ラシク耕サレタ
地土ニハ hesülüh ガ殆ド全ク見当ラナイ。奥ノ方マデ思ハセブリナ aked ノ連続ニモ拘
ラズ。

即チ、貝塚ノ上ノ家跡ハ^内案^外新ラシイモノデ、上カラオリテ居タノデナクテ、下カ
ラハミ出シタモノデアアラウ。

午後、昼寝トロトロ、三時頃 Ngirmokūr が来テ話シテ行ク。
 昼モ夜モ魚ヒトツナク、貝ノ□罐詰ヲ買ッテ食フ。
 夜、Sebal, Ililao ト Ngirpkall ノ所ニ行キ、Horūsūh ヲ取ッテ来ル。

十月三十一日 晴、夕方雨アリ、
 朝、Sebal, Ililao 来ル。Ngirpkall ノ所ニ寄ッテ Teherakl, Tühül ヲ買ッテ、八時半
 ノ渡船ニ間ニ合フヤウニ波止場ニ出ル。清水丸デコロールへ出ル。
 Omtilōū ニ行キ、荷物ヲアツケテ、中食ヲ食ベテ、バスデ港橋ニ出テ、アラカベサン
 ニ行ク。清サン、今日ハ暇デ家ニ居、コーヒー、コーヒー、ソレカラ、鶏肉デ腹ヲフク
 ラセル会。宿ル。

十一月一日、晴、
 終日プラプラ、子供ト遊び、昼寝ヲシ、夕方皆デ海ニ入ル。

十一月二日、晴、
 朝九時頃、清サンノ所ヲ辞シ、アミヨンスへ歩イテ出ル。Baūdong ニ一寸逢ッテ、後
 ニ戻ルツモリデ、高松君ヲ訪ネ、役所ツトメノ交渉。一時ノバスデ真直グ Omtilōū ニ行
 ク。誰モ居ズ、荷物ヲモッテ帰ッテクル。
 夕食後、熱生ニ行ク。久保田君来テ居ル。辞シテ、課長ノ家ニ行キシモ留守。

^[断編]
 「青蜴ノ夢」へ、
 ソノナンデモナイヒト時³⁰⁷⁾ノ話ヲシヤウカ
 アケツパナシノア・ケツノ
 コレカラヂキニ降りヤウトスル上ノ所ニ
 一本ノマンゴーノ木ガアル
 アマリ大キクハナイケレド
 ヨク茂ツタ、ソノマンゴーノ木ノ下ハ
 深イ青草ガシゲッテ居ルノデ
 長イコト蔭モナイ日ニ照ラサレテ
 歩キマハッテ——風ハノベツニ吹イテ快カッタケレド
 額カラタラタラト流レル程汗バンダ私ハ
 コノ深イ蔭ノ青草ノ上ニ
 ベッタリト寝コロビ
 帽子ヲトッテ頭ノ下ニカッテ仰向ケニナッタ
 私ノ上ニマンゴーノ葉群ハ

マンゴーノ葉群ハ
□□□□□□□□真夏ノヤウニ□堅クナッテ茂リ
私ノ上ニ青イ高イ空ト
ホントニ軽々ト流レ飛ブ白イ雲トハ
秋ノヤウ
ソシテ風ニユレルマンゴーノ茂リヲ通シテ
キラキラト光ル光ハ
ソレハ季節ヲヌキニシタ
爽ヤカナ明ルイ朝ノ光ダッタ
私ハソノ中ニ私ガ深々ト埋マッタ草ノ実ノ
私ノ両側ニ揺レ動クノヲ感ジ
耳ニマンゴーノ堅クナッタ葉ニ
サラサラト風ノ鳴ルノヲ聞キ
目ニ高く、遠ク澄ム青空ヲ
ソノ青空ニ静カニ現ハレテハ
実ニ軽々ト私ノ上ニマデ流レテ来
更ニ軽々ト流レテハ
何処ヘヘカ消エテユク白イ雲ヲ
ヂット見ツメテ居ルノダケレド
心ハウットリトシテ
私ガ今カウシテ寝コロンデ居ルノハ
南洋ノパラオノ
人モ居ナイ高イ ア・ケヅノ禿山ノ一隅ノ
—— ソンナ一切ノ時ト所ト
一切ノ事情トマタ「ワケ」トヲモ忘レハテテ
風ガ甘ヤカニ私□ノ皮膚ヲ撫テ続ケテクレル間ニ
私ハ白日ノサナカニ、覚メナガラ生き生キト
感覚ヲ超エタ情緒ノ夢ヲ見テ居タノダッタ
一羽ノア・ヅヅクガ真白イ体ニ
真白ナ尾ヲナガクナガクヒイテ
□翼モ動カサズ飛ビ過ギタ
「アノ時」ト私ノ心ガ思フ
モウ古ク忘レハテタ——
時日ヲ置キザリニシタ「アノ時」デアル
黒クテ艶々シタ土人ノ娘——
ツレイノ顔ガ見エ

黒イ顔ノ中ニ青イヤウニ白イ大キナ眼ガウルミ
島民ラシクナイ薄イ唇ガ
湧キ出テハヤマナイ情想ニ
押シ流サレルヤウニ性急ニ動イテハ
コボレル□笑顔ノ中ニ溶ケ込ンデユク……
アソコモマンゴーノ木蔭ダッタ
古イマンゴーノ大木ガ二本並ンデ居テ
其ノ蔭ガ草原ヲ紫ニシテ居タ
眼ノ下ハ静カナ岩山ニ囲マレタ
湖水ノヤウナ海ダッタ
私達ハイツデモ村ハヅレノ其ノ紫ノ草原デ
サウシテ草原ニ寝ソベッテハ取りトメモナイ話ヲ
イツマデモ喋り合ヒ、或ル時ハ只々
二人デサウシテ居ルダケデ、モウ話スコトモナク
青イ空ヲ 又空ニ浮カブ白イ雲ヲナガメテ
時ノタツノヲ忘レタガ
アノ時モ時タマ ア・ツヅクガ
白イ尾ヲ長クヒイテ高イ空ヲ静カニ飛ンダ
ダカラ今モ私ハ斯ウシテ思出スノダガ
ア、アノ長イ長イ年月ノ
ホントニ氣ノオケナイ友達ダッタ二人ガ
或ル時、トウトウ友達ノ堤ヲ乗り越エテシマッタ
アノ時ハ—アケツパナシノ、明ルイ光ノ
青イ空ノ、紫ノ蔭ノア・ケツデハナクテ
マダ太キキラナイ若イ月ガ傾イテ
降ルヤウナ星ノ、魔ノ静寂ダッタ
空氣ガ海ノ底ノヤウ□ナ色ニ淀ンデ
二人ノ幸福ヲジットリト包ミ
二人ノ悲哀ヲ甘ヤカニ慰メ
二人ノ亢奮ヲ耻ヂラヒノ節度ニ引戻シタ
遠イ岩山ニ銀鳩ガ鳴クト
静ケサハ堪エ入ルバカリ深クナリ、
恐レニサヘ似テ心ガフルエタ
二人ノ息ヅカヒガ
熱ノ高イ病ヒノ耳ニ鳴リ響ク耳鳴リノヤウニ

アタリノ静ケサカラ浮ビアガッテ
ヤルセナク、切ナクナッタ心ニ

□□□□□□□□□□□□□□□□

□□□□□□□□□□□□

□□□□□□□□□□□□□□□□

満チ足リタ陶酔ノ中ニ
何ヤラ小サナ悔イノヨオナモノヲ被イ隠シテ
不思議ナ無感覺エト 放心エト
何ヤラ底シレナイ深ミエト落ちコンデ行クノダッタ……

六日 木 晴，昼驟雨アリ，

朝，大平君カラ電話デ，八日カラ中野氏ヲアルコロンニ案内シテクレト云ツテクル。
午後，太平洋協会ノ中野弘氏来テ三時半マデ話シテユク。

受信 竹下源之介（著書出版勧誘），稲 喜藏（トラック）

七日 金 晴，昨夜豪雨アリ，明方モ亦暫ク雨アリ。

朝，高松君，履歴書ヲモッテ来ル。午後，文協へ原稿ヲトドケル。太平洋協会ノ中野君ノ案内ニツイテゴタゴタシ，不愉快ダツタガ，結局引受ケ，スケジュールヲ立テカヘル約束デ，明日ノ出張ヲ引止メテ，中野君ト塾生ノ宿舎ニ行ク。中山博士ニ会ヒ，日暮レテ帰ルト，中島（敦）君ヲ呼ンデオ茶ヲイレ，話シテ居ルト，福永君カラ電話ガアッテ，予定通り明日出張シテクレト云ツテクル。デ，中島君ガ帰ツテカラ八時過ぎニ，モ一度塾生ノ宿舎ニ行ク。加藤君ト松井君ガ居タガ，松井君ハ先キニ寝テシマフ。加藤君ハ今度，武官ト内務部長ノ支援デ所長宿舎ガタチ，研究所ガ改造サレルコトニナリ，□設計ヲ任サレテ一生涯懸命ダツタ。誠ニ近頃胸ノスク美談デアル。

八日 土 晴，昼頃カラ一時間程雨，

朝早く，阿久津君ノ所カラ鍵ヲトツテ物陳ニ行キ，リュックサックヲモッテ来テ荷物ヲトノヘ，食堂カラ，米，味噌，塩等貰ツテ，コロール波止場ニ行ク。Homtilouノ前デ Kisaül ニアフ。此ノ船デ Ngerdmao ニカヘル由デ，Dembei ノオートバイガ来テ居タノデ荷物ヲタノンデ，ポツポツ歩イテ行ク。九時前ニナツテ中野君，阿刀田君，松井君来ル。九時過ぎチチブ丸デ出発。アルモノグイカラガラスマオ迄雨。

二時過ぎオコトル着，村吏事務所ニ入ル。巡査居ズ，タンクハコワレ，菜モナシ。湯ダケ沸カシテミルクヲ飲ミ，一休ミシテ四時過ぎカラ皆ヲ Bad l Urūhāu ニ案内スル。帰ツテ来ルト□飯ガタケテ居ル。何モナクテパイヤノ味噌汁ナノデ，罐詰ヲアケテ食事。

〔欄外に記す〕

〔アルコロン、ガラルツ、ガラツマオ〕

夜、Ngabei, Ibūkūl ノ方マデ歩イテ来ル。九時前帰ッテ来ルト、蚊帖モナク、布団モ一枚シカナイ。遅クマデ島民ノ酔バラヒ達ガ罵リ合ッテ居ル。

九日 日曜日 晴、朝雨アリ、午後亦雨アリ、

朝七時ニハ食事シテ、八時ニ Ngarard 向ケ出発。Yaichi ノ所ニ行ッテ散々小言ヲ云ッテ出発。早朝雨が降ツタガ、直キニヨク晴レル。イツモノaked 道デ又バラバラト来タガ、コレモ直グ止ム。八時半ニハ a Hôl ニ着キ休ミ場デ休ミ、小供達ニ椰子ノ実ヲトラセル。九時過ギテ出発。汐ガイッパイデ海岸ヲ歩クコトが出来ズ。十時半 a Urang ニ出ヤウトスル山道ノ手前デ一休ミ。十一時ニ出カケ Halap ノ石段ヲ上ッテ、荷物ヲオイテ部落ヲ一週スル。Sokôl 爺サンノ所デ Ana ニ逢フ。Rüema ガ死ンデシマッテ、Ana ハ父ノモトニカヘッテ居ル由。昨日 Bad r Urūhaū ノ道デ逢ツタ男ニ、Moros a Bodol ニ言伝ヲタノンダラ、Moros モ五月ニ死ンデシマッタ由、Rüema モ Moros モ肺病ナリ。島民労力が極度ニ□強制的ニ要求サレル此ノ頃デハ、弱イ人間ハ皆参ッテシマフラシイ。二人トモヨイ人間デアリ、若クッタノニカワイソウナコトヲシタト思フ。

十二時ニ Ulimang ニ入ル。佐藤校長ガ来テクレ、中食用意ヲヒキウケテクレル。

校長ノ所ニ行キ、一時半頃中食、後入浴サセテ貰ヒ、四時迄モ雑談。日曜日ノ学校子供達、十人バカリモ女ノ子達ガ遊ビニ来テ居タガ、縄飛ビヲシテハ、暑クナルト素裸ニナッテ池ニ飛ビコンデサワギチラシ、又上ッテ縄飛ビヲハジメル。此ノ間ニモ一雨降ツタガ、彼女等ハ平気デ遊ビ、又裸ニナッテ池ニ飛ビコム。誠ニ盛ナ訓練デアル。

南賢ハイツノ間ニカ引上ゲテ、家モクヅシテ持ッテ行ッテ跡カタモナイ。共販制ガ出来テカラ、罐詰類ハジメ食料ガ手ニ入ラナイノデ、島民相□手ノ店ハナリ立タ□ナイノデアル。

四時過ギ、天野デ僅カニ鯨ノ罐詰ガアッタノデ、ソレヲ買ッテ Ulimang ノ裏カラ Ngabūkd ニ入ル。Sirô ノ所ニ行ツタラ、Halap ニ移ツタ由デ、爺サン、Rekesengngel ト Urīk トガ居タガ、大キナパイヤヲ割ッテクレル。Urīk モ子供ガ生レテ、モウシツカリシテ居ル。

Bai ニ登□リ Mad ノ所ニ行クト、一人デポカント座ッテ居テ例ノ如ク、何モナイ、何モナイト恐縮シテ居ル。ソシテ正月ニハ豚ヲ殺スカラ、キツト来テクレト何度モ繰返シテ云フ。裏ニ出タラ、Ngerngī ニ Dira Tūblai ガ居テ、又大キナ声デ大變ナオ世辞ヲフリマイテヨコス。ソレカラ Halap ノ Meseiyō ニ行ツタガ、Sirô モ Umai モ留守ダ。待ツウチニ Sirô ガ帰ッテクル。ongraol ヲ探サセタラ、ソコヘ Emiko ガヒョッコリヤッテ来ル。Ulimang デ Tereeked ヲ探シタラ、Halap ニ移ツタト云フコトダッタノダガ。Emiko ノ所ニ Kūkaū ガアルト云フノデタノム。Sirô ノ所ニ Diokang ノ煮タテガアッタノデ、Emiko ガ村ヘ行ッテ、Kūkaū ヲ持ッテ来ルト——Umāi モ赤子ヲツレテ帰ッテ

来タ——皆デ賑カニ夕食。八時過ぎ Ngesang ヲマハッテ帰ル。

ソレカラ皆ガパラオノ歌ヲ教ヘロト云フ。隣リニ来テ居タ江藤君モキテ、十一時迄モ皆デ歌ッテ居ル。

十日 月 昨夜半カラ止ミ間モナイ雨ガ朝マデ続ケザマニ降ッテ居タガ後止ム。昼頃マタパラパラアリシモ、後晴レル。

一昨日ノ bilas ハカヤンガル行キダッタノガ、急用デカヤンガルニ行カズニ、昨日ノウチニコロールニ引返シテシマッタ由デ来ナイ。江藤君ヲノ頼ンデ置イタカヌーモ無イ由ナノデ、午後雨が止ンダラ、皆デ Ngerdmao マデ歩コウト話シテ居タラ、雨モドウニカ止ミ、ソコヘ Kloū l taoh カラ舟ヲ出スヤウニ使ヲ出シテオイタカラ、ソコマデ歩イテクレト云ッテ来タノデ、急ニ皆デ Tūdong ヲ案内ニ山越エスル。江藤君等ガ今日ノウチニコロールニ帰ルト云フノデ山道ヲ急行、十一時ニ Kloū l taoh ニ入ル。

Ngarmedei ノ Hedēs カラ上ッテ、aked ヲ登ッテ登ッテ、ソレカラ急ナ下リ道ヲ迂ルノデ、走ルヤウニオリテ オリテ、Dosongong ノ Hedēs ヲ曲リ曲リ、Ngerkesang ノ旧村ニ入ッテ、一軒ノ家ニ巡リツイタ時ハ、グッショリ トシボル様ナ汗、背中ガ痛ミ出ス。Markesang カラノ使ナド来ナカッタ由。七人ノオ客ニ□驚イテ居タガ、結局二艘ノ舟デ送ルコトヲ承知シテクレル。ソレカラ一休ミシテ、taoh ニオリルト、Ana 達が居テ伐切シテ居タガ、其処ノ仮小屋ニカヤンガルノ Mad ヲ年寄ラセタヤウナ、Ulimang ノ Mad ヲ若クシタヤウナ男ガ居テ——彼ヲ私ハ忘レテ居タガ、彼ノ方デハ私ノコトヲヨク知ッテ居タ——Markesang ノ仕打ヲヒドク憤慨シテ Tūdong ニ長イコト食ッテカカッタガ、結局私ニ愚痴ヲコボシコボシ、椰子ノ実ヲ取ラセテ皆ニクレ、舟ヲ出スコトヲ承知スル。

十一時四十分、カヌー一艘、沖繩舟一艘デ出、Ngesebei ノ taoh マデ送ッテ貫フ。歩イテ三時前、アルミノクラブヘ入ル。

背中痛ンデ堪ラズ寝コロボ。三人ハ工場鉦区^学□見学ニ出テ行キ、五時半ニ帰ッテクル。風呂ヲ浴ビ、夕食ニハ新海氏ノモテナシデビールヲ馳走ニナリ、十時広々トシタ蚊帖、畳ノ上ニ就寝。一昨日ノ Mangallang ノ夜、次ノ昨夜ノ、今夜ノ、尻上リノ出世ナリ。

十一日 火 晴、昼スコール。夕方ヒドイ スコール。

朝、中川氏来談、駐在所ヘ島民踊ノ依頼。

午後一時、国民学校ニ出シテクレル由ダッタノデ、九時過カラ皆デ島民部落ヲ一マハリ、十一時半ニ帰ッテ間モナク中食ヲスマセ、一休ミシテ学校ニ行ク。小野巡查モ来テ居リ、□新海氏、中川氏モ見エテ、一時ニ踊ガ出ル。mahas 団ノ ngloik ト女子青年団ノ matomatong。

直チニ学校ヲ辞シ、汐ナクテ船ハ新ラシイ波止場ノ先キニアル由デ、皆デ歩イテ行ク。

二時発、三時半アルマテンニ寄り、六時五十分コロール新波止場着、家ニカヘッテ紅茶ヲ入レテ呑ムト、阿刀田君ガ来ル。一緒ニヤキトリヤ、大平、白石、村山一行ニ行キアヒ、皆デパレス。

十二日 水 快晴、暑、

朝、秘書課へ行ッたら□出張命令ガ出テ居ズ、商工課デハ知ラヌト云フ。関君ニキクト、地方課長ガ旧慣調査費カラ出スコトヲ承知サレタノダト云フノデ、地方課カラ出張命令ヲ出サセルコトニシテ来ルト、アトカラ藤本君カラ電話デ、旧慣調査費ハソックリ年末賞与ニマハッテナイノデ、結局商工課デ出シタ由、不愉快ナルコトナリ。

朝、高松君来ル。昨日カラアノ宿舍ヲ陸軍ガ来テ片ッパシカラコワシニカクツノデ、今日 Oreklil ノ家ニ引越ス由。吉本君ヨリ手紙アリテ、大体ノ話ハマトマリシ由。

午後、宮地宮司タヅネテ来ル。東へ出張スル由デ、島民ノ神、信仰、キリスト教ノコト、宣教師ノコト等、四時迄尋ネ尋ネシテ帰ル。

夜、水曜会、熱研□熊沢氏ノ昆虫ノ話、江川氏ノハルマヘラ漫談。

後、緒方武官ノ所ニヨリ、十時半迄。

受信 和田清治

〔欄外に記す〕
〔季〕

先々月頃ヨリ、マンゴーノ花ギッチリツキ、本年ハ特ニドノマンゴーモ花多ク、ハジメノ実ガツイテカラモ、先月イッパイ、アトカラアトカラ花ガ出テ居ル。

先月 Riamml ノ実盛ニアリ。

先月ヨリ今月ニカケテ、Holik、Belohol ノ最モ脂ノノル時季ニテ Irrai、Imilik ノ者等、sikero ヲ用ヒテ盛ニ Holik ヲトル月ナリ。

十三日 木 晴、暑、

本年ノ物産陳列所ノ議会説明資料提出。

午後、昨日ノ電話通り、国際無線ノパラオ支局長、伊与木氏が全常務取締役ノ黒岩氏ヲツレテ来ル。一緒ニ出カケヤウトスル所ニ、中山博士ガ見エタノデ一緒ニ誘ッテ、バイニ行キ、後アルミツ部落ニ行ク。帰りホテルニ寄ッテサイダーヲノミ、車デ送ッテ貰フ。南賢デ佐伯君ニ逢フ。黒岩氏カラモ、中山氏カラモ、島民料理ノ斡旋ヲタノマレテ居ルサウデ、一緒ニスル様ニ日取りヲ相談シテクレト。

夜、市川君ガ来テ話シコンデル所へ中島（敦）君ガ来テ、パラオノ話ヲ求メル。

後、Maria、Kodep ヲツレテ九時頃ニナッテ来ル。

消燈前、阿刀田氏酔ッテ来ル。酒。阿刀田君宿ル。

十四日 金 夜明前雨，朝止ミシモ，九時頃ヨリ又ショボショボト雨ニナリ，昼前マデ降ル。後晴ル。

加藤君（生物）カラ電話デ，中山，中野ハ十八日ノ晩ガ都合ヨキ由，国際電線側モ十八日ナラヨキ由デ，佐伯君ノ所ニ電話シテ，十八日ノ夜，皆デ行クコトニキメル。

午後，警務課長ガ拓務省ノ事務官ト云フノヲツレテ来ル。須藤巡查モ共ニ。

拓務省ノ事務官ト云フハ説明モロクロク求メズシテ，土産物ヲクレト云フ。参考品ヲ出シテ，後デ似タモノヲ買ッテオケバイイダロウト云フ。イヤラシキ限りナリ。断ル。コンナノガ居ルカラ，宇野君ノ時ニ参考品ガ沢山入カハッテシマッテ，台帖ニノッテ居ルモノトハ似テモツカナイ品ガ入ッテ居ルノダ。^{〔泰〕}吉本君ナドモヤッタニチガヒナイ。

夜，家入君ガヒョッコリヤッテ来ル。二人デ合成酒ヲ酎シテ飲ム。

軍部ト，郷軍官庁分隊，会社分隊ト合同デ攻防演習，明日ノ昼頃迄ノ由。

十五日 土 終日雨降り，時々止ミ間アルノミ，^{〔夕〕}曇方ヨリ後ドウニカ降ラズ，

午後，□物陳ニ行カズ，山口君，家ニ来テ夕方マデ居ル。夕食後雨止ミシカバ，商工課長ノ所ニ行キシモ，コレヨリ女子ノ水泳講習ニ出カケル所ナレバ，明日オ待チストノコト，一度家ニカハリ，Mariaノ所ニ行ク。パラオ語，受身ノ形，釈然トセズ。

ガラスマオヨリシーサンガミカンヲ届ケテヨコシ，キサウルガサトウキビヲ届ケテヨコス。

消燈後，阿刀田君□酔ッテ来テ泊ル。

〔発信〕 和田精治^{〔清〕}，稻喜蔵（トラック），中沢英子，渡辺信一，新海（ガラスマオ・アルミ），中川（ガラスマオ・アルミ），水野巡查（ガラスマオ），杉浦健一〔航空〕——（図集図書名問ヒアハセ）

〔受信〕 殿木栄一郎，八幡一郎ヨリ「パラオ伝説集」原稿返送，民族研究所ヨリ「サトワル葬儀」抜刷 25 部

夜，背中痛ミテタヘズ，

十六日 日曜日 晴，

阿刀田君カハリ，九時ノ渡船デアラカベサンノ清サンノ所ニ行ク。不在，昼前帰ッテ来，一緒ニ中食，一時半ノ船デ又出テ行ク。

コーヒーヲ^{煎ッ}□□イッテ引イテ，^{寝イ}□□昼寝シテ，——陸ハン，時ハン遊ビニ来テ——五時ノ船デ帰ッテ来ル。

夜，商工課長ノ所ニ行ク。

物陳ノ説明書ハ□□吉本ガ簡単ニ書キナホセシ由，物陳ノ物陳トシテノ開発性ナシ。^{〔民〕}「国族研究所」案ハ「旧慣其他調査費」ヲフリカヘル形式ナラバ望ミアラントノ由，ソノ

様ニカヘテ出セバ、出来ルダケ支持セントノコト。

即売計画ト水産試験所ノ試製品提供案。但シ産業協会トシテ計画スベキコト。高松君ノ申請ハ既ニ□拓殖部長ノ判モトリテ、出テ居ル由。

相変ラズ奥サンモ久チャンモ居テ、十時過ギマデ話シテ来ル。

受信 羽根田弥太ヨリ「自著抜刷」十篇ホド、

十七日 月 晴、稍雲多シ、

部長ノ本島行キニ就イテ、南貿ノ都合ヲキイテ来ル。午後、本庁ニ行キシモ課長ニ合ハズ、午後帰りニ再ビ本庁ニ行キ、課長ニ会フ。

受信 「太平洋」十月、十一月号、

等々力栄（読売）、八幡一郎、沢田収二郎、佐藤キク子、泉井久之助（二通）夜、Maria ガ来タガ、暫クシテ栗山、家入君ガ来、阿久津君ガ来テ、十一時前マデ過ギテシマフ。

十八日 火 早朝ト九時頃ヨリト雨アリ、午後亦一時間余雨アリ、

昼前、土産作り^{ママ}の伊藤君ガヤップカラ出テ来タトテ来リ、土人形ノ即売会ヲシタキ由、□産業協会ノ支援ヲ得度キ由ニテ、商工課長ニ紹介スル。

午後、早メニ帰り風呂ヲアビテ、五時ノ渡船ニ乗ルツモリテ出ル。中山氏、中野氏、阿刀田氏、ソレカラ黒岩氏、伊与木氏ヲ島民□食ニ招待スル約ナリ。

清サン、陸男サンノ所ノ総勢ト波止場デアフ。オ寺ニ行キシ由、中山、中野、阿刀田氏モ来テ、皆デ五時ノ渡船テ渡ル。黒岩氏等アトカラ車テ来ル。例ノ如ク Oreklil ガ島民食ノボックスヲ届ケテ来ル。

食後、蓄音器。伊与木氏等九時過ギ帰り行キ、中山氏ヲ十一時ノ渡舟^船ヲ待チシモ故障シテ出ズ、サンパンデオクル。

十九日 水 晴、

朝八時過ギ、渡船ガ来タノデ出テクル。

午後、アルミニウムニヨリ、沼田氏ニ部長出張ノ件。

夜、水曜会、南貿ノ山崎軍太氏ノ南太平洋ノ話。

阿刀田君来テ宿ル。

二十日 木 晴、夜雨盛ニアリ、止ンデハ降ル。

阿刀田君ニ、「パラオ伝説集」ノ原稿ヲ持ッテ行ッテ貰ッテ物陳ニ行キ、昼前、熱生ノ宿舍ニ中野君ヲ訪ネテ、原稿ヲ竹下源之介君ニ届ケテ貰フ様ニ頼ム。熱生テ皆ト一緒ニ

食事シ、頼マレモノノスケッチヲ買ヒニ五丁目マデ行ク。

夕食後、食堂ノ夫婦ト中島トデ榮寿司デビール。Maria ラスッポカシテシマフ。中島君、後來ル。

昼前、家入君来テ、神社ニ鉄木ヲ取りニ行ッテクレルト云フノデ、宮地サンノ所ニ電話スル。晩ニ帰ッたら家入君ガ鉄木ヲ届ケテ置イテクレタ。

受信 太平洋協会——太平洋圏學術叢書執筆依頼、

二十一日 金 晴、雲多ク二三度小雨アリ、風ナクテ蒸々ト苦シ、

朝、武官ヨリ電話デ見セ度イモノアリト云フノデ行ク。大キナ ongall ナリ。其他ボナペヨリ持来リシト云フ、ジョカージ事件当時ノピストル、大砲ノ弾ノ破片等。

午後、理髪シテオソク行クト、高松君来テ居ル。

昼前、中山氏、中野氏、今日ノ船デ帰ルトテ挨拶ニ見エル。

夜、電燈ヒドク暗シ。

今日ノ飛行機デ久保田君帰り来リシ由ナルモ、マダアハズ。

夕方、野元氏ノ所ヲタヅネル。

二十二日 土 晴、

阿久津君帰ッテクル。家入君来ル。

午後、久保田君ト一緒ニ行キ、結局四時ニ一緒ニ帰ッテクル。朝電話デ、画壇ノ集リヲ四時カラ南貿デトノ事ダッタノデ行ツタガ、五時ニナッテ七人集ッテ、六時十分過ギマデ。

生物カラ電話デ、久保田君ヲ慰メル会ガ六時カラダッタノデ、ソノママ生物ヘ行ク。加藤、阿刀田、松井君ト山口君、久保田君デ、阿刀田君ノカレー シチューガヒドクウマク、鶏二羽ノヂャ鍋ト油鍋デ会食、十二時迄話ガハヅンデ、皆宿ル。

二十三日 日曜日 晴、午後一時過ギヒドイ驟雨アリ、

朝食——但シ自分ハコーヒーダケ飲ム——後スグ帰り、原稿書キ。午後一時半ノ渡船デ清サンノ処ヘ、三時半ノ渡船デ清サン帰ッテクル。

油ガナクテ鯉船ガスッカリ止ッテシマ□ッタ今、二艘ノ船デ毎日大漁続キ、今日モ三千二百貫上ッテ居ルノデ、下デハ大童ナリ。

夜、工場ラーマハリ見テ、十一時半就寝。

二十四日 月 晴、午後ヒドイ驟雨、夜マタ雨ニナリ、降ッたり止ンダリ。

金子君カラ送り返シテ貫ッタ板影ガ来ル。

□^夜午後、南拓ノ清吾サンガ来テ三時迄、三時商工課ニ行ク——電話アリシナリ。——
瀬尾君ノ送別会、皆テ南洋神社ニ参リ、帰ッテ日本テ送別会。七時過ギニハ開ケ、後
Mariaヲ尋ネシモ留守、栗山ノ処ニ行ク。家人、吉村君来テ居ル。風呂ヲアビテ雨ノ□^降
止ミ間□ヲ家人君ト家人君ノ所ニ行キ、十時ニ帰ル。

午後、雲重ク蒸々ト風ナク、背中痛ム。

二十五日 火 曇、後漸次晴、

夜、Omtiloūニ行ク。

文協へ、「パラオ島民ノ暦」原稿³⁰⁸⁾ヲヤル。

二十六日 水 終日^[止]降ミ間モナク降りテ寒シ、

午後、行カズ。

夜、水曜会ニ行ク。今日ハ□^部堂本部長ノ話ダッタノデ、中村司令官ハジメ海軍ノ方ニ
モ新顔多ク、地方課長モ来テ居タ。

部長ノ話ハ今度ノチモールデノ日、葡——チモール、東京間定期航空ニ関スル条約協
定ヲ中心ニ、チモールノ情態ヲ話サレタモノデ、非常ニ興味アリ、有益デモアツタ。

九時散会后、加藤君、久保田君トヤキトリニ行キシモヤッテ居ラズ、ギオンニ行キ、
後皆デ家ニ来ル。十二時半マデ飲ミ話シ、久保田君泊リ、加藤君帰ル。

二十七日 木 朝カラ夕方マデ幾度トナク雨アリ。

日モ照リ、又雨降り、蒸々トシテ、ケダルクネムタキ日。仕事ハ一向ハカドラズ。

夕食前、ヤキトリニ久保田君ト行キ、夕食後、久保田君一緒ニ来テ合成酒、久保田君
ハ勞レト酔トニテ九時前ニ寝テシマフ。

二十八日 金 終日雨降ッたり止シタリ、

背中イタシ。急ニ田山サンノ官舎ニ引越スコトニナリ、午後山本君ニ来テモラッテ移
ル。久保田君、中島君来テ手伝ッテクレ、後山口君来ル。夕方熱生ニ一寸行ク。

二十九日 土 晴、

^[欄外に記す]

〔陸軍ノトラック司令官一行、龍登部隊長案内デ来ル。〕

豚肉ノ配給ニアリツキ、一升壺二本サゲテ、久保田、山□口君ト熱生ニ行ク。引越祝
ヒノツモリナリ。盛ニチャチャ鍋シテ、七時半ニ加藤君ト二人テ堂本部長ノ所ニ行ク。
ビールヲ馳走ニナッテ、十時マデ話シコンデ帰ッテ来ル。加藤君ト又酒、十二時半ニ加
藤君帰ルト、丹羽ガ酔ッテ来テ、又ヴェランダデ朝ノ三時迄。

三十日 日曜日 晴，風アリテ涼シ，

昨夜ノタタリデ起キル気モセズ，背腹イタミテ，寝テ居ルト十時ニ阿刀田君来ル。ホントニ一日グズグズシテ，阿刀田君ハ五時半ニ帰ッテ行ク。

南洋画壇ノ展覧会ガ明日カラデ，今日ガ飾ツケナノデ，夕食後，彫刻□ヲ二枚ッテ行ッタ処，日曜ナノデ南賀ハモウシマッテシマッテ居ル。

木下君ノ処ニモチコミ，上リコンデビールヲ馳走ニナッテ九時迄。

紙切レヨリ

✓常夏ノ夜半更ケニケリ

置クツユニ

名モナキ蟲ノ啼キモアカズテ

✓ソビエタツ椰子ニ静ケキ月ノ光

間ナク降ル如キソノ月ノ光

✓灯 (□アカシ) 少ナクマンゴーノ並木ニ月高シ

アスファルトニマンゴーノ並木ノ影□ハユルガズ

私ト Mehelings ト

a Bai ノマドロミカラ覚メルト

a Taoh ニヒタヒタト潮ガ上ゲ

夕暮前ノ風ガ寒イヤウニ涼シカッタ

十二月

一日 月 晴，午後四時頃ヨリ雨，降ッタリ止ンダリ，遅ク晴レテ月明ルシ，

朝早ニ榊原君来，昨日マルキョクヨリ出テ来タ由，十時ニ尋ネル約束シテワカレル。

九時半，支庁ニ行き家入サンノ所ニ行ッテ水道ヲ申込ミ，新聞社ニ行ッテ森田氏ニ会ヒ，榊原君ヲ尋ネテ絵ヲ見セテモラヒ，南□^賀洋画壇ヘノ出品画ヲ二枚モッテ二人デ南賀ニ行ク。榊原君トワカレ，内務部長ノ所ニ絵ヲ貰ヒニ行き，部長ト渡辺君ト一緒ニ南賀ニ行ク。

中食後役場ニ行ッテ移転届ヲシ，役所ニ行ッテ，区長ノ飯田君ノ所ニ届ケテクル。

生子サンニ電話シタラ，明日本島ニ行クカラ今日来テクレトノコト。トコロガ何度電話シテモ，カンジンノ榊原君居ズ。

五時半過ギテ武官ノ所ニ行ッたら，二人デ食事ニカカッテ居タノデ，一緒ニ一寸話シ

テ後、武官ノ自動車ヲ出シテ貫ッテ、途中栗山君ヲ拾ッテホテルニ行ク。食後皆デ更ニ生子サンノ家ニ案内サレ、御馳走ニナル。下出サンモ呼バレ、十時過ギマデ。雨盛ニアリシモ、帰ル頃ニハ止ンデ月明ルシ。

二日 火 晴、

〔一雄〕

高松君、昨日辞令ヲモラッタ由デ、今日カラ出勤、但シ当分商工課勤メ。

午後、榊原君来、阿刀田君、松井君来。

夕食後、一寸展覽会場ヲノゾキシモ誰モ居ズ。帰ッテ少シばかり落ツイタ気デ机ニ向ッタガ、腹□一□腹ト云フ頃ニ家入君ガヤッテクル。九時ヲマハッタ頃ニ榊原君ガ来、武官ノ所デ大変ナオ客サン達デ、土方ヲ呼ンデ来イ呼ンデ来イト云フノデ来タト云フ。暫ク話シテカラ九時半過ギテ一緒ニ武官ノ所ニ行ッタガ、今ヲタケナハ？デ、エライサワギナノデ、又榊原君ト一緒ニ引返ヘス。十一時前ニナッテ加藤君ガ酔ッパラッテ松□井君ヲツレテ来テ、コーヒーヲ入レロト云フ。電気が消エテ榊原君ハ帰ッテ行ッタガ、加藤君達ハソレカラ三十分モタッテ帰ッテ行ッタ。床ニ就イテ、ウトウトシタラ、今度ハ久保田君ガタッチャント云フ人ヲツレテ来タト云フ。コレモ酔ッパラヒ。

三日 水 晴、夕方ヨリ夜ニカケテ雨降ッたり止ンダリ、晴レテ暑シ。

軍艦ガ入ッたらシク、朝カラ沢山ノ水兵ガ上陸。但シイツモノ様ニ自由上陸デナク、マダライノ広場ニ天幕ヲハッテ休マセ、物陳ノ裏デ風呂ヲアビサセルダケ。従ッテ朝カラ夕方マデ、物陳ハ入交ハリ立交リ水兵サンデイッパイ。

夜、水曜会、下出サンノ燐銃ノ話。帰り武官ノ所ニ行キ榊原君ト話シ、九時半頃帰ル。

四日 木 朝カラドンヨリト曇ッテ居タガ、間モナク雨ニナリ終日降雨、実ニヨク降ル、

今日モ水兵サンノ^陸□□上陸。

夜、電気が消エル頃ニ、阿□刀田君来テ宿ル。

五日 金 朝ハ怪シゲニ曇リシモ後晴ル、夜一時雨アリ。

相変ラズ水兵サン上陸、但シ陸戦隊員ニテ、陸軍ノ如シ。御用船ニテ来リシ如ク、洗濯物ヲ皆カカヘテ来テ洗ッテ行ク様、マコトニ氣ノ毒ナリ。

夕方五時、南洋画壇ノテンラン会ノカタヅケ。人集□ラズ。内務部長ダケ早々見エシラ、パレスニ案内ス。本願寺ノ北条氏、中垣氏、田村氏、浅野氏ノミ、下支庁長、高橋女学校長、林君、大門君、高橋君、木下君ラ来ル。中垣、田村、浅野君ノコリ、「日本」ニ行ク。九時半帰ル。

毎日実ニ毎日何かカニカアルナリ、閉口ナリ。本当ニ閉口ナリ。

六日 土 晴ル，朝□曇リシモ後，スバラシク晴ル。

今日モ水兵サン隊，沢山上陸，今日ハ水兵サンデハナクテ拓殖義勇隊デモアルカ，昨日ノ陸戦隊ト同ジ様ナ服装ナレド，訓練ヲ経タル本物デナイコトハ一見シテワカル。時間ヲ二十分ツツニ限りテ交ル交ル水ヲ浴ビルサマ，手ニ手ニ飯盒，ヤカン等ヲ持ちテ，帰りニーパイヅツノ水ヲ持つテ行ク様，実ニアハレデアル。

午後，商工課長，アルミノ沼田サン案内デ，帝国軽金属統制会社ノ取締役野田清氏，業務部長白幡梧郎氏来，三時半迄。

夜，中島君来テ，合成酒，阿□刀田君コーヒーヲ飲ミニ。阿久津君，吉本君ガ戦時物資調達デ内地出張ノ間，商工課ノ事務ニマハル由，九時半迄。十時過ギニ中島ガ帰ッテ，暫クシテ床ニ就クト，十一時ニ加藤，久保田，山口君ガ来テ，合成酒，十二時半迄，久保田君宿ル。

七日 日曜日 終日雨降ツタリ止ンダリ。

雨ノ止ミ間ニ大掃除，午前，阿刀□田君来テ一寸手伝ヒ，午後中島君ガ来テ一寸手伝フ。

受信 野村覚（ヤップ公学校）

夜，熱帯生物カラノ放送ヲキキニ行ク。六時二十分カラ二十五分間。

後，宿舎ニ行ツタラ，伴サント橋本サンガラヂオヲキイテ居タ。

後，久保田君カラ電話デ金寿司ニ呼バレル。松井君ハデングナノデ，阿刀田君ト二人デ出カケル途デ，久保田君ト一緒ニナル。国際無線ノ人達ガ四人，山口君ト，アトカラ加藤君。

消燈頃，阿刀田君ト二人デ帰ッテ来タラ，伴サンニアフ。一緒ニ家ニ来ル。蠟燭デコーヒーライレテ一時過ギマデ。

八日 月 雨ガ降ツタリ日ガ照ツタリ。

夜明前カラ何度モ下痢シテ，グズグズイツマデモ寝テ居ル。七時半ニ伴サンガ帰り，十時過ギ阿刀田君ガ帰ッテ行クト，高松君ガ来ル。朝，課長カラ話ガアツテ，イヨイヨ戦火ガキラレタ由。グワム，ハワイ，ミッドウェイウエーク，ダバオ，シンガポールト一時ニ手ガツキ，南支モ，上海，南京ハジメ，英米ノ水道電気等支配シテ居タ都市ハ，既ニ取ッテシマツタ由。ハワイノ重油タンク外□重要建築物焰焼中ト。

高松君カヘト，阿久津君ガ一寸来テ，スグカヘル。

飲マズ食ハズデ午後モ寝テ居ル。榊原君来，明日マルキョクニ引込ムコトニセシ由。

高松君，宿舎ノ件デ又来ル。

夕方食堂ニ行ッテ粥ヲ作ッテ貰フ。

蘭印、日本ニ宣戦。

夜、阿久津君ガマタ来テクレテ、暫クハナシテ行ク。

□今日ヨリ本物ノ燈火管制ナリ。

電報、電報替^[為替]為、航^便□空便ハジメ、普通郵便マデ全部トマル。

街デハ陸戦隊ノ演習ガ盛ニ行ハレ、青年団ハ監視ニカリ出サレテ居ル。

九日 火 昨夜一夜中降ツタ雨が、明方カラヤット止ンダガ、終日ドンヨリ曇り、二三回小雨アリ。

十二時六七分前、南拓ノ前ニ歩イテ来タラ空襲警報ニアヒ、南拓デ足ドメ、下出サン両□田中サン達ト玄関前ニ椅子ヲ出シテ貰ッテ話シテ待ツ。雲アツク、海軍ノ警戒機ダケガグルグルマハッテ居ルダケ。十二時半解除トナル。後ニ聞ク所ニヨレバ、パラオ東方百哩辺ノ所ニ蘭印ヨリラシキ一機アリシト。午後四時半家ニカヘルト、五分程シテ又空襲警報アリ、五時四十分ニ解除トナル。夜ハ管制電球ノ暗クテ何モ出来ズ。阿刀田君来テ、九時過ギマデ話シテ行ク。

十日 水 晴、昼前暫ク雨アリ、

午後三時ノ渡船デアラカバサンニ行ク。清サン留守。五時ノ船^[佐伯]デ巖サンガ帰ッテ来、九時半ノ船デ清サンガ帰ッテクル。宿ル。

十一日 木 朝ノウチ晴レテ居タガ午後雨ニナリ、夜マデ降ツタリ止ンダリ。

戦捷旗行列アリ、チト早過ギノキラヒナリ。

夜、阿刀田君、馬來語ニ来ル。

後、栗山君、家入君一緒ニ来テ十時過ギ皆帰ッテ行ク。

十二日 金 終日雨、イヤニナル雨、

夕方、物陳ノカヘリ野元サンヲ訪ネタラ、風邪デ寝テ居ル。ソレカラ熱帯生物ノ宿舍ニ行ク。山口君マダデングデ寝テ居ル。松井君モデングカラヤット直リカケ、夕食ヲ馳走ニナリ、加藤君ト緒方武官ノ所ニ行ク。九時過ギマデ話シ。一寸加藤君ト一緒ニ宿舍ニ行き、十時過ギ帰ル。

阿刀田君、生物デハ会ッタケレド、留守ニ訪ネテクレタ由デ、書残シアリ。

独□□伊、対米宣戦。

皇軍、マニラ南方上陸、北軍トマニラ挟撃態勢ナル。グワム首都占領、総督副総督以下三百五十名捕虜。其他。阿刀田君遅ク来テ泊ル。

十三日 土 朝迄ザンザン降ッテ居タ雨が漸次止ンデー日ヨク日ガ照ツタガ、日暮又雨アリ。

午後三時、栗山カラ電話ダツタノデ地方課ニ行ク。私ノ絵葉書全部南賢へ売渡シノ件。高松君、今日カラ物陳勤メ。

栗山ト一緒ニ□キムラ屋デオ茶ヲ飲ンデ街ニ出、Mariaヲ訪ネル。阿刀田君、松井君ヲノ島民食ノ件。後又栗山ノ所ニ行ッテクル。ビッグ・ニュースナシ。

十四日 日曜日 朝カラ晩マデ、コマカクキザンダラ、十六七回モノ驟雨デ、青空ハアルノダケレド、雨ノアヒマニゾクバカリ。湿度ハ90%ヲコエ、モノハカビ、頭ガ重ク背中ガ痛ク――

十時半ノ渡船デアラカベサンニ行クツモリデ出カケタラ船ガナク、渡船ノ中デ十二時迄モボカント座ッテ居ル。

清サンハ留守デ、巖サンノ所ハ麻雀ノオ客。コーヒーヲ煎ッテヒイテ、五時ノ渡船デ帰ッテクル。

夜ハ阿刀田君ガ来、中島(敦)君ガサイパンカラ鎌倉丸デ帰ッテ来³⁰⁹⁾、高松君モマ□ジッテ十時迄。

十五日 月 ホントニ久々デ晴レル。

何事モナシ。

夜、中島(敦)君来テ九時半マデ話シテユク。

山口(岩)君、ヤットデングガナホッテ今日カラ出テクル。

十六日 火 晴、

夜、ヨクヨクモ客ノ来ル日。

久保田君、中島(敦)君、水野君、栗山夫妻、家入君、ソシテ高松君デ、消燈前マデ。

十七日 水 晴、夜中ニナッテ雨ニナル。

夜、水曜会ヲ武官府ノ別室デ開ク。加藤君ノマラリヤノ話。

珍ラシク佐伯君出席、開散後佐伯君ト緒方武官ノ所ニ行ク。十時迄。

十二時前ニナッテ久保田君、加藤君、酔ッテ来ル、一時半迄、二人トモトマル。

一時頃ニナッテ雨降り出シテ止マズ。

十八日 木 晴、

昼過ぎ、栗山カラ電話デ地方課ニ行ク。一緒ニ家ニ来ル。

夜、久保田君、一寸来テスグ仕事ニ行ク。中島(敦)君来、栗山君来、九時半スギテ

帰ル。

寝ヤウトシテ居ル頃、十時半頃、阿刀田君来、十一時半頃マデ喋ッテ居タガ、泊ル。
スバラシイニュース、ハワイノ米艦隊殆ど全滅シタリシコト判明、空軍モ亦。

十九日³¹⁰ 金 晴、パラパラ雨二三回、夜一雨、

文化協会懇談会、山野地方課長、飯田君、栗山君、中島(幹)君、金寿司、ニッポン、パレス。

二十日 土 晴、パラパラ雨、天気ダンドン悪クナル如シ、

夜、中島(敦)君、阿刀田君、栗山君、家入君、九時半頃ニ引上ゲテ行ク。

二十一日 日曜日 晴、曇ッタリ パラパラ ト雨が来タリ。

アラカベサンニモ行カズ、終日家ニ居テ、家ヲ掃除シタリ、庭ノ草ヲムシッタリ。ケレドモコレハ隙々ニシタダケデ、朝九時半頃ニハ野元氏が来テ十一時マデ話シテ行ツタシ、午後三時カラ四時過ギマデ栗山が来テ裏ノ竹ヲ切ッテ行ツタシ、四時半ニハ呼ンデアッタ熱生ノ三人ガ、間モナク山口君ガ、ソシテ五時過ギニ Maria ト Ngiloi ガ御馳走ヲモッテ来テ、早速隣ノ部屋デソレヲ作りハジメタ。馳走別ケガ出来テ、合成酒ノオカンガ出来タ時ニ久保田君ガ来、オクレテ中島(敦)君ガ来タ。賑ヤカナ此ノ饗宴³¹¹ハ、阿刀田君ガ間モナク内地ニカヘルノト、松井君ノ懇請ガアツタカラdeal。odoimハ鶏ノ丸蒸シト、大キナ hūūdl 魚ノ燻製デ、ongraolハ kūkaū ト diokang ト pillūm ト、ソレカラ kliyoū トシテ titimml、ソレニ庭ノ ブントノ実ガ五六ツトラレル。久保田君ハ仕事ニ出テ行キ、九時半頃ニ皆ハ引上ゲタガ、山口君ト一緒ニ出テ行ツタ阿刀田君ハ、寝ニ帰ッテクルト言ヒノコシテ行ツタ。十時過ギ久保田君ガ戻ッテ来、十一時前ニ阿刀田君ガ戻ッテ来テ二人デ泊ル。

二十二日 月 晴、^[ママ]久々デ空モナク晴レテ涼シイ。

夕方、婦ラウトスル□頃、女学校ノ高橋サンガ物陳ニ訪ネテ来、大木、高木女史ノコトデ、五時半頃マデ話シテ行ク。

帰ッテ食堂カラ山口君ト Maria ノ所へ礼ヲ持ッテ行キ、帰ルト阿刀田君ガ来、中島(敦)君ガ来³¹²、コーヒーヲイレテ話シテ居ルト、大平ガ来テ、一寸酒ヲ飲ミニ行カウト云フノデ、中島君ヲ置イテ阿刀田君ト三人デ街ニ出テ、一寸オデン屋デーパイ飲ンデ帰ッテ来ルト、家入君ガ加ハッテ居ル。十時半ニ皆帰ッテ行ク。

二十三日 □火 晴、午後小驟雨、夕方大驟雨、

午後、海軍ノ士官サン物陳ニ来テ、ナガイコト話シテ行ク。

夕食後、久保田君トヤキトリ、オデン。

夜、阿久津君来テクレ、九時半、久保田君、阿久津君帰り、高松君早寝ト二階ニ引上ゲルト、十時半ニ阿刀田君来テ、ビール、十一時半迄。阿刀田君泊ル。

〔欄外に記す〕
〔ロティの結婚〕

先日、中島（敦）君ガロティーノ「ロティーの結婚」ヲ持ッテ来テクレタノデ、ソレコソ、オ客デユックリシナイ中ヲ、隙々ニ読ンデ今日読ミ終ル。

エキゾチック□クナ、随分詩的ナモノヲ捕ヘ扱ッテハ居ルノダケド、コレハ所詮小説デアリ、小説トシテハ蕪雜デ構造的デナク、詩トシテハ、詩トシテナラバ冗漫デ盛り沢山デ、細カイ——クドイ程細カイ描写ダノニ深サガナク、細微ナ觀察ニモ拘ラズ□的確デナイ。

「ノア・ノア」ノ方ガ、ウント本質的デアリ、シカモ深く且ツ豊カナ余韻ヲモッテ居ル。ト云フヨリ、「ノア・ノア」ハ最高ノ詩デアルガ、コレハエキゾティシズムト細密描写ヲノゾイタナラバ、単ナルロマンスデヨリナク、若者ノ夢以上ニ、人間的、生命的、人生的——□或ハ運命的ナ悲愁、情緒ニ届イテ居ナイ。ロティーノ出世作デアリ、ロティーノホントニ若イ時ニ書カレタモノデアルカラ、ソノ様ナコトヲ望ム方ガ無理ナノデハアルガ。

二十四日 水 晴、

午後、マミヤ□ノ艦長一行。

夜、武官府水曜會、松井君ノカツヲノハナシ。後、松井、加藤、久保田君トオデンヤ。加藤、松井君一緒ニウチニ^{行ク}□□来ル。コーヒーヲ入レテトラ、高松君ト一緒ニ敦チャン来ル。文化協会ノ映画ヲ見テ来タ由。十時半ニ皆帰ッテ行クト、十一時十分前ニ阿刀田君、梅酒ヲモツテクル。蠟燭ヲツケテ二時半迄。

二十五日 木 大正天皇祭 朝カラドンヨリシテ、涼シイ——ヨリ寒カッタノガ、午後カラ遂ニ春雨ノヤウナ雨ニナリ、止ンダリ降ツタリシタガ、夜ニナッテ風ダツ。

昨夜ノ今日デ、ボヤボヤシテ居トラ、九時前ニ敦チャンガ来ル。スペイン教会ノミサニ行ッテ来タ由。高松君ハ寝ボウヲシテシマッテ行カナカッタノダ。絵ヲ見セテクレト云フノデ、出シタガ、四人デ寝コロガッテ、昼前マデトリトメナク過ギル。昼ニ敦チャンモ、阿刀田君モヒキアゲ、午後雨ニナッテシマッタノデ、タノマレテ居タ、竹中氏ノ蘭印教育資料ニ目ヲ通シナガラ昼寝シテシマヒ、三時ニ目ガサメタラガンチャンガ来テ、鶏ガツカマッタカラ六時ニ来テクレト、阿刀田君カラノ伝言。

五時過ギニ生物ノ宿舎ニ行ク。阿刀田君ガ一人デ準備ニ大ワラハニナッテ居ルノニ、加藤君モ、松井君モ悠々トシテボカントシテ居ル。阿刀田君ノ部屋ハ、ガンチャント二人デ昼カラコシラヘタト云フ速製ノ遮光幕ニヨッテ、明ルイ電燈ガツクヤウニナリ、ソ

ノ下ニ新聞紙ヲシキツメテ席ガ出来テ居ル。高松君ガ来、久保田君トガンチャントガ例ノ如ク遅ク、マサニオミットシテハジメタ処ニ二人デヤッテ来ル。ソレカラ橋本氏ガヒョッコリト伴式ニヤッテ来テ仲間ニ入ル。此ノ饗宴？ハ、阿刀田君ガ皆ヘノ謝恩会デアルト云フノデ、阿刀田君ガ材料ヲ集メ、オバサント二人デー生懸命ニ作ッテクレタモノ。二羽ノ鶏料理デ、イツカノ如クーツハ野菜入りヂャヂャ、コチラハラード鍋。ビールガ少シト、リング酒ト最上キスキーノカクテルデ、ケンケンゴーゴー、オーケストラノ如キ会食ダ。私達ノ宴会ハ、イツデモ□□營養会ナノデ、食欲第一主義ナノデ、話ハ実ニ賑カデハアルノダガ、一向テーマハナイノデ、ソレハ只々ド、ミ、ソ—ド、ミ、ソ、ノクリカヘシデヨイノダ。御飯ガ出テ、フルーツガ出テ、オーケストラガ終ラウトスル時、九時過ギテ江守君ガ訪ネテ来テ、今晚風速二十五米ノ颶風ノ警告ガ出テ居ルカラ、物陳ヲ釘ヅケニスルナリ、誰カ行ッテ宿ルヤウニト云ッテ来ル。ナルホド少シバカリ風ダッテハ来タガ。トモカク、四丁目ノ山本君ノ所ニ行ッタ処、居ナイノデ、栗山ノ所ニ上ッテ待ツ。吉村君モ来テ居テ、ココモ明ルクテ、コーヒーヲ入レテ話シテ居ルウチニ、九時四十五分頃、山本君ガ帰ッテ来タ気ハヒナノデ、行ッテ物陳ニ宿ッテ貰フ様ニタノンデ帰ッテ来ル。阿刀田君来テ居テ泊ル。

二十六日 金 晴，夜暫ク驟雨，半月明ルシ。

午後、敦チャンガ一緒ニ物陳ニ来タケレド、マタマミヤノ士官達ガ沢山来テ、四時過ギマデカカッテシマフ。

夕方、家人君ガ一寸来ル。食後、緒方武官ノ所ニ行ク。雨ニ降ラレテ九時半ニ帰ッたら、中島君（敦）ガ来テ居ル。

二十七日 土 晴，

午後、以前ニ「多摩」デ私ノ話ヲ聴イタコトガアッタト云フ若イ大尉サンガ来テ、四時過ギマデ話シテ行ク。

昨日来タ「間宮」ノ主計中佐カラ、オ菓子ヲ届ケテ来ル。

夕食後、「間宮」カラ届ケラレタ羊羹ヲ持ッテ課長ノ処ニ行ク。奥サンハ子供サン達ヲツレテ清水村ニ行ッタ由。九時半ニ辞シテ帰ッテ来たら、阿刀田君ガ来テ居リ、ソレカラ Maria ト Ngiloi ガ来テ居テ、高松君ガコーヒーヲ入レテ皆ヲモテナシテ居ル。阿刀田君泊ル。

二十八日 日曜日 晴，夜中ニナッテ雨ニナル。

今日デ御用終ヒノ管デアルガ、本年ハ特ニ二年末年始ノ休暇取止メラル。

朝ノウチ家入、中島、午後ヒルネ、夜、中島。

二十九日 月 夜明マデ降ッテ居タ雨ガ止ンデ晴レル。夜十一時ニ又雨ニナル。
午後、又間宮ノ兵隊サンガ一人訪ネテ来テル。
夜、マリヤトギロイトガ ngdūul ト kūkaū ラモッテ来テクレル。敦チャン来ル。

三十日 火 晴、

加藤君カラ電話デ、生物、放送局、近カシイ者ダケデ忘年会ヲ含ム月見会ヲ松島遊園地デヤルカラ、一口乗レト云ッテクル。四時生物ヘ集ルコト。加藤、阿刀田、松井君、久保田、山口君ト皆デブラブラ歩イテ松島ニ行クト五時。橋本君ガ先着、鶏鍋、美シイ月、九時前ニ阿刀田君ト帰ル。中島敦チャン来ル。

阿刀田君泊ル。

三十一日 水 晴、

阿刀田君、リング酒、一本、高松君、ビール一本、高崎サンニタノンデオイタラ、キスキヲ持ッテ来テクレル。ウドンヲ煮テ三人デ年越シト云フコトニシテ居ルト、敦チャンモ来、飲ミ了ッテ皆デ散歩スル³¹³⁾。十四日ノ月カ、実ニアカルクテ、風モナイ、皆デコロール波止場マデ行ッテ、帰ッテ来ルト、モウ十二時近イラシク、コレカラ南洋神社ニ行ク人々ガ、次々ヘトスレチガッテ行ク。

警戒中ノ街ハヒソリトシテ、電燈ノ光ハ実ニ何処カラモ漏レテ来ナカッタ。処々ニ、真暗ナ軒ノ下ニ湿ッポク「営業中」ト云フ赤イ字ガ小サク浮キ出テ居ルダケダ。

〔欄外に記す〕
〔南洋ノ犬〕

月ガ実ニ明ルカッタ。丁度歩イテ行ク道ノ真後カラ上ツタトコロノデ、人通りノ少イ街ノアスファルトガ気味ノ悪イホド白カッタ。私達二人ノ前ニハ只々私達二人ノ影ガ長々ト其ノ白イアスファルトノ上ニ並ンデ黙々ト進ンデユクノデアッタ。

真暗ナ露地カラ大キナ、白ニ大キナブチノアル犬ガ、ノソソリト出テ来テ、吠エルデモナクヌット立ちドマツタ。大キナ間ノノビタ様ナ犬。全ク間ノノビタ犬デアル。ソシテ私ハ急ニ思ヒ出シタノダ。私ガモウ長イ長イコト、コノ間ノノビタ犬ノ姿ニ慣レキッテ居ルノニ氣ガツイタノデアル。

十何年前ニハジメテ南洋ニ来タ当時、犬ニ出逢フ度ニ、何テ間ノビノシタ犬ダラウト思ッタコトヲ。ダラシナク、シマリノナイ犬ダト思フタコトヲ。内地ニ居ル私達ハ、殊ニ都会ニノミ居タ私ハ、頸輪ノナイ犬ト云フモノヲ殆ド見ルコトガナカッタ。ソレガ南洋ニ渡ッテ以来、見ル犬モ、見ル犬モ頸輪ガナイノダ。ソシテソソナ犬ニアフ毎ニ、何か間ノビノシタ感ジト、ドコカ飼主モナイ野良犬——剽悍ナ泥坊根性ノ、人馴レノシナイ犬ノヤウナ氣ガシテ、多少トモ氣味が悪カッタノヲ思ヒオコス。ソシテ今私ノ前ニ現〔レ観〕ハタ間ノビノシタ大キナ犬カラ、フトソソナコトヲ思ヒ出シタノダガ、サテ私ハ頸輪ヲ

ハメタ、キリットシタ内地ノ犬ノ感ジヲ□心ノ中ニ一生懸命サグリアテヨウトスルノダガ、ドウモピットリトトラヘルコトガ出来ナカッタ。

ソレカラ後ノ毎日、フトスルト其ノコトヲ思ヒ出シ、思ヒ出ス度ニ、内地ノ犬ノ、間ノノビナイ犬ノ姿ヲ描カウトスルノダガ、ドウモウマクユカナイママデ居ル。

ソんな姿ヲシタ犬ノ写真デモ見タラ、アアコレダッタカト云フ風ニ、ソんな犬ノ感ジヲ確ト思ヒ出スコトダラウガ、ソんな写真モ勿論ナイノデ、フト思出シテハモドカシク感ズルバカリデ居ル。

南洋ニ永ク居続ケタ私ニハ、ツマラナイ些細ナコトニ、是レニ似タ思ヒガママアルガ、新ラシイ姿ニナジミキッテ、本来ノ姿ヲ忘レルバカリデナク、思出シテミテサヘ、ソノ姿ガトラヘラレナイ迄ニナルト、一□抹ノサビシサヲオボエル。

昭和十七年

一月

元日（木）曇リギミ、昼前後暫ク雨アリ。

八時半、役所ノ式。

式後、食堂ニ行ッテオ雑煮ヲ祝ッテ来ル。

十二時ノ渡船デ、敦チャン、高松君トアラカベサンニ行ク³¹⁴。六時半ノ船ガ故障シテ、八時頃帰ッテクル。

二日 金 晴、夜満月明シ、

物陳ニ出ル。

午後、病院船朝日丸カラ迎ヘガ来ル。天野君ト、十一人ノ看護婦サント一時半ノランチデ朝日丸ニ行ク。一休ミシテ、デッキデ暫ク講演、後質問ニ答ヘ一通リ船内ヲ見セテ貰ッテ食ヲ馳走ニナッテ、六時前ニ辞シテ帰ル。

午後、中島（幹）君等オシルコヲ作りニ来ル³¹⁵。中島（敦）、久保田、山口君等皆来テ帰ッタアト、七時頃家ニ帰ル。タラフクタバタノデ、南洋神社マデ皆デ歩クコトトシ、家人君モ来テ居タシ、高松君モ一緒ニ、九時カラ南洋神社ニオ詣リスル。十一時ニ帰ッテウトウトシタラ、阿刀田君ガ来テ、ガタガタヤッテ居タガ、背中、□腹痛ンデ居タノデ、ホッタラカシテオイタ□ラ、永イコトガタガタヤッテ居タガ、帰ッテシマフ。

三日 土 晴、

昨夜ノ阿刀田君ノ書残シ、

「月ノ美シイ晩ワ早クカラ寝ルモノデワナイ。少クトモ 24 時前ニ寝□□ルヨウナ事ワ今後アツテワイケナイ。

くつわノ音ニ目ヲサマス武士ノタシナミヲ忘ルル勿レ

家中ヲ乱シマワラレテ、目ヲサマサナイ様デワ、遠来ノ客ヲ徒ニ蚊ニ喰ワセル事ナリマス。」

ソレカラモウ一枚ニ、

「ヌレ手ヌグイヲ顔ニカブセテヤロオト思ッテ準備シタガ、可愛想ニナツテ中止。情ミ深キ ボクノ心ニ感謝スベシ。

アーメン。」

ソレカラ赤色デ、

「押入カラマツチヲ出ス。火ヲツケテ家ヲ焼イテ了イタイ衝動ニカラレル。窓ヲ開ケトイテ、風邪ヲヒカシテヤル。ナンボ ガタガタ シテモ寝テルナンテ、ダラシガナイ。」

朝八時ニ一寸、阿刀田君ノ所ニ行ツタラ、感心ニ起キタ所ダツタ。

役所ニ行ツタガ、高里君来テ居ズ、十一時半ニ又訪ネルコトニシテ、武官ノ所ニ行ツタガ留守、榊原君モ誰モ居ズ。十一時半ニ役所ニ行キ、高里君ニアフ。

午後、武官ノ所ニ行クト、武官モ榊原君モ居テ御馳走ニナル。

二時過ギカヘルト、久保田君ガ待チクタバヒレテ居ル。サキ程武官ノ所ニ行ク時、道デアツテ、家デ待ッテ居テ貰フ様ニ云ツテオイトノダ。パラオ歌謡集出版ノ件デ。

田山サン飛行機^機デ帰ッテクル。夜、阿□刀田君来、大平君チョット来ル。

今日ハ皆早クカハッタノデ、十時ニハ田山サント床ヲ並ベテ寝ル。

四日 日曜日 晴、

昼食後、武官ノ所ニ行ク。アラカベサンニ行ク約束ナリ。武官ト榊原君ト、ソレカラタイピストノ娘サン三人ヲツレテ、新波止場カラ三木本^{〔御〕}ノ船デ、岩山湾ノ中ヲ一時間バカリマハツテ、二時半頃アラカベサンニ行ク。娘サン達ハ鰐ダケ見テカヘル。五時迎ヘノ自動車デ帰ッテクル。

夜、阿刀田君来テ十時半マデ、田山サント三人デ話シテ居ル。

元日ニ□山城丸入港、(二十六日カカッテ)

受信 野田浅雄(郁文社)、三沢寛、金子九平次、和田清治、榎並仁、貫井宏、田沼智恵子、手島茂、木村潔、

野田浅雄氏ト云フ人ハ、以前ニ等々力氏カラ紹介ノアツタ人デ、出版業ヲシテ居ル人(原稿——単行本書キオロシノ依頼)

五日 月 晴，小雨二三回，

〔発信〕 和田清治，榎並仁，野村覚（ヤップ），金子九平次，三沢寛，田沼智恵子，木村潔
三沢寛へ（パラオ島民部落組織）
木村潔へ（ 全 上 ）

月ガ日ニ日ニオソクナル時ハ，実ニサビシイ。

夜，阿刀田君ガ来——田山サンハ風邪ヒキデ早寝——暫ラクオ茶ヲ飲ンデ話シテ居ル
ウチニ，ソノサビシイ月ガ上ツタノデ，二人デ街ニ出ル。

六日 火 晴，昼前暫ク雨アリ，夕方も一寸雨アリ，

サイパン丸入港。

〔発信〕 羽根田弥太，後藤禎二，西尾善積，
〔受信〕 羽根田弥太，西尾善積，渡辺信一，
渡辺信一〔科学主義工業 十一月号〕
野田浅雄〔黒潮ニツナガル日本ト南洋〕（中田千畝著）

夜，家入君ト新南拓荘ニ上木君ヲ訪ネル。帰ルト客ナリ，マリヤ来テ帰りシ由，大平，
中島，阿刀田君等。

七日 水 晴，午後雨アッテ後曇ッテシマヒ，夕方モ雨アリ。

山城ノ乗込ミナノデ，阿□刀田君，朝物陳ニオ別レニ来ル。後電話デ，昼乾杯ヲスル
カラト云フノデ，高松君ト行ク。アトカラ久保田君，山口君モ来ル。

夜，武官府，火曜会，海軍ニ来タ開戦ニュース映画ヲ見，後，田山サンノクサイ報告。

八日 木 大詔奉載日 晴，夜二十一時頃雨アリ，

〔受信〕 西尾滋

夕方 Omtilou ニ行キシモ留守，栗山ヲ訪ネシモ留守。

夜，大平君，阿久津君。

九日 金 晴，曇リガチ，朝九時頃ヨリ暫ク雨。

朝カラヒヨヒヨト寒イ。午後一寸暑クナツタガ，夕方カラマタ寒イ。夜，班ノ初顔合
ハセト云フコトデ，前ノ香月サンノ所ニ集ル。ヒドク背中痛ミテ中途デ帰ッテ来ルト，
敦チャンガ来ル。

夕方，大平ガ来テ，地方課長ガ中学ノ（今度出来ル）^{〔ママ〕}ノ先生ニナレト云ツタトテ，憤

概シテ居ル。

先日カラ——船ガ二艘入ッテ臨時食料品配給切符ガ廃サレテ、罐詰類ハ（一般物——共販扱ヒノモノハ別）自由販売ニナツタガ、タバコトマッチハ全ク出テ来ナイ。ソレカラ砂糖ノ配給ガ先月カラ一度モナイノデ、方々デ閉口シテ居ル。

軍艦ガ皆トコカハ出テシマツテ、此ノ間マデ、物陳ハ海軍サンデ賑ハッタノガ、パタット止ンデ、一日ニ何人カノ兵隊サンガ ポツポツ 来ルグラヒ。

十日 土 晴、寒イヤウニ涼シ、朝九時頃ト晩九時頃ト雨アリ、

午前、二三日前ニ来タ御用船ノ船長ガ、船員達ヲ四十名程ツレテ来ル。明日モ半舷上陸スルノデ、日曜ダケト特ニ開ケテ貰ヘナイダロウカト云ツテ来ルノデ、九時ニアケルコトトスル。

午後休ンデ原稿書キ。

夕食後、高松君ト街ヲ一マハリシ、都、オデンニ行ク。

夜、敦チャント、栗山ト。

十一日 日曜日 晴、

物陳ニハ高松君ニ行ツテ貰ヒ、午前中原稿書キ。

午後三時半ノ渡船デアラカベサンニ行キ、宿ル。

十二日 月 晴、曇、□朝九時ト夕方ト雨アリ、

七時半ノ船ニノレズ、九時ノデ帰ッテクル。バパイヤトバナナヲ貰ツテ。

十三日 火 晴、朝九時ト午後二時ト夜ト雨アリ。雲多ク涼シ。

物陳、昼前士官候補生ノ一団。

午後、中島敦チャン、南洋汽船ノ□予定表ヲモツテクル。出張ノスケジュールヲ立テル為。

三時カラ課常会。

吉本君ノ東京出張、戦時食料獲得ノ実状ニ就テノ漫談的説明アリ。

夜、誰モ来ズ、岩チャンノ所カラ泡盛ヲ貰ツテ来テ、軽ク飲ンデ十一時迄読書。

十四日 水 晴、後雨降り出シテ止マズ、

物陳、海軍ノ人達ヒッキリナシニ百何十人。

夕方、敦チャンニ旅行ノスケジュールヲヤル。

久保田君、大平君、水曜会ニ誘ヒニ出タガ、休ム。田山サント一緒ニ加藤君来、スグニ大平君モ来テ、消燈マデ。

米, シキシントン航空母艦撃沈, ハワイ方面デ。
支那海沖繩ヨリデ, 病院船ハルビン丸ヤラル。

十五日 木 終日雨降ツタリ止ンダリ。

相変ラズ兵隊サン沢山。

夕方 Maria ノ所ニユキ, 栗山君ノ所ニ行ク。泡盛ト味淋^{〔糖〕}ノカクテイル。宿ル。

十六日 金 晴, 夕方パラパラ雨。

明日カラ敦チャント本島ヲ一週スルノデ, 午後休ンデ仕度, 家入君, 懐中電燈ノ電池購入ノ証明書ヲ貰ッテ来テクレタ上, 他ニナクテマラカルマデ買ヒニ行ッテクレル。多謝。栗山君, 役所ノカヘリ来ル。

夜, 大平, Maria.

三十一日 土 晴,

十七日ニ敦チャント本島マハリニ出, マルキョクカラウギワル, ガラルツ, アルコロン, カヤンガルマデ行キ, カミリヤンガルノ波止場カラ熱研, 南拓農場, 造林地ヲマハッテガツキップニ出テ, 今朝九時ノ渡船デ帰ッテ来タ。

午後二時頃山本ガ来テ, 四時半頃カラ司令長官一行ガ見エルカラ, 説明ニ出テクレト云ッテ来ル。

近藤第二艦隊司令長官一行ト, 此処ノ中村少将ト, 一時間バカリ見テ行カレル。

夜, 商工課長ノ所ヲ訪ネシモ留守。武官ノ所ニマハリシモ留守。

Maria ノ所ニ行ク, Kisaül モ今日ガラスマオカラ出テ来テ居ル。

〔1頁白紙〕

二月

一日 日曜日 晴,

朝, 商工課長ヲ訪ネシモ留守。武官ヲ訪ネシモ留守, Maria ノ所ニ行キシモ誰も居ラズ。

午後, 敦チャン来ル。高松君, 三時半ノ船デアラカベサンニ行ク。

オルクリール, シントロウトオルクリールノ弟ト, 勤勞奉仕ノカヘリダトテ来ル。

夜, 商工課長ノ所ニ行ツタガ, 上野君, 菅野君, 江森君, キヤス君アリ, 麻雀ヲ終ッテ, ラヂオノニュースヲキイテ居ル。後酒, 後, 上野君, 菅野君ト街□へ出シモ, 何処

モ閉ッテシマヒ、二人トモ家ニ来ル。ビールヲアケ十二時過ギマデ。

留守ニ Maria 来テ、ズボンヲ置イテ行ク。家入君等二三人来テ居タ由。

二日 月 晴，夜一雨。

朝，小林君（清），物陳ニ訪ネテ来ル。一緒ニ南賀マデ出ル。

午後，阿久津君，栗山植木取り，家入君来ル。

夜，敦チャン。

受信 中川善之助「中部カロリン群島ニ於ケル家族ト氏族」（大南洋 別刷）

三日 火 晴，午後夕方マデ雨降ッタリ止ンダリス，

四日 水 快晴，

一点ノ^曇雲影モナク秋ノヤウニ深く晴レ渡ッタ空。今日ドコニナニガアッタノカ，朝カラ一日中飛行機ノ群が無気味ナ爆音ヲタテテ飛ビマハル。

朝早く商工課長ノ所ヲ訪ネル。玄関デ要件ヲ□話シタガ，役所デ相談シヤウトノ事デ，役所ニ行ク。課長ト吉本君ト阿久津君ト集ッテ話シタガ，話ハトンデモナクテ，物陳ノ二千元タラズサヘ，此ノ船舶モナクテ内地ヘノ注文物ガ出来ズ，パラオデハ材量^{〔料〕}，労力ノ不足デ□何モ出来ナイ時ニ，マダソノ上ニ博覧会経費トヤラガ三千元トカ四千元トカアルサウデ，三月イッパイ迄ニ六千元ヲ有要ニ使ッテクレダト。

^{〔泰〕}吉本君ハ涼シイ顔シテ，農林，水産ノ人々ニ依頼シテ，資料蒐集ニ出張シテ貰ッテヨイト云フ。例年方々ニ見受ケル慰勞出張，ムリヤリ事業ノ悪習ダ。何故ソナ金ノアルコトヲ早く云ハナイノカ，シミッタレテ大事ニ握リコンデ居テ，期間ガナクナルト無理ヤリニ使ハセヤウトスル。セメテ九月カ十月マデノウチニ六千元ヲホッポリ出シテクレタラ，ドンナニ意味ノアル金ダッタラウ。地方課カラ出シタ研究機構ノ新規予算ハ，小役人ドモニヂクリマハサレテ，機構ヲ作ラズニ，調査費ダケガ提出サレテ居ル。調査費ナラ，旧慣其他調査費ガ毎年消化シキレナイデ，変ナ所ヘバカリ融通サレテ居ルノダ。機構ノナイ調査費ナント，ソナ幽霊ノヤウナ金バカリ役所ノ中ニハ，アッチニモコッチニモ，カキ集□メラレテ居ルノデ，正当ナ目ニ使ヘル人物ガ何処ニモ取ッテナイノダ。ケチケチトシマヒコンデ居テ，シマヒニ腐ラセテシマフ事務屋バカリ居テ守ッテバカリ居テ，—活カシテ使フコトノ出来ル人間ト役トヲ，ドウシテモ置カウトシナイノダ。モウ三年目ノ三度目ノ予算ノ見透シガ見エタ。オエラ所ガドンナニ理解ガアッテモ，小役人ドモガ，ハキチガヘタ忠義顔デ，何モカモ骨抜キニシテシマフノダ。

夜，水曜会，安武君ノマレー半島ノ林業ニ就イテ。後，武官ノ所ニ行キ，一日ノ不平ヲサラケ出シ，ヤメテ帰ルコトヲ宣言スル。

五日 木 快晴,

拓殖部長カラ前通信課長ニ贈ルステッキヲ買ッテクレトタノマレテ居タノデ、十七円ノコーヒーノ木ノステッキヲ買ッテ朝トドケテ置イタラ、間モナク電話デ、値段ダケニ見エナイカラ返シテ呉レト云ッテ来ル。デ、スグニ行ッテステッキヲ取ッテ来、熱生ニ大平ヲ訪ネル。贈物ハベッコウノ男櫛ノ七円ノニ値下リシタ由。

午後、栗山ガ来テ、庭木ヲ沢山スイテユク。

三時半ノ渡船デアラカベサンニ行ク。テルヲチャンノ友達ガ二人来テ居ル。

夜月明ク、十二時迄清サント、山ノ上ノ亭デ話シテ居ル。

六日 金 秋ノ様ナ澄ンダ空、終日乾燥シタ涼シイ風、

九時半ノ渡船デ物陳ニ出テ行ク。病欠ニシテ午後ハ行カズ。家人君来テ居ル。家人君ト夕方カラホテルニ行ッテ食事。

伴サンガ昨日ロタカラ帰ッテ、農林省ノ水産局ノ事務官ノ角田サンヲツレテ物陳ニ行ッタ由デ、ホテルデ引合ハサレル。

ホテルノカヘリ、二人デ栗山君ヲ訪ネニ行ッたら、榊原君ト二人デ出テ来ル所。榊原君ハ昨夜オソク出テ来テ宿ッタ由。絵ヤ荷物ヲ栗山ガ自転車ニツンデ居ル。一緒ニヒキカヘシ、武官ノ所ニ行ッタガ留守ナノデ、荷物ヲオイテ家ニ来ル。□コーヒーヲ入レタラ、田山サント高松君ト帰ッテクル。坂野部隊ニニュース映画ヲ見ニ行ッテ来タ由。スバラシカッタ由。栗山君、榊原君、九時半頃帰ッテ行ク。

終日飛行機ガブンブン飛び、夕方、ホテルノロビーカラ見エル静カナタベノ静カナ海ニ、軍艦ガ沢山並ンデ居ル。

月ガスッカリ遅クナッテシマッタ。

七日 土 快晴,

栗山君ガ松島遊園地、ホテルニ交渉シテクレタガ駄目デ、丁度、夜ハハワイ爆撃ノニュース映画ガ中村部隊デアルノデ、皆デ行ッテ見ルコトニスル。

敦チャン、ベリリョウカラオミヤゲヲモッテ帰ッテクル³¹⁶⁾。

夕食後、中島、家人、栗山、榊原君、皆デニュース映画ヲ見ニ行キ、カヘリ家ニ来ル。九時頃皆ガ引上ゲルト、□^引入レチガヒニ阿久津君来ル。

八日 日曜日 大詔奉載日、快晴,

早起、公園ニテ□行事。

後、防空壕手入。榊原君来、一緒ニ家人君ヲ訪ネテ再ビ帰ッテクル。

夕方カラ夜ニカケテ、大平、安倍（鉱務）、伴。

九日 月 晴，雲稍多シ，
中島敦，家入，オルクリール。中島（幹）。野村。
夜，永田サンノ送別会。
朝ノ飛行機デ田山サングァムへ。
商工課常会，二時ヨリ四時マデ。

十日 火 快晴，
本物ノ乾燥期ナリ。
朝早く熱研ノ小林君カラ電話デ，火曜会ノウチ合せ。
来客，家入，榊原，栗山，中島，野村。

十一日 紀元節 晴，風涼シ。
榊原君ト七時半ノ渡船デアラカベサンニ行ク約束デ，七時ニハ寄ッテ貰フ筈ダッタノ
ニ，時間ニナッテモ来ナイノデ行ッテ見ルト，来ナイ筈，武官ガ丁度，浴衣姿デ公園ノ
方カラ帰ッテ来ルノニ行キ合フ。上ッテミルト南方挺身隊ノ人ガ二人来テ居テ，榊原君
ガ相手ヲシテ居タ。武官ハマダ酔ッテ居テスグニビールガ出ル。コレハ挺身隊ノ一部ガ，
今度イヨイヨメナード³¹⁷⁾ニ出ルコトニナッタカラデ。一緒ニ食事シ，八時十分，武官
ガ武官府ニ出ラレタノデ帰ッテクルト，間モナク，中島君ガ野村君ヲツレテ来ル。十時
半頃帰ルト云ッテ居ル所へ，清サンガテルヲチャンヲツレテ来ル。メナードカラ引上ゲ
テ来テ居タ，五十余人ノ——アラカベサンデ訓練ヲ受ケテ居タ——人達ヲツレテメナード
ニ出ルコトニナッタ由。買物シテ来ル間，照男チャンヲ^{アツカル}□□□□アツカッテクレテ，
直グ出テ行ク。清サンガ帰ッテ来テ，皆モ一緒ニ帰ッテ行ク。

午後スグニ熱研ノ小林君ガ出テクル。一時間程シテ荷物ダケオイテ人ヲ訪ネニ行クト，
入カハリニ栗山，家入，榊原君ガ来ル。四時ニ栗山君ガカヘリ，四時半ニ榊原君ガカヘ
リ，五時ニ家入君ト一緒ニ食堂ニ行ク。

後，小林君ガ来，一緒ニ武官府ノ火曜会ヘ行ク。帰ッテクルト中島君ガ来テ居テ，高
松君ト紅茶ヲ入レテ居ル。

昼過ぎ，南拓ノ星君ト上木君トガ，挺身隊ト一緒ニメナードニ行クコトニナッタトテ，
暇乞ヒニ来ル。

朝カラ晩マデ，入カハリ立カハリノオ□客ト其ノ度ノコーヒートニ中毒シテ，夜ハ背
中ガ痛ンデ苦シイ。

読ム本ガタマッテシマヒ，書クモノガタ□マッテシマッテ，チットモハカドラナイ。

十二日 木 晴,

軍艦ガ沢山来テ居テ, 昨日今日, 街中兵隊サン。

昼休ニ中島, 家入君来テオ芋ヲフカシテ居タラ, □野村君ガ来ル。夕食前, 久保田君。夕食後, 家入君来テ一寸ビールヲ飲ンデ居タラ, 敦チャント, 野村君ト来テ十時半迄。

早朝, 堂本内務部長ヲ訪ネテ, 役所ヲヤメサセテ貰フ内諾ヲ得ル。

十三日 金 晴,

昼ハ敦チャント家入君ガ来テ, 高松君ト芋ヲフカスシ, 午後ハ南雲中將ガ見エルト云フノデ, 商工課長ハジメイツモノ説明人ガ六七人モ来タガ, 中將ハ来ナイデ, 大佐ガ一人, 中佐, 少佐連ガ十人バカリ物陳ニ来ル。

帰ルト栗山ガ又, 植木トバナナノ木ヲ抜キニ来テ居リ, 敦チャンモ居ル。藤井院長モコーヒーヲ飲ミニ来ル。野村君ガ真赤ニナツテ砂糖ヲモツテ来ル。海軍ノ従弟ガタツネテ来タ由。食事ヲスマセテ来テ話シテ居ルト, 家入君ガビールヲモツテ来タガ, 結果敦チャント家入君トハ野村君ノ処ニマンダリンヲ食ヒニ誘ハレテ行ク。久々デ夜ガ静カデ, 先日カラ暇々ニポツポツ読ンデ居タヴァン・ルー□ノ「大平洋物語」ヲ読ミアゲル。午前中ダケデ, 物陳ニハ兵隊サンガ三百人近クモ来ル。

十四日 土 晴, 夜遅クバラバラ雨。

昼間ガヒドク暑ク, 真夏ノ白雲ガ重々シイ, タベガサワヤカニ, ホンノヒトトキノ夕照ニ, 秋ノヤウナ棚雲ガ紅金色ニカガヤク。

夜, 商工課長ノ所ニ行キ辞意ヲ伝ヘタガ, □ムヤミニ同情サレテシマツテ, 何デモ今一息キ□努力スルカラ, 案ヲ出シテクレトノ事デ, 無下ニ断リカネテ帰ッテクル。

食料会社ノ江川氏夫人ト社員ノ人ト来テ居ル。

十五日 日曜日 晴, 朝バラバラ雨。

家入君, 昨夜来テ泊ッテ居タシ, 朝ッバラカラ敦チャンガ来テ芋ヲフカスト, 続イテ伴サンガノッコリヤツテ来ル。

午後, 家入君来テ気マグレニ絵ヲカキダス。其ノ間ニウトウト寝テ, 三時半ノ渡船デアラカベサンニ行ク。ニュースヲキイテ, 八時ノ船デ帰ラウトシタラ, 八時ハナクテ, 九時半ノ渡船デ帰り, 十時十五分ニ家ニツイテオ茶ヲワカシテ居ルト, 高松君ガ帰ッテ来, 敦チャンガ来テ, 今日ハ昼間中寝テ居タカラヒドク元気ガイイノダト云フ。

[1 頁白紙]

「サテワヌ島ニ於ケル漁法」

加藤源治, 羽根田弥太, 熱帯生物, 津山尚, 緒方武官, 篠原武官,

「パラオ島民部落組織」

吉本泰, 加藤源治, 熱帯生物, 緒方武官, 篠原武官, 久保田公平, 野元辰美, 中島敦,
阿刀田研二, 朝日丸院長, 間宮主計長, 三沢寛, 木村潔, マリヤ, 近藤中将,

「ヤップ離島, サテワヌ島ノ神ト神事」

木村潔, マリヤ, 和田清治, 羽根田弥太, 並河亮, 小尾範治, 朝日丸院長,

「サテワヌ島ニ於ケル子ノ養育ト性的秩序」

木村潔, 後藤八重子, 土方久顕, 和田清治, 三好朋十, 平野義太郎, 小山直彦, マリ
ヤ, 甘露寺方房, 三沢寛, 染木照, 泉井久之助, 高橋文太郎, 久保田公平, 渡辺信□
一, ^{並河亮}□□□, ^{小尾範治}□□□□